

東京アクアティクスセンター

指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名 事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-29-9日本パーティビル
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内

代表者名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
理事長 中嶋 正宏

事業計画書様式一覧

提 案 課 題			ページ	
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	1	
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	6
			(2) 休館日及び開場時間	8
			(3) 利用の調整	8
			(4) 利用料金	11
			(別表) 利用料金表	
		2 施設の運営	(1) プール運営業務	13
			(2) 飛び込み用トレーニングルーム運営業務	16
			(3) トレーニングルーム運営業務	17
			(4) 東京2020大会メモリアルギャラリー運営業務	18
		3 施設内サービス	(1) 受付案内	19
			(2) 苦情・要望等に対する対応等	20
		提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業
	(別表) 事業実施計画			
	(2) スポーツの日記念事業			23
	(別表) 事業実施計画			
	(3) 自主事業			24
	(別表) 事業実施計画			
	2 施設の事業を支える仕組み		(1) 広報	29
			(2) 業務の品質管理	30
	3		都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組	31
	提案課題 4 組織及び人材		1	効果的かつ効率的な組織体制の確保
			(別表) 各部門の所要人員	
		2	明確な責任体制の構築	35
		3	適切な勤務体制等	36
	提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	38
			(2) 施設の修繕	40
		2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	41
(2) 目的外使用許可に関する業務			42	
(3) 地球環境への配慮			43	
(4) 個人情報の保護			44	
(5) 感染拡大防止			45	
提案課題 6	収支計画	46		
	(別表) 指定管理期間中の収支計画			
	(別紙1) 収支計画の積算内訳			
	(別紙2) ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳			

世界最高水準の水泳場としての施設設備と東京 2020 大会のレガシーを最大限に活用した運営を通じて、一層のスポーツの普及・振興を図り、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します

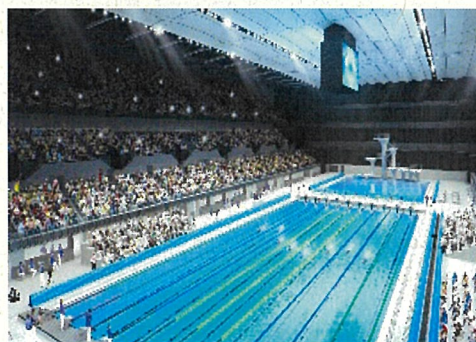
- ハイレベルな大会の誘致・開催、アスリートの強化・育成、都民のスポーツや健康増進、周辺施設等と連携した取組を進め、様々な人々が集い、活動する施設に発展させます
- 東京都の政策連携団体、競技団体、民間企業が一体となった、多様な取組やサービス提供により、水泳関係者、スポーツ愛好者はもとより、地域に親しまれる施設に発展させます

基本方針

1 | 日本水泳の中心拠点としてのプレゼンスの確立と競技の発展

当グループは、ハイレベルな大会の誘致・開催、アスリートの強化・育成を推進し、日本水泳の中心拠点としてのプレゼンスの確立と競技の発展を図ります。本施設が、選手の憧れの舞台・目標とする場となり、大会を観戦する子供が夢を抱いて、競技者を志す場となり、世界を目指すスイマーがたゆまぬ努力・鍛錬する場となるなど、アスリートやそれを目指す人達が集い、活動する施設へ発展させます。

- ・本施設は、東京 2020 大会における水泳会場として使用され、**日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場**であると認識しています。この優れた施設設備を有する水泳場のポテンシャルを最大限に発揮できるのは、国際的・全国的・全般的な大規模競技大会であると考えます。
- ・大規模競技大会については、コンソーシアムの一員であり東京都の水泳競技の統括団体である構成団体D、その上部団体で、当グループへの協力・連携を関心表明書により表明している（公財）日本水泳連盟（以下「日水連」という。）との強固な連携、東京辰巳国際水泳場（以下「辰巳」という。）の管理運営で培った経験に基づき、**引き続き大規模かつハイレベルな大会を誘致**します。
- ・パラ水泳については、構成団体Dの障害者の水泳競技大会における競技役員の派遣及び水泳競技団体同士の繋がり、代表団体Aの（公財）東京都障害者スポーツ協会などの団体との信頼関係、辰巳などの大型水泳場の管理運営経験を生かして、**パラ水泳の誘致に取り組み**ます。
- ・日水連をはじめとする競技団体の強化練習などを積極的に受け入れ、**トップアスリートの強化、次世代アスリートの育成を推進**します。また、日水連及び構成団体Dを通じて、トップスイマーの協力のもと、都民の水泳の競技力向上及び水泳愛好者の拡大を図ります。



競技会開催時の会場イメージ

2 | 誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場の創出

当グループは、本施設が 1,300 万人を超える都民の共通財産であるという認識のもと、都民のための水泳場として、子供から高齢者まで誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場を提供します。幅広いニーズに対応した事業等に取り組み、様々な人々が集い、活動する施設へ発展させます。

- ・辰巳での管理運営で培った運営ノウハウを生かし、競技利用とのバランスを取りながら、子供から高齢者まで**誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる環境を提供**します。
- ・全国で公共を含めた 200 か所以上のスポーツ施設を運営する構成団体Cが、プール・トレーニングルームの個人使用の運営とともに、スタジオ・プール等の施設を活用し、**年代や目的に応じた多彩で魅力的なプログラムを展開**します。
- ・構成団体Dの**優れた指導者やアスリートを招聘**し、ジュニア選手の育成や水泳フォームのクリニック、親子で水に親しむ事業や運動不足解消の水中運動など、スポーツの普及振興、健康増進に資する事業を実施します。
- ・障害の有無や年齢等に関わらず、スポーツに親しむことができるよう、**ハード・ソフトの両面からバリアフリーの推進**、適切な維持管理及び安全管理等を図り、安全・安心・快適な施設環境を提供します。



施設外観と周辺環境

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

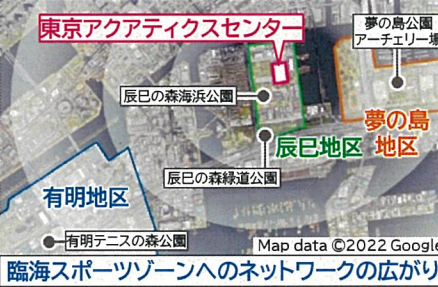
3 | 臨海スポーツゾーンの基幹施設として、周辺施設等との連携による地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化

当グループは、本施設が、東京 2020 大会に向けて新たに整備された「臨海スポーツゾーン」において基幹となる施設の一つであるという自覚を持ち、都立 18 スポーツ施設とのネットワークや周辺施設、地域との連携を深めながら、地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化につながる取組を進め、地域に親しまれる施設へ発展させます。

- ・「TOKYO スポーツレガシービジョン」、「新規恒久施設の施設運営計画」を踏まえ、周辺施設や地域との連携、**臨海スポーツゾーンへの面的な広がりを視野**に取組を進めていきます。
- ・本施設が隣接する辰巳の森海浜公園は、ニュースポーツ施設を数多く持ち、緑豊かな芝生を有する公園です。その環境を踏まえ、公園と連携して「ニュースポーツ」「ヨガ」などのイベントを開催することで、**にぎわいを創出、地域からのスポーツ振興**を図ります。
- ・と連携したシェアサイクルの駐輪場の新規設置や、個人利用者等へのシャトルバスの運行を実施し、本施設へのアクセス向上のみならず、周辺地域一帯の回遊性を高め、**施設の相互利用を促進**します。
- ・本施設と同様に「臨海スポーツゾーン」に位置するコロシウムや本施設を巡る「ガイドツアー」、対象とした「ヨット体験」など、**都立 18 スポーツ施設（以下、「18 施設」という。）のネットワークによる多様な取組**を図ります。

地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上、活性化

辰巳の森海浜公園など 周辺施設、地域との連携
夢の島、有明地域 との連携の広がり



臨海スポーツゾーンへのネットワークの広がり

周辺施設等とのネットワーク・連携による取組の推進

と連携し、有明と連携し、ジュニアを

重点目標

来場者数の目標達成に向けた基本方針・目的別の来場者目標

これまでの経験や実績の活用、多様な取組を通じて、東京辰巳国際水泳場の来場者を倍増させ、来場者100万人を達成

- ・大会やアスリートの強化・育成などの利用形態を踏まえた利用受付にするとともに、競技団体と連携し、大会利用や競技力向上を図る練習利用などの頻度が増すよう取り組んでいきます。
- ・国内外の大規模大会への積極的な施設提供及び大会の誘致により、都民に**質の高い観戦機会を提供**することで、来場者の増加を図ります。
- ・個人使用では、可動壁・可動床のプール設備機能を全面的に活用し、長水路・短水路（50m・25m）の設定、レーンの割り振りや水深の設定により、子供から高齢者、初心者から上級者まで、多様な利用者ニーズに対応し、**幼児、障害者なども安心して利用できる運営**を行うことで、プール利用者の増加に繋がります。
- ・トレーニングルームについては、水泳の競技者・愛好者が魅力を感じるトレーニング機器・備品類を設置するとともに、初心者への基本的なトレーニングメニューの提供、短時間のグループトレーニングを無料で行うなど、**誰もが利用できる環境を創出し**、利用者確保に取り組みます。
- ・スタジオやプール等において、年代や目的に応じた多彩で魅力的なプログラムを展開することで来場者の拡大を図ります。肩こり・ひざ痛予防や格闘技系のプログラム、各種水泳教室や水中エクササイズなど、**運動経験が少ない方から継続的な実践者まで幅広いニーズに対応**するほか、ベビー・キッズを対象とした教室と保護者世代向けのプログラムにより、近隣で増加中の子育て世代の需要を積極的に取り込みます。
- ・構成団体Dと強固な協力関係にある日水連からアスリートを招聘した水泳教室や水泳の特別プログラムの開催、本施設で練習を重ねている利用者が練習成果を発揮する「東京アクアティクスセンター杯」を開催するなど、**大会レガシーの継承、水泳の裾野拡大**を図ります。
- ・メモリアルギャラリーでは、東京 2020 大会アーカイブ資産を活用した展示等を行い、**後世へのレガシー継承**を図ります。さらに、独自に収集したサイン入りウェアの展示や、都内小中学校の校外学習などの団体見学を受け入れるなど、集客・見学者の確保に取り組みます。
- ・他の都立スポーツ施設、周辺施設及び地域との連携を広げながら、地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化につながる多様な取組を進めることで、**水泳場を訪れたことのない利用者層を開拓**していきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題1 管理運営の基本方針

利用目的	内容	来場者目標
大会利用	大会・選考会（選手・関係者を含む。）	22万人
観戦	年間大会開催日数 200日 1大会平均 1,500人	30万人
大会以外の競技利用	団体利用者へのレーン貸し、水泳以外のスポーツ利用	25万人
競技力向上事業	トップアスリート発掘育成、国体候補選手強化、ジュニア強化等	3万人
個人利用（無料プログラム含む）	プール・トレーニングルーム	6.5万人
プールを活用した健康増進	各種水泳教室、水中ウォーキング、アクアサーキット等	5万人
スタジオ等を活用した健康増進	キッズスクール、ヨガ、太極拳、肩こり・ひざ痛予防運動等	3.5万人
会議室を活用した講座等	指導者講習、ボランティア講習、資格付与講習等	1万人
レクリエーション・その他事業等	水中等レク事業、全施設を活用したイベント、ギャラリー等 レガシー継承事業等	4万人
合計		100万人

利用目的別の来場者目標

重点目標

大会開催目標数達成に向けた基本方針・大会規模別の目標数

競技団体とのネットワークを活用し、国際・国内大会 100大会を達成

- ・構成団体Dと日水連をはじめとする競技団体との連携などを通じて、これまで辰巳で開催されてきた国際大会、大規模な国内大会を引き続き開催していきます。このほか、新たな国際大会をはじめ、民間団体の主催大会も含めて、**より多くの国際・国内大会を誘致・開催**します。
- ・本施設は、メインアリーナとサブアリーナが独立しているため、**両アリーナで別大会を同時に開催**することや、これまで日程重複のため辰巳での開催を見送っていた大会の受け入れなど、施設特性を生かした大会の誘致・開催に取り組みます。
- ・「日本一きれいな水」などと透明度が競技者から高い評価を受ける辰巳の水質を守ってきた構成団体Bが、本施設の維持管理を担当し、アスリートファーストの視点で、引き続き、高品質な水環境創りをを行います。**高品質な水環境の創造**は、トップレベルの競技大会を支え、競技者及び主催者の高い評価を得ることで「水泳競技大会 = 本施設（日本水泳の中心拠点）」とするプレゼンスを確立し、より多くの大会開催に繋げていきます。

規模	大会名	
国際大会	国際競泳リーグ、ワールドカップ等国際大会等	
全国大会 (日水連等主催)	競泳	日本選手権、ジャパンオープン、日本学生選手権水泳競技大会、日本マスターズ水泳短水路大会、全国JOCジュニアオリンピックカップ、KITAJIMA杯、東京SC優秀選手招待大会等民間スポーツクラブ主催水泳大会等
	アーティスティックスイミング	日本選手権、日本ASチャレンジカップ、AS13-15ソロ・デュエット大会、ASナショナルトライアル、アーティスティックスイミングパジャテスト等
	飛込	全国JOCジュニアオリンピックカップ、日本学生選手権水泳競技大会等
	水球	日本選手権、日本学生選手権水泳競技大会等
	その他競技	フィンスイミングチャレンジ、ライフセービング・プール競技大会等
障害者大会	東京都障害者スポーツ大会、パラ水泳等競技大会等	
関東大会	関東ブロック大会、関東学生選手権、関東高校選手権、関東中学選手権、関東ジュニアオリンピックカップ予選等	
東京都大会	都民体育大会、日本選手権予選、国体予選・選考、春季・夏季水泳競技大会、都選手権水泳競技大会、社会人チーム対抗水泳競技大会、マスターズ水泳競技大会、高等学校選手権水泳競技大会、高校春季水泳競技会、高等学校新人水泳大会、新春水泳競技大会、中学校総合体育大会、中学校学年別水泳大会、フレッシュカップ、ジュニア長・短水路水泳競技大会、ジュニアスプリント大会等	
区大会	江東区民大会、スポーツNPO等水泳大会等	
その他	大学対抗水泳競技大会（日中、早慶等）、ロングディスタンススイミング（日本トライアスロン連合）、東京消防庁競技大会、東京アクア杯等	
合計	全102大会	

大会規模別の目標数

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題1 管理運営の基本方針

運営方針

1 国内外の競技大会の積極的な開催

- ・日本水泳の中心拠点として、水泳競技の国際・国内大会へ積極的に施設を提供します。
- ・構成団体Dと競技団体との連携や繋がり等を生かして、**年間100大会を誘致・開催**します。
- ・大規模な競技大会等の開催による**質の高い観戦機会を提供**し、都民のスポーツへの関心を高め、スポーツの振興を図ります。

2 アスリートの強化・育成の推進

- ・国際大会等での選手の活躍は不断の努力の積み重ねが必要であるため、競技団体の練習利用について、積極的に受け入れます。
- ・トップアスリートの強化や次世代アスリートの育成など、**競技団体の強化練習等の施設利用が活発になるよう取り組み**、アスリートの強化・育成を推進します。

3 都民のための水泳場として、スポーツや健康増進の推進と情報発信

- ・「する・みる・支える」の視点を踏まえ、年代や目的に応じた多彩で魅力的なプログラムを展開するとともに個人使用の場の提供を行い、**誰もが充実したスポーツ活動が行えるよう推進**します。
- ・当グループのホームページやスポーツポータルサイトとの連携を強化して**複合的かつ戦略的な情報発信**を行い、都民のスポーツ活動の水準向上に寄与します。

4 隣接公園等周辺施設や他の都立スポーツ施設との連携等による取組の推進

- ・隣接する辰巳の森海浜公園等周辺施設との一体的な事業などにより、にぎわいの創出など多くの都民利用に向けて取り組みます。
- ・周辺施設や地域との連携、18施設とのネットワークによる連携事業などを進め、**地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化に繋がる取組を推進**します。

5 競技団体との連携と東京2020大会レガシーの活用

- ・競技団体と連携して、大会の誘致・開催、アスリートの強化・育成を進めるほか、スポーツの普及に向けた水泳教室や、指導者育成へのアスリート及び著名指導者の招聘を行うなど、**質の高い事業運営**を行います。
- ・大会アーカイブ資産や独自に収集した選手着用品の展示、東京2020大会の開催を記念した東京アクアティクスセンター杯水泳大会を開催するなど、**大会の感動と記憶を後世に伝えていきます**。

6 東京都の施策との連携・協力、都立スポーツ施設としての役割の遂行

- ・「未来の東京」戦略、TOKYOスポーツレガシービジョン、東京都スポーツ推進総合計画を踏まえ、政策連携団体である代表団体Aが中心となり、**東京都の施策に沿った公平な管理運営**を実施し、スポーツ実施率70%の達成、「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- ・災害時の「一時滞在施設」に指定されていることを踏まえ、平常時からの備えを行い、災害時には情報を迅速に集約・連絡・報告するとともに本施設の役割を果たします。

7 効果的・効率的な管理運営

- ・PDCAサイクルなどの手法を取り入れ、利用者の要望等を施設運営に反映する事務改善に取り組み、施設のサービスや魅力向上を図っていきます。また、スタッフに障害者利用に係る研修を定期的に受講させ、インクルーシブ教育を図り、誰もが利用しやすい施設を提供します。
- ・施設設備を最大限に活用した「HTT(減らす・創る・蓄める)」への取組、省エネに配慮した施設運営など予算の効率的執行、収益の効果的活用により、**利用者への質の高いサービス提供、長期的な視点に立った保全、臨時保守点検を実施**するなど、効果的・効率的な管理運営を図ります。

8 安全・安心の確保

- ・施設設備の日常点検や定期点検の適切な実施とともに「安全パトロール」での問題個所の発見・対応などの「予防保全」の展開により、**故障や事故の未然防止**を図ります。
- ・競技備品等のリスト作成、破損や動作確認の着実な実施、大会等の円滑な運営に向けたサポート、施設を清潔に保つ清掃などに取り組み、**安全・安心・快適な施設環境を提供**します。

事業者・団体名

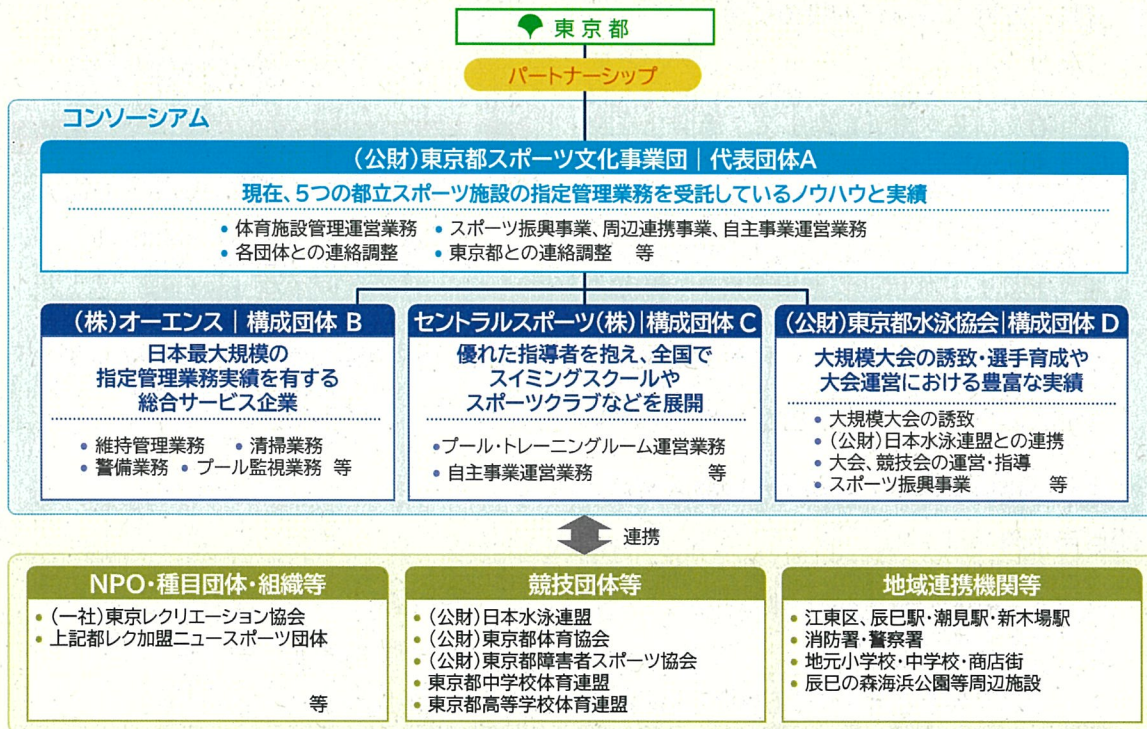
事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 1 管理運営の基本方針

2 業務全体にかかる履行体制

スポーツ施設を熟知したコンソーシアムの結成

- 当グループの代表団体Aは、**東京都の政策連携団体**であり、東京都の施策に則った事業を展開し、緊急事態発生時等にも東京都の方針に柔軟に対応できる唯一無二の団体です。当グループは都立スポーツ施設の指定管理実績を有する代表団体Aのもと、都内のスポーツ施設の指定管理業務の実績を豊富に有し、**大型水泳場の維持管理業務に精通した企業**（構成団体B）、スポーツ健康産業のパイオニアであり、**水泳施設の専門性を生かしたサービス展開が可能な企業**（構成団体C）、**東京都の水泳競技の統括団体**であり、**豊富な大会運営、大会誘致の経験**を有する団体（構成団体D）の4社がコンソーシアムを結成し、**高品質なサービス**を提供します。



業務全体にかかる履行体制

都立スポーツ施設を複数管理しているメリットと18施設のネットワークへの貢献

- 代表団体Aは、これまで5つの都立スポーツ施設の管理運営を行ってきた実績、予約システムやスポーツ案内ポータルサイトの開発を通じて得たノウハウ、区市町村・官公庁並びに多くのスポーツ施設との密接な関係性などを活用し、政策連携団体として東京都施策がより効果的となるよう各施設の運営を行ってきました。
- 今後は、東京都のスポーツ振興施策に精通し、管理運営のノウハウを有する代表団体Aが、5つの都立スポーツ施設にとどまらず、**18施設全体の連携を先導する機能を発揮**します。各施設の施設管理者同士を繋ぎ、一体的な取組に係る企画調整などを担い、都民にかけがえのない価値を提供することで、スポーツフィールド東京の実現に貢献します。

スポーツフィールド東京の実現に向けて

18のスポーツ施設の連携の中心を政策連携団体である代表団体Aが担う



事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(1) 施設提供の実施方針

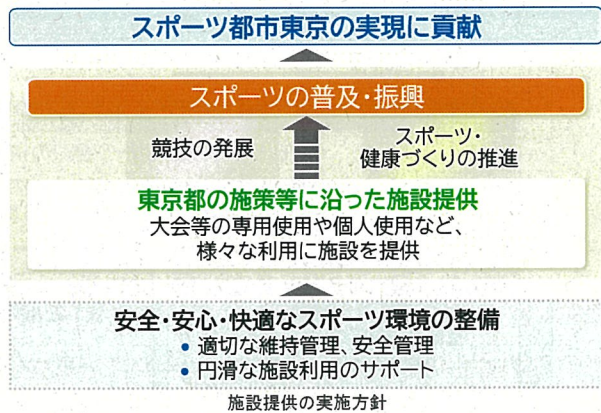
東京都の施策に沿った施設提供で、競技大会やアスリートの強化・育成、スポーツや健康増進を推進し、一層のスポーツの普及・振興を図ります

- 都民に夢と感動を与える、数多くの競技大会を誘致・開催します
- 競技団体等の練習利用や都民のスポーツ・健康増進の充実を推進します
- 全ての利用者が安全・安心・快適に利用できるスポーツ環境を提供します

1 施設提供の実施方針

施策・方針に沿った施設の提供

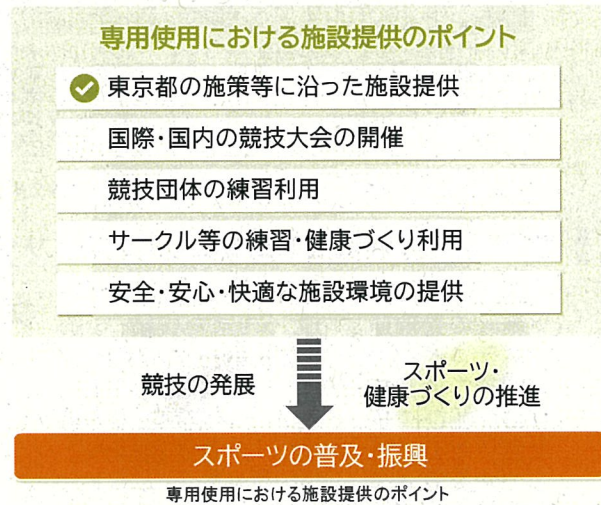
- ・「TOKYO スポーツレガシービジョン」など東京都の施策、本施設の管理基準における設置目的及び基本方針を踏まえ、適切な施設提供を行います。
- ・スポーツを「する・みる・支える」場として、大規模競技大会をはじめとする様々な利用に施設を提供し、一層のスポーツの普及・振興を図り、「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- ・適切な維持管理や安全管理、円滑な施設利用に向けたサポートなどを図り、全ての利用者・来場者に安全・安心・快適なスポーツ環境づくりに取り組みます。



施設を提供する際の具体的な取組と対応

① 専用使用

- ・大規模競技大会等を誘致するなど、**国際的、全国的、全都的な競技大会に施設を提供**します。世界最高水準の水泳場としてのポテンシャルを最大限に活用した大規模大会を開催します。また、**都民に夢と感動を与える魅力的な大会の観戦**を通じて、興味・関心を喚起し、スポーツ実践のきっかけ、競技の発展を図ります。
- ・競技団体の練習利用に施設を提供し、**アスリートの強化・育成**を推進し、競技の発展を図ります。また、サークル等の練習・健康づくりに施設を提供し、**都民のスポーツや健康増進を推進**していきます。
- ・利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の保守・点検、災害や事故等発生時における危機管理体制の整備、大会等の運営サポート、施設を清潔に保つ清掃などを通じて、**安全・安心・快適な施設環境を提供**します。



【施設提供に伴う大会を成功に導く各種サポート】

- ・当グループは、単純に施設や備品の貸出しを行うだけではなく、施設や地域のプレゼンス向上に繋げるべく、主催者と共に大会を盛り上げ、**大会を成功に導いていくための「パートナー」としてグループを挙げて全力でサポート**します。
- ・辰巳での大規模大会や東京 2020 大会の経験を生かし、観客動線や待機場所の設定、主催者側の配慮ポイント、各種法令の遵守など、**大会の成功に向けて経験豊富なスタッフがサポート**します。
- ・対応にあたっては、主催者に寄り添い、疑問や不安が解消されるまで打合せ機会の提供や視察対応を実施するなど、**主催者と高い信頼関係を構築**していきます。大会当日には、緊密な連携を図り、円滑な大会運営、施設利用としていきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

利用相談	施設の利用を検討する団体からの様々な要望に無料で対応 ・利用希望日・利用内容・施設や設備の相談対応、見積書作成、施設・備品見学 等
申込後の団体対応	大規模大会から初めての利用まで、経験豊富なスタッフが徹底サポート ・利用に合わせた担当の選任 ・連絡・相談体制の構築 ・疑問に対する適切なアドバイス ・備品・控室・動線・警備計画等の提案・助言 ・協賛等スポンサー展開による売店・マスクなどへの対応・協力 等
事前打合	個別対応や法令対応により不安を解消し、利用に向けて最終調整 ・主催者・関係者との最終打合せ ・水温・室温・ろ過機稼働、照明・音響・持込機器連動等の確認 ・感染症対策の確認 ・事故・救急等の対応方法や避難経路確保の確認 ・所轄消防・警察への相談支援、申請書類作成支援 等
利用当日	施設・設備や運営サポート、各種安全確認により、安心・安全・円滑な運営を提供し、大会を成功へ ・連絡体制、変更点・不安箇所の有無等を確認 ・吊りバトンの操作実施、放送設備・水中サウンドシステムの操作サポート ・観客動線・待機列状況・感染症対策の確認 ・現場確認による維持管理や各種法令に準じたアドバイス 等

利用当日までの流れと主なサポート

【特殊な対応への各種アドバイスとサポート】

▶VIP（皇室・政府関係者・各国大使等）への対応

・大型水泳場や大型アリーナの管理運営実績を踏まえ、主催者に対して車両停止位置から入館口、館内移動などの動線計画、スタッフや警備員の配置などの警備計画の提案やアドバイス等の実施、警察とのシミュレーション等の実施などとともに、**主催者、東京都、各関係機関と緊密な連携を図り、万全の体制を構築**します。主催者の要望に応じて、**館長がVIPの誘導及び案内**を担当します。

▶ユニバーサル利用に向けた案内・対応

・「車いす席」「付加アメニティ席」の利用方法や電源等の設備状況の案内、「カームダウン・クールダウン」エリアの利用方法等の案内、難聴者支援の「磁気ループ」設備の案内及び貸出し、エレベーター、スロープ通路など高齢者や車いす利用者への動線計画を提案するなど、**ユニバーサルな施設利用に向けて、適切に案内、対応**を行っていきます。

▶競技大会等開催における近隣への配慮と対応

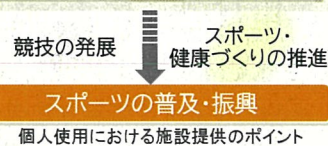
・大勢の来場者が見込まれる競技大会等の開催時においては、最寄り駅から本施設までの来場者滞留や駐車場の待機車両などが発生する可能性が想定されます。主催者に対し、近隣への配慮や対策に関するアドバイスの提供や所轄警察署等と適宜相談の上、連携を図っていくことで、**地域に配慮した管理運営**を行います。

②個人使用

・子供から高齢者まで**誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場**として、施設を提供します。
 ・屋内プール及びトレーニングルームの個人使用により、都民がスポーツに親しみ、継続的にスポーツ実践できるよう施設提供を行い、**スポーツ実施率の向上に貢献**します。
 ・利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の適切管理、事故を未然に防ぐ安全管理、施設を清潔に保つ清掃、スタッフによる巡回や温かい接遇などを通じて、**安全・安心・快適な施設環境**を提供します。

個人使用における施設提供のポイント

- ✔ 誰もがスポーツできる場としての施設提供
- ✔ 個人での練習・健康づくり利用
- ✔ 安全・安心・快適な施設環境の提供



【継続的なスポーツ実践とするための取組】

・幅広い世代が、それぞれの目的やレベルに応じた施設利用ができるよう、これまでの管理運営ノウハウを最大限発揮して、プール及びトレーニングルームを運営します。
 ・プールについては、**子供から高齢者、初心者から上級者まで様々な利用者に対応**できるよう、50m（長水路）設定、25m（短水路）設定、水泳以外にもウォーキングなど健康増進を目的とした利用などを考慮したレーン及び水深の設定など、**多様な利用者ニーズに対応**することで、**継続的にスポーツ実践できる場**としていきます。
 ・トレーニングルームについても、誰もが利用できる環境を整備するとともに、**初心者への基本的なメニューの提供**や専門的で高度なトレーニングメニューの入手サポート、**短時間のグループトレーニング（無料）や個人指導（有料）**などにより、**運動の習慣化を促進**します。
 ・個人使用の日程については、大会等の状況により変化しますが、個人使用の可能日時等をホームページや館内掲示で公開し、利用者のスポーツ実践の予定を組みやすくしていきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(2) 休館日及び開場時間

弾力的な休館日設定や繁忙期の早朝開場などにより、利用者ニーズに応えます

- 利用者ニーズを踏まえた戦略的な休館日の設定を行います
- 専用使用では、主催者等の意向により、利用時間の繰上・延長に柔軟に対応します
- 個人使用では、夏季の早朝利用を実施し、利用者ニーズに応えます

1 休館日及び開場時間の考え方

利用者ニーズに応える休館日・開場時間

①休館日の設定

- ・東京都体育施設条例施行規則を原則としながら、利用者ニーズを踏まえた戦略的な休館日とします。
- ・優先受付による大規模大会等の使用希望を総合的に勘案した上で、条例規則による定期休館日を東京都と協議し決定するなど、弾力的な休館日設定を行います。
- ・プール施設特有の**長期間の日数を要する水抜き休館は、大会が少ない月に実施**します。メインプールとサブプールの水抜き日を分け、一方のプールは使用できるようにすることで、**個人使用日の拡大**に取り組むなど、専用使用及び個人使用の**施設提供の幅を広げ**ます。
- ・小規模点検等は営業時間外に行うなど、点検業務の効率化に努め、**メンテナンス休館日がある月は、定期休館日を設けない**など、施設利用可能日の拡大を図ります。



②開場時間の設定

- ・条例規則に基づき、専用使用、個人使用の開場時間を原則として9時から21時としながらも、以下の対応を実施し、利用者ニーズに応じていきます。

【専用使用（競技大会等）】

- ・大規模大会時においては、大型機材の搬出入や大掛かりな会場の設営・撤去作業、大会当日に選手のウォーミングアップ等で早朝・深夜の利用希望があることを踏まえ、団体からの要望があった際には、**利用時間の繰上・延長など利用者ニーズに柔軟に対応**します。
- ・競技団体の競技力向上に向けた強化練習の際にも協議の上、利用時間の繰上・延長に対応します。

【個人使用・レーン貸し】

- ・毎朝の開場に際しては、時間前の更衣を可能とし、「**9時には利用者が泳げる**」環境を提供します。
- ・水泳施設は、夏場に利用希望が増し、利用者数が増加傾向となることから、需要が最も高まる夏季期間に早朝利用を実施し、利用者ニーズに応じていきます。（当初は、都内小中学校の夏休み期間に合わせ、**8時からの早朝開場**を実施します。利用状況を踏まえ、拡大等の取組を検討します。）

(3) 利用の調整

利用形態に応じた受付、公平性・公益性に配慮した利用の調整により、水泳の活動拠点として、多種多様な活動の利用を促進します

- 施設を最大に活用する受付で、より多くの利用者にはスポーツ活動の場を提供します
- 5つのレスに対応した受付など、承認プロセスのデジタル化により、DX推進を図ります

1 利用の調整業務の流れの基本的な考え方

東京都の方針・施策と合致する利用受付

- ・本施設の管理基準における設置目的や基本方針、「TOKYO スポーツレガシービジョン」等を踏まえ、東京都の方針や施策に合致する、**利用の調整**を行います。
- ・専用使用では、管理基準を踏まえた**利用形態に応じた利用受付**とし、公平性や公益性に配慮した**利用の調整の流れ、利用受付**とします。
- ・「東京都スポーツ施設予約システム」や券売機、入退場管理システム等を活用しながら、5つのレスに対応した使用申請や利用受付など、**承認プロセスのデジタル化によるDX推進**を図ります。
- ・個人使用では、券売機による取り扱いを基本とし、誰もがスポーツや健康増進に手軽に取り組めるよう、**簡便な手続き**とします。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

2 利用形態に応じた利用受付

- ・利用受付は、管理基準に従い適切に実施します。専用使用は、競技大会等による「施設全体の貸切利用」と、レーン貸し等の「一部施設の占有利用」の2種類に分類されます。
- ・辰巳など大型水泳場の管理運営経験をもとに、優先受付後に行う一般受付を2回に分け、**利用形態に応じた受付**とする、右記のスケジュールを提案します。
- ・これにより、**大規模大会から小規模な大会の開催、競技団体の練習利用によるアスリートの強化・育成、サークル等の練習・健康増進への利用**が可能となり、管理基準の基本方針に即して、**利用者要望に最大限に応えた効率的な運用が可能**となります。

優先受付 世界大会・全国大会・全都大会等

申込期間 : 前年度の6月30日まで
調整期間 : 7月1日から8月31日まで
仮承認 : 8月31日まで

一般受付① 優先受付以外の全面貸切利用

申込期間 : 使用月の6ヶ月前の初日から10日まで
調整期間 : 6ヶ月前の11日から末日まで
仮承認 : 6ヶ月前の末日まで

一般受付② レーン貸し・面貸し利用

申込期間 : (1)使用月の5ヶ月前の末日まで
(2)使用月の4ヶ月前の14日まで
利用調整日 : (1)4ヶ月前の初日 (2)4ヶ月前の15日
仮承認 : 4ヶ月前の24日まで
※以降は、先着で受付

個人使用 個人使用施設利用者

申込・承認 : 当日入場券の購入後、専用ゲートにて入場

利用調整スケジュール

3 承認プロセスのデジタル化等によるDX推進

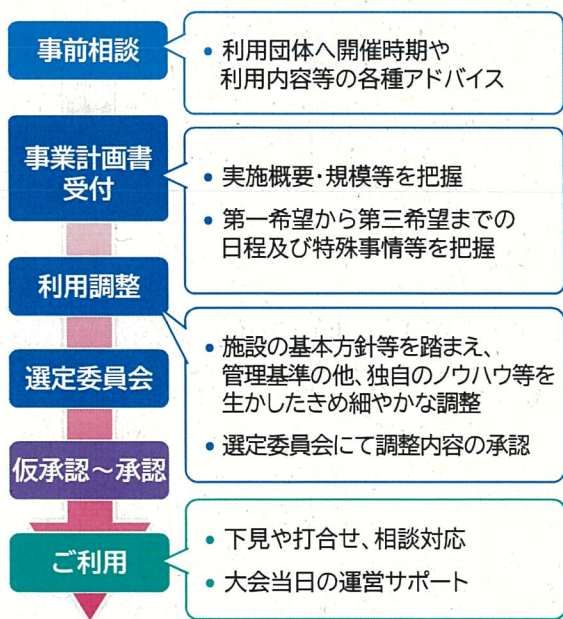
- ・優先受付等は、**ペーパー、ハンコ、FAX、タッチレスに対応**した事業計画書にて受付を行うとともに、使用承認に伴う支払いもキャッシュレス対応を実施します。一般受付②では「予約システム」を活用した機械抽選、先着受付とし、**使用申請・承認、利用受付のDX推進**を図ります。
- ・個人使用では、支払いの**キャッシュレス対応**や入退場管理システムの導入により、使用申請・承認のDX化に取り組みます。

専用使用における利用受付

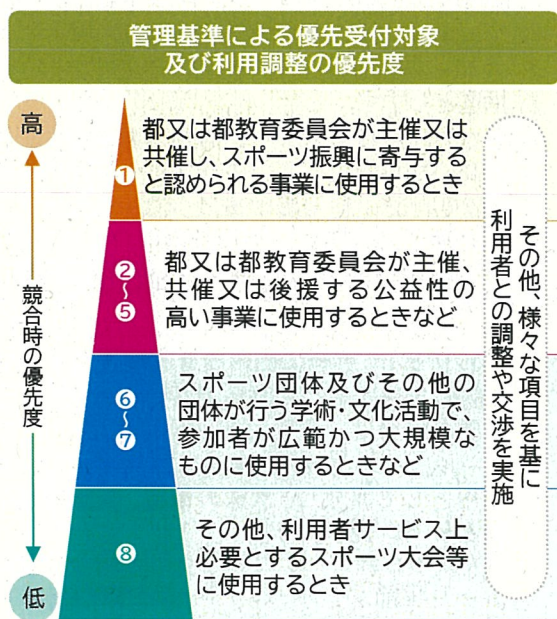
①世界大会、全国大会、東京都大会等

優先受付

- ・優先受付は、東京都体育施設条例施行規則及び管理基準に基づき、世界大会・全国大会・東京都大会などの競技大会等を対象として実施します。
- ・代表団体Aは、これまでも管理する施設において条例規則等の十分な理解のもと、円滑かつ効果的に優先受付を実施しています。本施設では、東京都の水泳競技を代表する構成団体Dとともに、競技団体等とのネットワークを生かし、公益性や大会規模等に配慮した高品質な利用調整を行い、一つでも多くの大会が開催できるよう取り組みます。



優先受付のフロー



優先受付の利用調整

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

【 具体的な実施方法、予約希望が重複した際の調整の考え方 】

- ・具体的な実施方法は、前ページの「優先受付のフロー」に則り実施します。優先受付の事業計画書には、大会規模、参加対象者、観客予定数、実施希望日程などの大会概要を記載いただき、使用内容の公益性や大会規模等を的確に把握します。
- ・希望が重複した際は、管理基準による決定のほか、施設の使用規模、第1希望以外の希望日や日程の移動・短縮、利用日の妥当性など、様々な項目をもとに調整を行います。団体の意向を最大限踏まえながら、施設の有効活用を考慮した、きめ細やかな利用調整を行います。

【 他のスポーツ施設との連携 】

- ・当グループの代表団体Aや構成団体B・Cが管理運営する、東京体育館や千葉県国際総合水泳場など、都内近郊における大型水泳場施設と連携し、大会が競合した際の受入れ調整等を実施します。
- ・他のスポーツ施設との連携により、利用団体や様々な行事の動向を把握し、新規行事等を開拓していくことで、本施設の更なるブランド力向上を目指します。

【 大規模大会誘致戦略チームの設置 】

- ・当グループ内に国内外の大規模大会等を戦略的に誘致する戦略チームを設置します。
- ・国際大会スケジュール、国内の持ち回り大会等のスケジュール、日本開催・都内開催希望の状況などについて、施設提供を通じた競技団体等の希望・要望の把握、多様な業務の繋がりにより得られた情報など、各種情報を取りまとめ、**戦略的な大会誘致計画の展開により、魅力ある大規模大会の誘致・開催に繋げ、本施設のプレゼンス向上に貢献**します。

②優先受付後の利用受付 **一般受付①**

- ・優先受付後の利用受付とします。優先受付以外の大会等や競技団体の練習利用等の施設全体の貸切使用を対象とし、管理基準の基本方針である「**アスリートの強化・育成の場の提供**」を具現化していきます。
- ・希望が重複した際は、体育・スポーツ等に使用する場合を優先とし、使用規模など施設の有効活用を考慮します。

一般受付①における利用受付

- 優先受付以外において、スポーツ団体等が競技会、練習、講習会、レクリエーション、学術・文化活動などで施設全体を貸切で使用する申込を対象に受付
- ・ 優先受付以外の大会や催物、競技団体等の強化練習

一般受付①における利用受付

③レーン貸し等の利用受付 **一般受付②**

- ・一般受付①後の受付とします。サークルなどによるレーン貸しやダイビングプールの面貸しを対象とし、管理基準の基本方針である「**スポーツや健康増進に取り組むことができる場の提供**」の利用受付とします。
- ・利用受付に際しては、利用月の4ヶ月前に抽選とし、来館の手間を省き、DXを推進する観点から「東京都スポーツ施設予約システム」を活用したインターネット抽選とします。
- ・多くの利用者にスポーツ活動の場を提供できるよう**受付と抽選を2回実施**するなど、公平で利便性の高い利用受付とし、生涯スポーツ活動を推進します。
- ・一般受付②の利用調整後は、空いているレーン及び会議室を「東京都スポーツ施設予約システム」等を通じて公開し、利用日の前日まで先着順で申込を受け付けます。

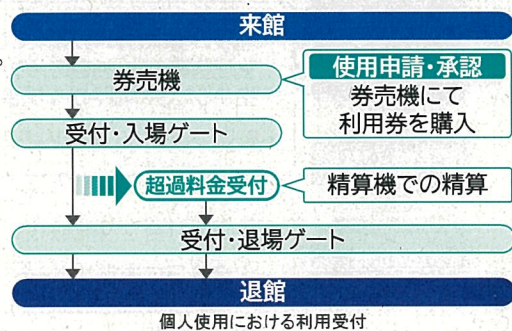
一般受付②における利用受付

- スポーツ団体等が練習やサークル活動等で使用する申込を対象に受付
- ・サークル等によるレーン貸し、面貸し
メインプール：レーン貸し最大6レーン(長水路)
サブプール：レーン貸し最大8レーン(短水路)
ダイビングプール：面貸し
- ※ 利用調整後は、各プール及び第一会議室の空き施設は先着順で受付

一般受付②における利用受付

個人使用における利用受付 個人使用

- ・プール及びトレーニングルームの個人使用は、右図のとおりとし、手軽に使用できる**簡便な手続き**とします。
- ・条例の基準に基づく減免対象の方など、個別の対応が必要な場合は、各受付で適切に対応します。
- ・プールについては、専用使用の利用が無い施設を個人使用として開放し、**水泳の練習、健康増進に取り組む場として、提供**します。
- ・個人使用日程については、利用可能な施設及び日時を1ヶ月前からホームページや館内掲示で公開し、多くの方に利用されるよう取り組んでいきます。



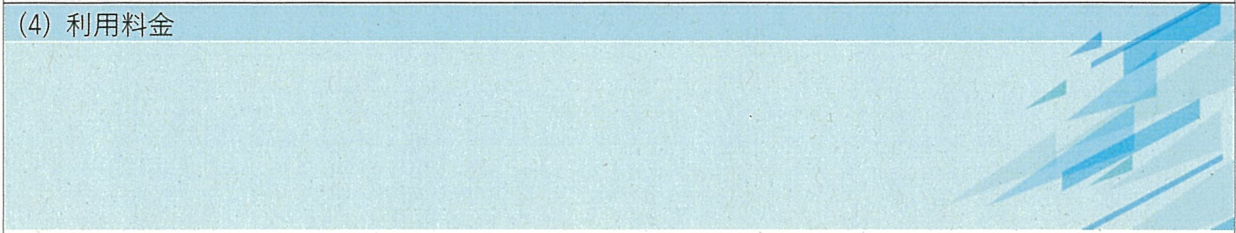
個人使用における利用受付

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(4) 利用料金



--	--

--	--

事業者・団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
---------	-----------------------------

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

別表

別表

(1) プール運営業務

「安全」「安心」に利用できるプール環境を整備し、誰もが「快適」に過ごせる空間を創出します

- 多種ある利用者ニーズを踏まえた、安全と安心の運営体制を構築し実践します
- 透明度の高い水環境を創造し、世界へ誇れる水泳場の実現を図ります

1 プール運営における基本的な考え方

「安全」「安心」「快適」な施設提供

- ・一般開放時においては、可動壁等の**プール設備機能を全面的に活用**するとともに、様々な利用者ニーズに合わせた**開放レーンの分割設定**を行うことで、**子供から高齢者、障害者、初心者から上級者**などの幅広い利用対象による多様なニーズに対応します。
- ・安全安心を第一とした、利用者に快適なプールを提供します。徹底した監視体制のもと、利用者動線全域の**安全確保及び事故の未然防止を徹底**します。
- ・**大会主催者へのサポートと密な連携**により、感動を与える魅力的な競技会等を開催し、観戦を通じてスポーツへの興味関心を喚起させ、スポーツ実践のきっかけづくりに繋がります。

2 一般開放時の運営

多様な利用者ニーズに応えるプール運営の提供

①メインプール

- ・東京2020大会会場の**大会本番さながらのプール**が体感できる場として開放します。
- ・都内では**希少な屋内50mプール**であり、水深を深く設定することで、水泳上級者などの利用についても、十分満足できる環境を提供します。
- ・利用対象は、東京都が定める管理基準を踏まえ、中学生以上とします。小学生については、泳力テストを実施し、水泳能力や安全面の確認により利用希望者を受け入れ、子供たちに**大規模プールを体感する機会**を創出して、**レガシー継承**にも繋げていきます。
- ・サブプールが競技会等により利用できない場合、メインプールを**浅い水深設定に変更**し、泳力の低い利用者でも泳ぎやすい環境を提供して、利用者の確保に努めます。

②サブプール

- ・可動壁を活用し、常時、25mプール2面の設定で開放することにより、高齢者や障害者も含め、泳力問わず**誰もが気軽に水泳を楽しむ場**を提供し、利用の促進を図ります。
- ・可動床を活用し、プール2面の水深をそれぞれ変えることで、初心者・初級者が利用しやすい環境を整備し、**利用者層の裾野拡大**を図ります。
- ・「泳ぎ」が苦手な人や高齢者からのニーズが高い水中ウォーキングなど、**健康増進を目的**にした利用も推進します。
- ・年齢や泳力を問わず利用できる場として、ロープを外した**フリーゾーン**を定期的を設定します。

③ダイビングプール

- ・団体利用では、飛込競技に限らず、**水球やアーティスティックスイミング、スクーバダイビングなど多種競技**の利用を促進し、ダイビングプールならではのニーズに対応していきます。
- ・個人使用では、安全管理上、**飛込競技のみ**の開放とします。危険の伴う競技特性を踏まえ、施設利用の承認基準を明確にし、安全管理を徹底します。

メインプール / 長水路設定(50m)

深い水深設定(2.0又は3.0m)	
1	個人(スタート練習)
2	個人(低速)
3	個人(中速)
4	個人(フィン)
5	
6	専用 (レーン貸し)
7	
8	
9	事業 プログラムなど
10	

サブプール / 短水路設定(25m×2面)

浅い水深設定(1.1m)		深い水深設定(1.4m又は2.0m)	
1	事業		事業
2	プログラムなど		プログラムなど
3			
4	個人(中速)		
5			
6	個人(低速)		専用 (レーン貸し)
7	個人(ウォーキング)		
8			
9	個人 (フリー)		個人
10			(高速)

設定運用例(レーン割り)

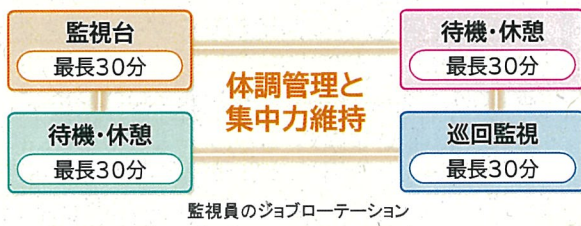
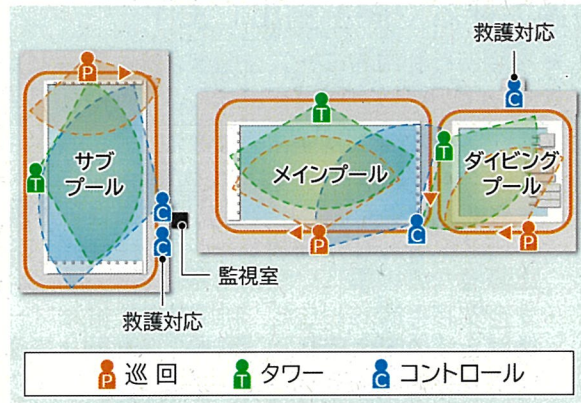
事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

3 経験と実績を生かして安全管理を徹底

プール監視体制・安全管理

- ・プール監視業務においては、多数の指定管理者施設を運営している実績に加え、民間のプール施設を運営する経験やノウハウを活用します。独自のハイレベルな安全品質基準のもと、適切な安全管理体制を整備します。
- ・プールの監視体制は**管理運営の基準を遵守**し、メインプール・ダイビングプールは6ポイント以上（総括責任者1ポイントを含む）、サブプールは4ポイント以上の配置とします。
- ・配置監視員のうち、1名以上は「東京都障がい者スポーツ指導員講習会」または「障がい者スポーツ指導員養成研修会」受講者とします。
- ・施設初利用者、子供・高齢者、障害者等への**サポート対応などを従事者に徹底**させます。
- ・監視員の体調管理及び集中力維持の面から**時間単位でのジョブローテーション**を行います。
- ・従業員の出勤調整等は、総括責任者が行い、欠員等の発生を未然に防止するとともに、更衣室、トイレでの巡視や緊急事態に対応するため、これまでと同様に**常時女性スタッフを配置**します。



スタッフの教育研修

- ・「水難救助訓練」を中心に**利用者の安全確保**に向けた研修に真摯に取り組みます。

研修名	研修内容	回数	時間	対象者
プールスタッフ実務研修	・ 接遇、対応及び監視方法等の指導 ・ 水質管理等に関する実務研修	随時	1.0H/回	プール監視員
水難救助法訓練	・ 水中での救助、プールサイドへの引き上げ ・ 傷病者の救命救急、応急手当等	3回/週	0.5H/回	プール監視員
外部講習会・セミナーへの派遣	・ 上位資格の取得や先進事例の学習	適宜	講習による	該当者

教育研修一覧

プールの点検・事故対応

- ・「プールの安全標準指針」（平成19年3月文部科学省・国土交通省発表）に基づき、プール監視員により**各種点検や水底確認を実施**します。安全面・衛生面・環境面も含めた適切な管理を行います。
- ・点検チェックシートを作成・活用して毎朝「**開場前点検**」、開場中の「**定時点検**」、閉場後の「**閉場後点検**」を行います。危険箇所を念入りに点検し、**事故の未然防止**を図ります。
- ・万一事故等が発生した場合には、「救命の連鎖」を踏まえ、心肺蘇生法、AED取扱いなど**迅速な救命活動**にあたるるとともに、**利用者の誘導、記録、救急車の要請や都への報告**などを確実に実行します。

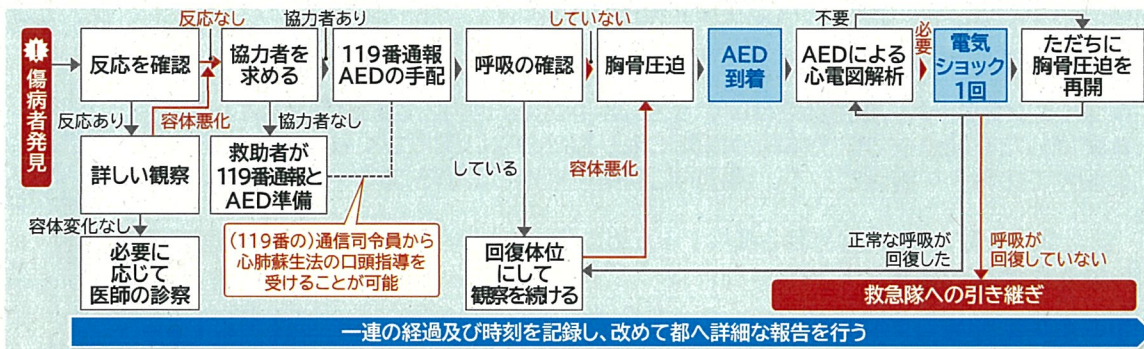
点検実施時			点検内容
前	中	後	
●	●	●	・ プールおよびプール周辺の安全確認、衛生確認 ・ 排水口やろ過機の吸い込み口は安全か ・ 場内にごみ、危険物は落ちていないか
●			・ シャワーその他、機械・設備面に問題はないか ・ 水面に虫、ゴミ、水中浮遊物、水底沈殿物等はないか ・ ろ過機と滅菌機は正常に運転するか ・ 水温・室温は遊泳に適しているか ・ 塩素濃度は基準値以内か
	●		・ 更衣室やトイレ内にけが人や急病人はいないか ・ 不審者はいないか ・ 更衣室の床面が水浸しになっていないか ・ トイレの便器や床が汚れていないか
	●	●	・ 長時間放置された忘れ物はないか ・ ロッカーキーの部品に緩みや損傷はないか（ロッカー点検）
		●	・ 各更衣室の出入口、窓の鍵は閉めたか ・ 個人情報 は安全に管理されているか ・ 電気・火気は消したか ・ 諸室の施錠

プールの点検内容

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 2 施設の運営



傷病者発生時の対応フロー(心肺蘇生法ガイドライン 2020 版に準拠、新型コロナウイルス対応加筆)

高い品質を保つための水質管理

- 自主管理基準の運用と監視員による毎時間の水質検査（塩素濃度測定）を通じ、透明度の高い高品質な水環境を創造します。
- 基準値以外の数値を検出した場合には、当グループ水質管理マニュアルに基づき、迅速かつ適切な処置を講じます。
- 目視によるプール槽点検や、清掃を実施するとともに、営業時間の毎時間に水温、室温、残留塩素測定、PH測定、透明度の測定を実施し、業務日誌として管理事務所で保管します。

4 競技大会等の行事成功に向けた運営サポート

経験実績に基づいたきめ細やかなサービス

- 経験豊富で施設や設備を熟知したスタッフが総力を挙げてサポートするとともに、大会主催者のパートナーとして、主催者の立場に立って親身に対応します。
- 主催者との窓口を一本化し、問合せや要望を一元化します。迅速な対応を可能とし、密な連絡体制、高い信頼関係を構築します。
- 大会当日は、主催者と緊密な連携を図り、安全・安心・快適な施設環境を提供します。

区分	サポート内容
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 吊りバトンの昇降など、設備操作は使用方法等を熟知した本施設担当職員が実施 消防法や火災予防条例等に準じた避難経路の確保などのアドバイス 物品販売やブース展開などにおける設置場所や待機列等のアドバイス
行事運営サポート	<ul style="list-style-type: none"> 競技会の規模、内容に合わせた会場使用計画の提案 利用競技に合わせ可動壁等を移動し、プール環境の確実な整備 水温、室温設定やろ過機の稼働台数など、主催者要望に最大限協力 大会内容に合わせた競技照明の点灯パターンの提案 諸室計画に伴い、仕切りパーテーションを設置、諸室の分割使用を提供 パラ水泳を含む競技備品など、使用方法の説明 Wi-Fi 設備使用時における、主催者と回線業者との契約サポート 協賛等スポンサー展開による売店・自動販売機などの専売・マスクング対応
機器操作サポート	<ul style="list-style-type: none"> 放送設備、水中サウンドシステムの操作方法サポート 大型映像装置の操作方法サポート

行事運営サポート内容例

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(2) 飛び込み用トレーニングルーム運営業務

安全最優先の運営で飛込競技の競技力向上を推進します

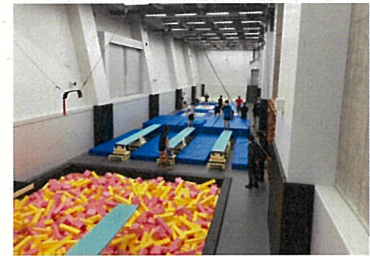
- ダイビングプールの併用施設として、安全面に配慮した明確な利用条件を設定します
- 徹底した設備点検や監視体制の構築により事故のない環境づくりを目指します
- 国内での希少な施設として、積極的に利用を推進していきます

1 安全かつ快適で衛生的な施設を提供するための具体的な取組

安全最優先の運営

①安全面に配慮した利用条件

- ・施設利用の承認基準として「**利用するための条件**」を定め、利用希望団体に確認します。
- ・「**利用上の注意事項**」の提示により、徹底した注意喚起を行います。
- ・利用当日は、安全チェック表をもとに器具等の安全確認を必須とし、**利用直前における安全管理**も図ります。



飛び込み用トレーニングルーム

利用するための条件

- (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を有する指導者が在籍する団体であること。
- 施設利用時は、専門的な知識を持つ資格者を、常時、同伴させること。
- 施設の利用は、原則、飛込競技の大会に出場している選手及びその指導者とする。
- 同時間帯の利用は、原則、1団体のみとする。
- 利用団体は、利用者にスポーツ傷害保険等へ加入させるなど、不測の事態に対応できるよう努めること。

利用上の注意事項

- 利用前に、安全チェック表等を活用し、器具の安全点検を実施すること。
- 運動に適さない服装での利用は、禁止とする。身体が濡れた状態での利用も不可とする。
- 指輪、ピアス等の貴金属類やその他物品等を落とさないよう注意すること。
- ピットでは、チップが攪拌され固まった状態でないことを確認すること。着地の都度、チップを振り起こし均等にならすこと。
- 頭からの入水練習や足からの棒飛び練習は禁止とし、背落ちなどの着地面積の大きい姿勢で落ちるよう練習すること。

②スタッフ・利用団体相互の監視体制

- ・スタッフによる巡回及び監視カメラでの利用状況確認と、利用団体による指導者の配置により、**ダブル監視体制**とすることで、**競技者の安全を十分確保した体制を構築**します。

③日常・定期的な設備点検

- ・日常点検として、設備点検表をもとに、ボルトの緩みや異音の確認など設備点検を実施し、**安心して練習ができる環境を整備**します。
- ・定期点検として、ボルトの増し締めやスポンジチップの補充等を**月1回程度の頻度で実施**します。さらに、専門業者による全器具のメンテナンスとして、スパッタリングの滑車やロープの状態確認等を実施し、**事故を未然に防いで**いきます。
- ・素足で使用する施設であることも踏まえ、体操マット等の日常清掃やピット内の定期清掃等を実施し、**安全かつ衛生的な環境を提供**します。



ボルト点検

④専門的な視点を取り入れた安全の確保

- ・日水連や構成団体Dと連携し、飛板のたわみ具合など、微妙に生じるズレや不具合を確認し、**専門的視点による設備点検を実施**します。
- ・同様の施設を持つプール管理者との意見交換を実施することで、**様々な事例を踏まえた安全管理**を積極的に取り入れていきます。



ピット内清掃

2 トップレベルの練習環境の積極的活用

競技力向上と裾野の拡大

- ・競技力向上として、飛込競技専門のトレーニング施設であることを生かし、強化合宿・練習を積極的に受け入れ、**アスリートの強化・育成を推進**していきます。
- ・飛込チームを有する構成団体Cや構成団体Dと連携し、初心者を対象とした飛込教室や指導者に対する人材育成に取り組み、各方面から**飛込競技の裾野拡大**を図ります。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(3) トレーニングルーム運営業務

TOKYO スポーツレガシービジョンの「スポーツの裾野拡大」に則った運営を行い、スポーツ実施率向上に貢献します

- 誰もが利用できるトレーニング機器や備品を整え、利用者数増を図ります
- 知識と経験のあるトレーナーが安全かつ快適で衛生的な環境を整備し、幅広い利用者層を開拓します

1 基本的な考え方

- ・ファンクショナル（機能的体幹トレーニング）エリアとフリーウェイトエリアを充実させることで障害者、初心者、アスリート、中学生、高齢者など、**誰もが利用できる環境を提供**します。
- ・初めての利用者やトレーニング初心者に対しては、知識と経験のある**常駐トレーナー**が安全で効果的な指導を実施します。運動の習慣づくりをサポートし、都民の**スポーツ実施率向上に貢献**します。



ファンクショナルエリアイメージ

2 トレーニングルーム整備運営方針

①水泳競技者や愛好者のトレーニングニーズを充たす環境整備

- ・構成団体CとDに関係の深いトップアスリート及びそのコーチへのヒアリングと構成団体Cの**選手専用のトレーニング室を参考**に機器備品類を整備します。
- ・「東京アスリート」の発掘と育成の為、**中学生から利用できる制度**とします（保護者や指定管理者が認めた指導員と同伴）。

②一般の施設利用を促進する運営

- ・トレーニング初心者に対しては常駐するトレーナーが個別にヒアリングを行い、基本的な**トレーニングメニューを提案**します。
- ・**15分～20分のスモールグループトレーニング**（無料）や個人指導（有料）などにより、気軽に運動を継続することができる機会を提供します。
- ・トレーニング機器メーカーが作成している**トレーニングメニュー動画サイトをQRコードで掲示**し、専門的で高度な情報の入手をサポートします。

3 運営方法について

開館時間・利用料金等

- ・開館日程については、予定が分かり次第、**速やかにホームページで告知**するとともに、館内で掲示、配布を行います。

安全管理

- ・「新しい日常」の考え方に沿い、換気、定員管理、消毒を徹底し、利用者へは体温測定や体調チェックを依頼する等、**安全・安心の利用環境を提供**します。
- ・初めての利用者にはトレーニングルームの使い方やトレーニング機器の取扱い方法などの**講習受講を義務付け**ます。
- ・器具や備品は開館前にチェックリストに基づく点検を行い、破損、不具合、故障の**早期発見と対応**に努め、**常に利用しやすい環境**を保ちます。



機器・備品の点検

4 利用促進策について

- ・再オープンイベントや施設主催イベント、構成団体Dの主催大会など、多くの水泳競技者や愛好者が集まる機会に**水泳に特化したトレーニングセミナーや元トップアスリートによるトークショー**などトレーニングルームでのイベントを実施し、利用意欲を喚起します。
- ・InstagramやTwitterなどの**SNSを通じて現在の混雑状況や常駐トレーナーによる「今日のトレーニング」等の情報を発信**し、興味の喚起と集客につなげます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(4) 東京 2020 大会メモリアルギャラリー運営業務

東京 2020 大会のレガシーを継承する魅力的な空間を創ります

- 東京 2020 大会の感動と記憶を後世に伝えるため、大会の関連資料や記録を発信し、無料の展示施設として広く情報を公開します
- アーカイブ資産や ICT 機器等を活用し、大会の臨場感や水泳競技の魅力を体感できるコンテンツを展開します

1 当ギャラリー運営における基本的な考え方

東京 2020 大会の記憶に触れる機会を提供

- ・ 東京 2020 大会アーカイブ資産を活用して、魅力的な展示コンテンツを創出し、積極的に発信することで、大会の感動と記憶を後世に伝え、**大会レガシーを継承**していきます。
- ・ 物品や資料等を**適切に収集・整理・管理**し、東京 2020 大会開催の努力や取組を将来に伝達していきます。
- ・ 利用者からの問合せや質問に対し、的確かつ真摯に対応して、**質の高い利用者対応**を目指します。

2 資料や記録の適切な紹介・管理、利用者対応における具体的な取組

東京 2020 大会の記録と記憶を残し、未来に継承する取組

①東京 2020 大会に関する資料紹介、常設展示・企画展示

- ・ 東京 2020 大会アーカイブ資産について、限られたスペースを有効に活用し、より多くの展示物を公開していくとともに、独自に収集した**東京 2020 大会出場選手サイン入り用品**などの貴重な資産についても展示し、**東京 2020 大会の感動と興奮**を呼び起こす常設展示を展開します。
- ・ パラ水泳における大会の功績をパネルで紹介するとともに、直接手の触れられる競技物品等を展示し、競技の魅力を体感できる仕組みを取り入れ、パラスポーツ、共生社会の理解を促進します。
- ・ 企画展示では、**駒沢総合運動場のメモリアルギャラリー**と連携した聖火トーチやポスター等の比較展示や、**等と連携した 2024 年パリ大会等の気運醸成特別展**を開催し、1964 年大会と 2020 年大会との結びつけ、未来へ繋ぐ展示を展開します。
- ・ 選手気分が体感できる仕掛けとして、ICT を活用した競泳や飛込等の VR 体験や、フォトスポットとして実物表彰台の設置を検討しており、当ギャラリーを利用する**きっかけづくり**に努めます。

②大会の記念品や記録の適切な保存・管理

- ・ 東京都と組織委員会によるアーカイブ協定の内容を踏まえ、保存場所の**温湿度管理**や**紫外線対策**等を実施し、品質維持や劣化に最大限留意した保存環境を整備します。
- ・ 写真や取扱の注意事項等を記載した物品リストを作成し、**適切に物品を把握、管理**していきます。

③質問対応など案内業務の工夫

- ・ **展示内容を熟知したスタッフ**を開場時間（プール一般公開時の 9～17 時を想定）に配置し、利用者からの質問に対して的確に回答することで、東京 2020 大会に関する理解促進を図ります。
- ・ 多言語表記やピクトグラム等を活用するとともに、音声ガイド機能の導入を検討し、外国人含め、**誰もが見学しやすい施設**とします。

④来場者拡大への取組

- ・ 都内小中学校の**校外学習**や**地方からの修学旅行**などを積極的に受け入れ、より多くの来場、大会レガシーの継承を図ります。
- ・ デジタルサイネージの活用や公園と連携した広報活動のほか、**取材申込等にも柔軟に対応**し、メディアを含め様々な媒体で積極的に当ギャラリーをアピールしていきます。
- ・ 「作品展」「地域クリーン活動」「職場体験」など、スポーツ以外の取組における参加者にも当ギャラリーの魅力を伝えることで、**新たな関心を喚起**させ、レガシー継承の広がり努めます。

(1) 受付案内

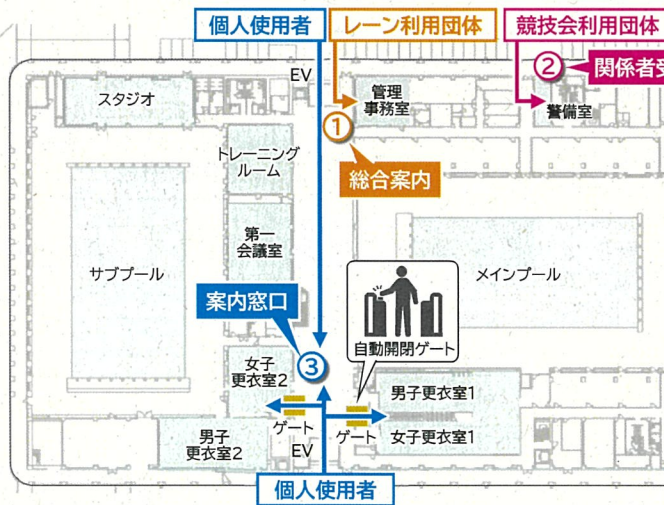
誰もが利用しやすい、目的に応じたワンストップの受付を整備します

- 大会利用や個人使用など、利用目的に合わせた受付体制の構築と入退場管理システムの活用により、入館から利用までを快適かつスムーズに案内します
- 磁気ループなどの施設設備を最大限活用するとともに、これら設備の認知度・理解を高め、誰もが安心して利用できる施設を提供します

1 快適に施設を利用できる受付体制

ワンストップでの受付対応と総合案内の設置

- ・各施設の配置と利用者の動線に合わせて、最適な位置に受付を配置します。
- ・「レーン利用（団体）」、「大会利用（団体）」、「個人使用」の3つの利用目的毎に受付を整備することで、それぞれで**ワンストップの受付対応**とします。
- ・利用者の動線を利用目的毎に分けるとともに、入退場管理システムを導入し、自動開閉ゲートによる更衣室の出入口を管理することで、混雑のない**スムーズな入場管理**とします。
- ・団体利用受付には、施設の基本情報を集約し、「**総合案内**」としての機能も持たせ、個人使用や事業・教室等の案内も可能とし、利用者からの相談、問合せにも気軽に対応できる体制とします。
- ・都立スポーツ施設の**業務経験が豊富なスタッフ**を配置することで、利用者ニーズに最大限応え、全ての利用者が安心、快適に施設を利用できる環境をつくります。



利用目的毎の受付配置・役割

① 団体利用受付 兼 総合案内
[管理事務室]

- ・レーン利用団体の受付(事前予約、当日手続き、料金徴収など)
- ・フロア案内、施設紹介、個人使用等各種問合せ、拾得物の問合せ
- ・事業、教室の案内 等

② 大会関係者受付 [警備室]

- ・大会利用団体への鍵の貸出
- ・利用報告書の受け渡し 等

③ 個人使用受付 [プール更衣室前]

- ・個人使用者からの各種問合せ(営業時間、料金など)
- ・券売機の案内、更衣室への入退場サポート
- ・事業、教室の案内 等

2 あらゆる利用者に寄り添う様々な取組

「インクルーシブシティ東京」実現への寄与

- ・本施設に掲示する案内表示はデザインを統一し施設的美観を保ちつつ、「東京都カラーユニバーサルデザインガイドライン」や「標準案内用図記号」を用い、誰もがわかりやすい表現・色合い・文字や記号の大きさ等の工夫を心掛け、見やすい場所へ掲示します。
- ・接客時のツールとして多言語翻訳アプリ「Voice Tra」等を導入し、外国人利用者への適切な対応に努めます。また、常設されている**多言語放送設備を最大限活用**するため、施設運営に係る館内放送に限らず、大会主催者に対し大会での利用を促します。
- ・耳マーク等の掲示や筆談具の設置、車いすの無料貸し出しなどを継続して行うとともに、シャワー用の車いす、ベビーカー置場、補助犬を預かるケージなどを整備し、様々な利用者の利便性向上を図ります。
- ・本施設に導入されている難聴者支援の「**磁気ループ**」設備を有効に活用するため、大会等の利用団体に積極的に周知し補聴器の貸出を行います。この「磁気ループ」はアンテナが観客席の一部エリアに敷設されているため、エリア内の座席の譲り合いなど、**来場者の理解促進**についても同時に取り組んでいきます。同じく観客席に設けられている「**カームダウン・クールダウン**」スペースもまだ認知が進んでいないため、これらエリアについての丁寧な説明や掲示物等により、来場者の認知度・理解を高め、**誰もが安心して利用できる施設環境づくり**を進めていきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(2) 苦情・要望等に対する対応等

利用者の声を真摯に受けとめ、利用者と共にある施設をつくります

- 対応体制を整え、迅速な利用者対応と効果的な対応策を検討します
- スタッフ全員が共通認識のもと業務にあたり、水準を維持したサービスを提供します
- 都立スポーツ施設として透明性のある対応と、公表により説明責任を果たし、誠実な施設運営を行います

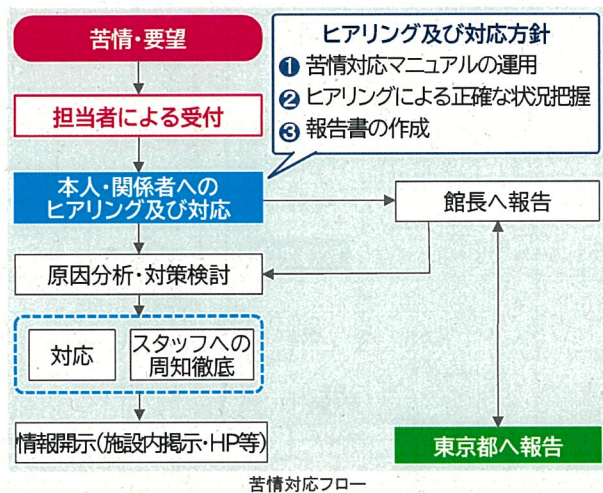
1 苦情・要望等に対する対応

トラブルの未然防止

- ・ スタッフと利用者の日常的なコミュニケーションのほか、多種多様な意見収集（提案課題3-2-(2)参照）により、**潜在的な苦情等を把握し、トラブルの未然防止**に努め、利用者とともに新しい運営のあり方を築きあげていきます。
- ・ 複数の都立スポーツ施設を管理運営していることから、各施設でのトラブルや対応状況を**月に1度の各施設長等を集めた経営会議などで共有**し、同様のトラブルの未然防止を図ります。
- ・ 年1回、スタッフ・利用者それぞれの立場のロールプレイを取り入れた接遇・クレーム研修を実施し、スタッフとしての対応方法を習得するだけでなく、利用者の立場からもスタッフの対応の違いで生じる心理を知ることにより、トラブル発生時には利用者に寄り添った適切な対応をとり、**丁寧かつ迅速に解決に導く人材を育成**します。

意見等の反映・改善の仕組み

- ・ 当グループが管理する他施設も含めた意見・要望・対応事例をデータベース化し、PDCAサイクルにより改善を図ることで、**グループ全体のサービス水準向上**につなげます。例えば、他館で「体調管理チェックシートの記入が大変」というご意見をいただいた際は、代表団体Aが管理する施設においてWEB上でチェックシートの入力ができるシステムを導入しました。好評をいただいております。本施設においても導入予定です。
- ・ 苦情等を受けた場合は真摯に受け止め、担当者がヒアリングし正確に状況を把握することにより、内容に応じた速やかな検討と公正・迅速な対応を行います。これらの経過については、逐次館長に状況を報告し、**本施設全体の共通認識のもと、誠意をもって対応**します。
- ・ 対応策・処理経過については報告書にまとめ東京都に報告するとともに、**業務改善や日常的な教育の徹底等**により、効率的・効果的な対応策の検討を継続して行います。



改善策の共有・検証

- ・ 苦情等の内容及び対応経過・改善策については、各業務の責任者から構成される実務担当者会議で共有します。
- ・ 改善策については、各業務の責任者からスタッフへ周知を徹底し、スタッフ全員が共通認識を持って業務にあたります。利用者の視点に立ち、考え、再発防止や業務改善をおこない、サービス水準の向上に努めます。
- ・ さらに、これらの取組内容については、パートナーシップ会議などで共有し、**18施設全体の対応スキル水準の向上**につなげます。

利用者への公表

- ・ 寄せられた苦情等に対する対応経過や改善策等については、施設内掲示やホームページなどで公表します。**都立スポーツ施設としての透明性・説明責任**を果たし、利用者との信頼関係の構築に努めます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(1) スポーツ振興事業

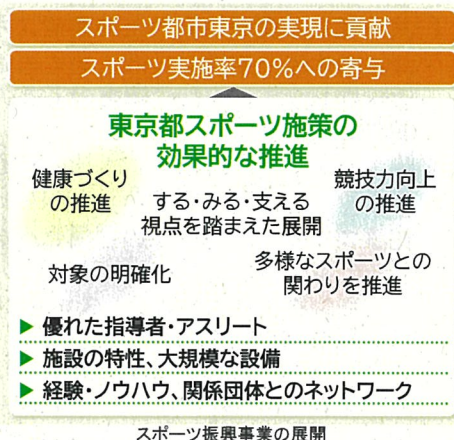
東京都の施策を踏まえて事業を展開し、スポーツ実施率70%の達成、「スポーツ都市東京」の実現に貢献します

- スポーツ実施率70%の達成に向け、多様なスポーツとの関わりを推進します
- 「する・みる・支える」視点を踏まえ、健康づくり、競技力向上を図ります
- 優れた指導者やアスリート等を活用し、質の高い事業を展開します

1 事業実施における実施方針

スポーツ実施率70%の達成に向けた効果的な事業の推進

- ・「東京都スポーツ推進総合計画」、「TOKYO スポーツレガシービジョン」など東京都の施策を踏まえ、**スポーツ実施率70%、「スポーツ都市東京」の実現**に向け、事業を展開します。
- ・「**する・みる・支える**」視点を踏まえるとともに、健康づくりや競技力の向上など、多様なスポーツとの関わりを推進します。
- ・東京2020大会の会場であったことを踏まえ、競技種目の体験や指導者の育成など、大会会場としての**レガシー継承と一層の水泳の普及振興**を図ります。
- ・本施設の特性を生かすとともに、当グループの経験とノウハウ、優れた指導者・アスリート、関係団体等とのネットワークを活用し、**質の高い事業を展開**します。



2 「する・みる・支える」視点を踏まえた事業展開

スポーツに親しむ多様な機会を提供する「するスポーツ」の推進

- ・スポーツを通じた都民の健康づくり、競技力の向上等を推進し、**生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しむことができるよう**、スポーツへの取組を促進します。

① 競技力向上

- ・構成団体D、都体協や中体連等と連携し、競泳、アーティスティックスイミング、飛込のジュニア選手が経験豊富な指導者から技術指導を受けられる「ジュニア選手活動活性化事業」を実施し、**ジュニアの競技力向上、水泳活動の充実**を図ります。
- ・働き盛り世代やシニア世代の愛好者、競技志向者に対して、「スイマーフォームクリニック」を行い、泳法やスタート、ターンの技術の習得、トレーニング方法などを**個人のレベルや目的に合わせた指導・アドバイスを実施**します。

② 健康づくりの推進、水泳の更なる裾野拡大

【オリンピック・パラリンピアン等による水泳教室】

- ・日水連やJOC、JPCとの連携、構成団体D及びCのネットワークを活用し、小・中学生を対象に、オリンピック・パラリンピックなどに出場したトップアスリートと交流できる機会を設け、**水泳の振興と子供たちに夢を与える事業**を行います。
- ・シニア世代を主対象とした「愛好者のためのトップスイマークリニック」を開催し、**水泳技能の向上、健康体力の維持増進、継続的なスポーツ実践意欲の促進**を図ります。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

【東京2020大会会場としてのレガシー継承】

- ・東京2020大会会場であったレガシーを継承するため、大会の競技種目であったアーティスティックスイミング、飛込、水球、オープンウォーターの「体験教室」を実施し、**競技の魅力の理解、水泳の普及振興**を図ります。
- ・東京2020大会の開催を記念し、本施設で実施された競泳、アーティスティックスイミング、飛込の愛好者を対象とした「東京アクアティクスセンター杯水泳大会」を開催します。本施設で練習を重ねている方々が、日頃の練習の成果を発揮する場とするとともに、**東京2020大会の記憶を後世に継承**していきます。



東京アクアティクスセンター杯のイメージ

【共生社会の実現に向けた障害者スポーツの振興】

- ・NPO団体等と連携し「はじめての障害者スイミング」を行い、障害のある人に水泳に親しむ機会を提供します。同時に**障害のある人の水泳活動を支える人材を育成**するなど、**障害者スポーツの振興**を図ります。
- ・障害のある人を対象に、水泳の初心者、初級者なども参加できる「障害者水泳交流大会」を開催します。交流を中心に楽しみながら行う交流大会とし、**水泳の裾野の拡大**を図ります。

【健康づくり・スポーツの習慣化への取組】

- ・小学生を対象に「アクアスイミングランキング」を実施し、ランキング上位者を称え、**スポーツの継続的な実践、水泳に取り組む意欲を高め**ます。
- ・親子を対象に普段接することの少ないスポーツを取り上げる「親子で楽しむチャレンジスポーツ」を実施し、**働き盛り世代、子育て世代のスポーツへの関心と意欲を高め**ます。
- ・女性やシニア世代を主対象に「運動不足解消のための水中運動講座」を実施し、**健康体力の維持増進、継続的なスポーツ実践意欲を促進**します。

スポーツの興味関心を高める「みるスポーツ」の推進

- ・日水連や構成団体Dなどの大会主催者との連携のもと、本施設で行われる国際大会や全国大会などを観戦し、スポーツの醍醐味、素晴らしさを知ってもらう「**観戦招待事業**」を実施します。
- ・トップレベルの水泳競技大会の観戦を通じて、夢や感動を享受し、**スポーツへの興味・関心と実施意欲**を高めます。

スポーツ推進に必要な人材を育成する「支えるスポーツ」の推進

- ・国内のさまざま水泳指導者を対象に、水泳技術の向上、指導技術の向上に向けた「水泳コンベンション in アクア」を開催します。水泳協会や民間スポーツクラブ、学校運動部活動の**指導者が相互に交流できる機会**とします。
- ・障害者や中高齢者の指導者等を対象としたセミナーを開催し、生涯スポーツとして**盛んな水泳を支える人材の育成**に取り組み、**一層の水泳の普及振興**を図ります。

3 効果的な事業としていくための取組

スポーツ気運継承事業との連動

- ・代表団体Aは、「スポーツ気運継承事業」として、18施設をはじめ、都内や市区町村等で開催されるスポーツイベントに参加した方に**デジタルポイントを付与**し、景品と交換できるスタンプラリーを実施します。
- ・年度終わりには、各イベント参加者とも交流が持てるよう「スポーツ交流フェスタ(仮称)」を実施し、ポイント獲得者に景品を贈呈するなど今後のイベントへの参加を促すとともに、都民のスポーツへの興味・関心を高め、こうした**都民のスポーツ習慣を根付かせる活動に積極的に取り組み、スポーツ振興事業の効果的な実施**を図ります。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	
1	【競泳ジュニア選手活動活性化事業】 競泳のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。都体協や中体連等と連携し、活動の活性化を図るとともに、競技力向上に寄与することで、ジュニア世代の育成を促進する。	幼児・子供	第3・4 四半期 2回 各1日	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
						収入合計	参加料	協賛金	その他※	
2	【アーティスティックスイミングジュニア選手活動活性化事業】 アーティスティックスイミングのジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。都体協や中体連等と連携し、活動の活性化を図るとともに、競技力向上に寄与することで、ジュニア世代の育成を促進する。	幼児・子供	第3 四半期 1回 1日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
						収入合計	参加料	協賛金	その他※	
3	【飛込ジュニア選手活動活性化事業】 飛込のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。都体協や中体連等と連携し、活動の活性化を図るとともに、競技力向上に寄与することで、ジュニア世代の育成を促進する。	幼児・子供	第3 四半期 1回 1日	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
						収入合計	参加料	協賛金	その他※	
4	【スイマーフォームクリニック】 働き盛り世代やシニア世代を対象に、レベルや目的に合わせたクリニックを実施する。フォームを撮影し、その解説と今後のトレーニング方法を指導するとともに、VTRを参加者個人に還元し、個人の競技力向上と生涯スポーツとしての促進を図る。	働き盛り世代 女性 高齢者	第1～4 四半期 24回 各1日	240		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
						収入合計	参加料	協賛金	その他※	
5	【オリンピック・パラリンピアンによる水泳教室】 小・中学生を対象に、競泳等のクリニックを実施する。オリンピック・パラリンピアン等によるトップアスリートからの指導と交流を通じて、水泳に対するますますの意欲の高揚を図る。	子供	第2・4 四半期 2回 各1日	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
						収入合計	参加料	協賛金	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。 						支出合計①				
						総合計				実施回数
						—	—	—		

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
6	【愛好者のためのトップスイマークリニック】 シニア世代、働き盛り世代の競技志向者を対象に、トップアスリートによる水泳指導を実施する。技術向上を目指すことで、水泳競技の継続意欲をより一層促進し、水泳の普及・振興に寄与する。	働き盛り世代 高齢者	第2・3 四半期 1回 4日	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【東京アクアティクスセンター杯水泳大会(競泳)】 水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、競泳の競技会を開催する。日頃の練習の成果を発揮する場とするとともに、東京2020大会の記憶を後世に継承する。	子供 働き盛り世代 女性 高齢者 障害者	第2 四半期 1回 1日	3,500		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
8	【東京アクアティクスセンター杯水泳大会(AS・飛込)】 水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、アーティスティックスイミング、飛込の競技会を開催する。日頃の練習の成果を発揮する場とするとともに、東京2020大会の記憶を後世に継承する。	子供 働き盛り世代 女性 高齢者 障害者	第4 四半期 1回 1日	500		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
9	【アーティスティックスイミング体験会】 小学生以上の初心者を対象に、ASの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。最終日には、成果を披露する発表会を実施するなど、達成感とともに競技の魅力についての理解を促進し、競技の普及・振興を図る。	子供 働き盛り世代 女性	第2・3 四半期 1回 5日	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	【飛込体験会】 小学生以上の初心者を対象に、飛込の基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。安全かつ適切な指導のもと、基本技術習得とともに競技の魅力についての理解を促進し、競技の普及・振興を図る。	子供 働き盛り世代 女性	第2・3 四半期 1回 5日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。 						支出合計①			
						総合計 実施回数 参加人数		収入合計②	

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
11	【水球体験会・水球クラブ間交流会】 小学生以上の初心者を対象に、水球の基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。また、高校や大学の水球クラブチームを対象に、日頃の練習の成果を試す場・交流の場を提供する。競技の魅力の理解と交流の場を創出し、競技の普及・振興を図る。	子供 働き盛り世代 女性	第2・3 四半期 1回 5日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	【オープンウォータースイミング体験会】 小学生以上の初心者を対象に、オープンウォータースイミングの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。安全かつ適切な指導のもと、基本技術習得とともに競技の魅力についての理解を促進し、競技の普及・振興を図る。	子供 働き盛り世代 女性	第3 四半期 1回 1日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	【はじめての障害者スイミング・水泳ボランティアセミナー】 障害者の水泳初心者・初級者を対象に、水慣れ、泳法の基本指導を行う教室を実施する。同時に、障害者支援に興味のある方を対象に、ボランティアセミナーを実施する。水泳の楽しさの理解促進と「支える」人材の育成により、障害者スポーツの振興を図る。	障害者 働き盛り世代	第2～4 四半期 2回 各2日	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
14	【障害者水泳交流大会】 障害者を対象に、水泳の初心者、初級者なども参加できる大会を開催する。交流を中心に、スポーツをする楽しさや達成感を味わえる交流大会とし、水泳の裾野拡大を図る。	障害者 働き盛り世代	第3 四半期 1回 1日	60		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
15	【アクアスイミングランキング】 小学生を対象に、競泳の学年別・泳法別の記録会を実施する。それぞれのランキング上位者を称え、小学生の競技力、水泳への取組意欲の向上を図る。	子供	第1～4 四半期 6回 各1日	300		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①				
			—	—	収入合計②				

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
16	【親子で楽しむチャレンジスポーツ】 小学生とその保護者を対象に、フィンスイミングやサブ等のスポーツを体験する機会を提供する。親子のスキンシップ、スポーツの楽しさの共有を図り、スポーツへの関心と意欲向上を図る。	子供 働き盛り世代 女性	第3 四半期 1回 1日	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
17	【運動不足解消のための水中運動講座】 女性・働き盛り世代・高齢者を対象に、健康増進やアンチエイジングを目的とした講座を実施する。水中ウォーキング、水中リハビリなどのエクササイズ等により、筋力の維持、体力の向上を図るとともに、スポーツ活動への意欲を高める。	働き盛り世代 女性 高齢者	第3 四半期 6回 各1日	240		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
18	【観戦招待事業】 競技団体の主催者と連携し、一般都民を対象に、本施設で実施される大規模水泳大会の観戦招待を行う。トップアスリートの競技を直接「みる」機会を広く提供し、スポーツへの興味・関心と実践意欲を高める。	子供 働き盛り世代 女性 高齢者	第4 四半期 3回 各1日	300		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
19	【水泳コンベンションinアクア】 水泳指導者を対象に、国内の指導者が一堂に会する機会と場所を提供する。著名人等による講演会や指導者同士の交流会を実施し、水泳指導者の資質の向上と交流を図り、「支える」人材の育成に寄与する。	指導者 働き盛り世代	第4 四半期 1回 1日	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
20	【障害者水泳指導セミナー】 障害者水泳の指導者やパラアスリートの保護者等を対象として、障害の程度に応じた水泳指導の専門的スキルを幅広く学ぶ講習会を実施する。直接的に競技者を「支える」人材の育成に寄与する。	指導者 働き盛り世代	第3 四半期 1回 1日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①				
			—	—	収入合計②				
									—

(2)スポーツの日記念事業

スポーツの魅力を感じることができる多様なプログラムを提供し、スポーツへの理解と関心、意欲の高揚を図ります

- 様々な年齢の方が参加できる事業とし、スポーツを始めるきっかけづくり、継続的なスポーツ実践意欲を促進します
- 東京2020大会のレガシー継承をはじめ、多様なプログラムを展開します
- グループ4施設の連携企画を実施し、スポーツの日記念事業を盛り上げます

1 スポーツの日記念事業の実施方針

スポーツの理解・関心、意欲を高める事業を実施

- ・スポーツ基本法、本施設の管理基準を踏まえ、広くスポーツについての理解と関心を深め、積極的にスポーツをする意欲の高揚につながるよう取り組みます。
- ・様々な年齢の方々に、多様な体験機会を提供し、スポーツを始めるきっかけ、継続的なスポーツ実践意欲の促進を図ります。
- ・本施設の特性を生かしながら、東京2020大会のレガシー、スポーツの魅力を感じることができるプログラムなどを、**当グループの優れた指導者、アスリート、関係団体とのネットワークを活用し、質の高い事業を展開します。**

- ✓ 様々な年齢の方が参加できるプログラム
- ✓ 多様なスポーツ体験機会
- ✓ スポーツを始めたいくなるきっかけ
- ✓ 継続的なスポーツ実践意欲を促進

スポーツへの理解と関心・意欲の高揚

生涯を通じたスポーツへの取組に寄与

スポーツの日記念事業のポイント

2 具体的なプログラム展開

スポーツの魅力を感じることができる多様なプログラムを提供

目的	事業展開案（一例）
健康増進、体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・個人使用施設の無料開放（屋内プール、トレーニングルーム） * 普段スポーツをしない人への訴求、本施設を知ってもらうPR ・健康増進に向けたプログラム（例：スタジオ・プールでのヨガや太極拳、水中エクササイズなど） * 気軽に楽しめる健康増進運動の紹介、体を動かす楽しさの体験
スポーツ・レクリエーションの体験	<ul style="list-style-type: none"> ・水に親しむプログラム（例：アクアチューブ、キッズボート等の水上遊具使用など） * 水慣れ、水を楽しむレジャー・レクリエーションの提供 ・幅広い年齢層が楽しめるプログラム（例、ニュースポーツ、ポッチャなど） * ユニバーサルなスポーツ・レクリエーションの体験
技術向上	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピアン等の水泳教室、レベルに合わせた技術指導 等 * アスリートとふれあう機会の提供、技術向上機会の提供 ・タイムトライアル（泳法・距離別等） 等 * 競技会で使用しているタッチ板を使用したタイムの計測機会の提供
東京2020大会レガシーの継承 スポーツの理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピアン等のデモンストレーション、トークイベント 等 * アスリートの力を間近で体感する機会の提供、東京2020大会の記憶の継承 ・東京2020大会競技の教室（飛込、水球、ASなど） 等 * 東京2020大会の競技体験機会の提供、競技の魅力の理解促進機会の提供 ・イベントに合わせたギャラリーの企画展示、バラスポーツのパネル展示 等 * 東京2020大会のレガシー継承、スポーツの理解促進機会の提供

スポーツの日記念事業の展開例

【 多様な体験機会の提供 】

- ・様々な年齢層の方が参加できるプログラムを展開します。スポーツになじみの薄い人でも参加できる豊富なプログラムを提供し、**スポーツへの興味・関心を高め、スポーツ意欲を促進**します。
- ・東京2020大会のレガシー継承として、東京2020大会の競技体験やオリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートによるデモンストレーション、東京2020大会を振り返るトークイベントなど、**大会レガシーの継承、アスリートの力を間近で体感する機会を提供**します。
- ・プールやトレーニングルームを無料開放し、普段スポーツをしない人、スポーツから遠ざかっていた人への訴求を図り、**イベント後の再来場、施設利用を促進**します。

【 4施設を繋いでイベントを更に盛り上げ 】

- ・代表団体Aが管理する施設での「スポーツの日記念イベント」を YouTube で同時中継するなど、“4施設を横ぐし”の連携企画を実施します。これにより**4施設が繋がり合同でスポーツの日記念イベントを盛り上げて**いきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	スポーツの日において、都民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲の高揚するような事業を実施する。東京2020大会レガシーの継承プログラムなどを含め、様々な年齢層の方々が多様なスポーツ体験ができる機会を提供する。併せて当日の個人使用については無料開放を行う。	全世代	10月 1回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						0			
3						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						0			
4						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						0			
5						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						0			
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。 						支出合計①			
						総合計 実施回数 1 参加人数 2,000		収入合計②	

(3) 自主事業

幅広いニーズに対応したプログラムを提供し、都民のスポーツ実施率向上に貢献します

- 「水泳の拠点」にふさわしい質とバラエティに富んだプログラムを実施します
- 初めての人や低体力者、運動経験の少ない人が参加しやすい体制を作ります

1 基本的な方針

- ・TOKYO スポーツレガシービジョンにうたわれている「日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場として、幅広い世代に利用いただくとともに、施設スペックをフルに活かし、多様な活用を推進していく」という本施設の運営方針に基づいた自主事業運営を行います。
- ・当グループならではのスポーツ振興事業との連携を図りつつ、「水泳の更なる裾野拡大、都民が健康増進に取り組める場の提供」の実現を目指します。



2 周辺地域の特性とニーズ

① 子供人口の増加に伴うニーズと供給の状況

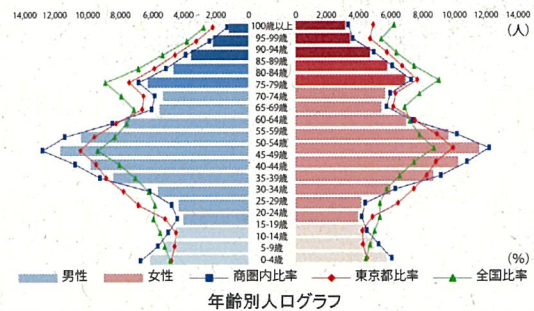
- ・本施設から半径3km圏内は、0-9歳の人口比率が全国平均や都内と比較して高い水準にあります。子供向けの教室には高い需要があると想定されますが、実施されている施設の数は横ばいで、増えていません。

② 総人口の増加に伴うニーズと供給の状況

- ・半径3km圏内の総人口が増加している一方で、近隣のフィットネスクラブでは、人気があるヨガやピラティス、ZUMBA等のスタジオプログラムにおいて、収容可能人数を超えることが無いように、整理券を配布したり、一部有料化を行うなど、運動を気軽に始めたり継続したりすることがしづらい状況にあります。

③ 近隣エリア世帯の特徴

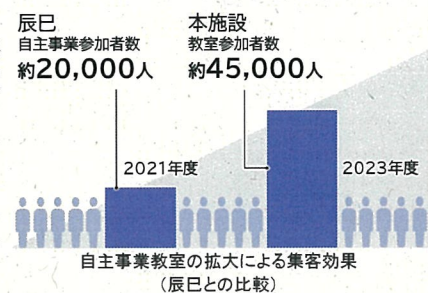
- ・近隣の豊洲地区周辺は高所得世帯の割合が多く、個人指導のニーズが高いと考えられます。



3 自主事業教室の実施計画

基本方針と分析結果に基づいた自主事業プログラムの提案

- ・プールでは、「幼児から成人まで、初めての人からアスリートまで」に対応する水泳の拠点にふさわしいプログラムを提供します。特に周辺エリアで人口の増えている子供連の水泳教室は受入数やコマ数を増やし、ニーズに応えます。
- ・飛込、アーティスティックスイミング、水球など、スポーツ振興事業で人気のある種目を定期教室化します。
- ・スタジオでは、人気があるヨガ、ピラティス、ZUMBA等を中心に、初めての人や低体力者等にも参加しやすいスタジオプログラムを提供します。
- ・プールやトレーニングルームでの個人指導の充実を図ります。運動習慣が少なく、マイペースでトレーニングしたい方や、高所得世帯における個別指導のニーズを取り込みます。
- ・WEB配信によるライブプログラムを導入し、提供できるプログラムの種類を増やすことで多様なニーズに応えます。
- ・多様な生活スタイルに合わせ、人気プログラムは時間帯を変えて複数配置します。
- ・プログラムはトレンドを踏まえ3か月ごとに内容を更新します。



事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

プールプログラム(例)	主な対象	強度	スタジオプログラム(例)	主な対象	強度
ベビースイミング	乳幼児と保護者	-	ヨガ	16歳以上	弱～中
キッズスイム(幼児)	3歳から未就学児	-	ピラティス	16歳以上	中
キッズスイム(児童)	1年生～6年生	-	ZUMBA	若者から中年層	強
キッズスイム(上級)	試合出場を目指す子	-	ベビー・リトル体育	乳幼児と保護者	-
成人スイム(初心者)	65歳以上	弱	キッズ体育	3歳～小学生	-
マスターズスイム自主トレーニング	中学生以上	中～強	キッズダンス	4歳～中学生	-
アクアサーキット	16歳以上	中	颯爽(さっそう)	高齢者・低体力者	弱
水中ウォーキング	中高年層	弱	肩こり・ひざ痛予防	中高年層	弱
飛込教室	小学生以上	中	ファイトアタック	若年から中年層	中～強
ダイビング講習会	8歳以上	-	プライベートレッスン	3歳以上	弱～強
プライベートレッスン	3歳以上	弱～強	WEBライブレッスン	16歳以上	弱～強

バラエティに富んだプログラムの提供

運営方式

- 大人向けの教室は月ぎめ型と都度型を設定し、**受講者の利便性を向上**することで参加者数を増やします。

自主事業の集客方法

- オープニングイベントでの**体験教室**や、**申込キャンペーン**を開催します。
- 施設ホームページでの告知のほか、年4回、施設周辺の住居**3万戸にチラシを配布**します。
- 送迎バスのボディに教室紹介ホームページのQRコードを掲載し、**動く広告塔**として活用します。

4 その他の自主事業

スポーツや運動への参加や継続を促すためのイベント開催

- ファミリーデーとして家族でのスキンシップやベビーの水慣れを目的にプールに**専用エリアを設定**します。
- 双方向ライブセミナーでは**日本代表選手を育成している指導者によるアスリートやその指導者向けのセミナー**を開催します。**5G環境を活用し「超ライブ、超リアル」**な体験機会を、より多くの方に提供します。
- 屋外空間でのヨガやピラティス等のレッスン**を開催します。また、夏休みに南階段空間で**ピアノ演奏付ラジオ体操**を開催します。将来的にはスポーツと音楽ライブが融合したイベントの企画を検討します。

施設利用者を増やすための無料の自主事業

- プールやトレーニングルーム内で**施設使用料だけで参加できる15～20分のショートプログラムを実施**します。
- マスターズスイム参加者向けの**自主トレーニング用メニュー**を提供します。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
1	「ベビースイミング」その他※は広告宣伝・消耗品・手数料等 乳幼児のための水中運動教室 保護者とのスキンシップを図り、心身の発達を促す 参加対象:乳幼児生後6ヶ月～3歳未満とその保護者	通年	1,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		48回			収入合計	参加料	入場料	その他※		
2	「キッズスイム」スクール その他※は同上 子供を対象とした水泳教室 水慣れから4泳法習得まで、社会性の涵養 参加対象:3歳～小・中学生	通年	9,600		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		180回			収入合計	参加料	入場料	その他※		
3	「キッズスイム」スクール上級コース その他※は同上 子供を対象とした水泳教室の上級コース 競技力養成まで、水泳を通じての社会性の習得 参加対象:3歳～小・中学生	通年	960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		48回			収入合計	参加料	入場料	その他※		
4	「成人スイム」その他※は同上 初心者から4泳法マスターまで 水泳の楽しさの体験と継続、健康維持増進、泳力アップ 参加対象:16歳以上男女 特に中高年齢層に好適	通年	1,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		60回			収入合計	参加料	入場料	その他※		
5	「飛込教室」ダイビングプール使用 その他※は同上 基礎から競技まで 講師は国内トップ選手を指導するコーチ陣 飛込の基本技術習得、アクアティクスセンターならではのレッスン 参加対象:小学生以上男女 スポーツ振興事業参加者継続用	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		24回			収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③			
				—			—			
		総合計		—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
						—			—	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
6	「アクアサーキット」 その他※はNO.1と同 有酸素運動と筋トレを合わせた水中運動を音楽に合わせて実施 脂肪燃焼、シェイプアップ、ストレス解消など 参加対象:16歳以上男女 若年～中高年齢層に好適	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	「パーソナルスイム(1レッスン30分)」 個々のレベル、状態に合わせたオーダーメイドのレッスン 目的や都合に合わせたレッスンプラン作成が可能 参加対象:4歳以上男女 多忙な方、運動経験の少ない方	通年	96		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		96回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	「アクアウォーク&ジョグ」 水中での多様な歩行・走行のスタイルを体験・習得 脚部への負担を軽減しつつ、バランス力の向上、体力の維持増進 参加対象:16歳以上男女 足腰に痛みや不安のある方に好適	通年	2,640		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		132回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	「ウキウキリラックス」 浮き具を使い、水中での浮遊感を体感するプログラム リフレッシュ、リラクゼーション 参加対象:16歳以上男女 リラクゼーションを求めている方	通年	2,160		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		108回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	「キッズ体育」スクール スタジオ実施 その他※はNO.1と同 マット運動、跳び箱、鉄棒などの体育種目の練習 運動の楽しさ、できるようになることの達成感、社会性の涵養など 参加対象:3歳から小中学生まで	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		—	—		—			—	
				支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)		

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
11	「ベビー・リトル体育」スクール スタジオ実施 乳幼児のための運動プログラム その他※はNO.1と同 保護者とのスキンシップを図り、心身の発達を促す 参加対象:1才から3歳未満の乳幼児と保護者	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
12	「キッズダンス」スクール スタジオ実施 その他※は同上 子供のためのダンス教室 音楽に合わせた動作や群舞の楽しさの体験、社会性の涵養など 参加対象:4歳から小中学生まで	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
13	「キッズ空手」スクール スタジオ実施 その他※は同上 子供を対象とした空手教室 基礎的な型の習得、礼儀作法など社会性の涵養 参加対象:4歳から小中学生まで	通年	480		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		24回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
14	「キッズバレエ」スクール スタジオ実施 その他※は同上 子供を対象にしたバレエ教室 基礎的な身体の使い方や音楽に合わせた動作、社会性の涵養 参加対象:4歳から小中学生まで	通年	480		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		24回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
15	「キッズ新体操」スクール スタジオ実施 その他※は同上 子供のための新体操教室 基本的な身体・装具の使い方、音楽に合わせた動作、社会性の涵養 参加対象:4歳から小中学生まで	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施回数	参加人数	繰入額①				収入総合計③	
		—	—	—				—	
		総合計		—	—	支出総合計②(①を含む。)			

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
16	「キッズチアダンス」スクール スタジオ実施 その他※NO.1と同 子供のためのチアダンス教室 基本的な動きの習得、チームダンスの体験、社会性の涵養等 参加対象:4歳から小中学生まで	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料		その他※
17	「スムーズモーション」 スタジオ実施 その他※は同上 凝り固まった筋膜をほぐし、動きを良くするトレーニング ケガや痛みの予防、動きやすい身体づくり 参加対象:16歳以上男女 動きやすい身体を作りたい方に好適	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料		その他※
18	「ピラティス」 スタジオ実施 その他※は同上 歴史100年のメソッド。からだの奥にある筋肉を円滑強化 ボディ引締め、姿勢改善 参加対象:16歳以上男女 若年から中高年層まで好適	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料		その他※
19	「ヨガ」スタジオ実施 その他※は同上 普及しているハタヨガをベースに、現代人向けにアレンジしたヨガ 心身のリフレッシュ 参加対象:16歳以上男女 運動経験少ない方やヨガが初めての方	通年	1,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		60回			収入合計	参加料	入場料		その他※
20	「ステップZERO」 スタジオで実施 ※その他は同上 音楽に合わせてステップ台への昇降運動を行う。3ヶ月で内容更新。 有酸素運動脂肪燃焼とステップ運動による脚力強化 参加対象:16歳以上男女 若年から中高年層 初心者向け	通年	480		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料		その他※
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③		
		—	—	—			—		
		総合計		—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
21	「フィットZERO」スタジオ実施 その他※はNO.1と同 簡単なエアロビクス・格闘動作、筋トレ。初心者向け、3ヶ月で更新 全身のリフレッシュ、脂肪燃焼、体力の維持増進 参加対象:16歳以上男女 若年から中高年層 全身爽快感を得たい方	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
22	「ファイトアタック」スタジオ実施 その他※は同上 格闘技の動きやトレーニング法をサーキット形式で実施 カロリー消費やストレス解消 参加対象:16歳以上男女 若年から中高年層 男性にも好適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
23	「颯爽ベーシック(オリジナル転倒防止プログラム)」スタジオ実施 チェアエクササイズや自重トレーニング その他※は同上 日常生活に必要な歩行能力とバランス能力の向上(転倒予防) 参加対象:60歳以上優先受付 低体力や病後回復中の方にも適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
24	「颯爽いきいき脳体操(転倒予防プログラム+脳トレ)」スタジオ実施 簡単な有酸素運動と頭の体操を組み合わせ ※その他は同上 体力の維持、認知症予防 参加対象:60歳以上優先受付 低体力者や病後回復中の方にも適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
25	「颯爽ウォーク(オリジナル転倒防止プログラム)」スタジオ実施 歩行に必要な筋力トレーニングと認知症予防の脳トレの実施 歩行力アップ、認知症予防 その他※は同上 参加対象:60歳以上優先受付 低体力者にも適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施 回数	参加人数	繰入額①				収入総合計③	
				—				—	
総合計		—	—	支出総合計②(①を含む。)				差引④(③-②)	
				—				—	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
26	「肩こり予防」スタジオ実施 その他※はNO.1と同 肩まわりの筋肉を中心にした簡単な全身体操 血液循環を改善し、肩こりの解消 参加対象:16歳以上男女 日常でパソコン操作等中心の方に好適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
27	「ひざ痛予防」スタジオ実施 その他※は同上 ひざ関節の知識習得と体幹・脚の筋力を強化する運動の実施 日常生活の膝関節への負担軽減、痛みの予防や改善 参加対象:16歳以上男女 ひざ痛予防改善したい方に好適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
28	「太極拳」スタジオで実施 その他※は同上 中国に古くから伝わる健康法の習得 正しい姿勢や身体の使い方を身につけ内側から調子を整える 参加対象:16歳以上男女 高齢者にも好適	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
29	「フラダンス」スタジオ実施 その他※は同上 ハワイアンにあわせたフラを習得 正しい姿勢での優雅な動きで足腰を鍛えられ、健康につながる 参加対象:16歳以上男女 経験者、入門コース修了者	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
30	「フラダンス入門」スタジオ実施 その他※は同上 フラダンスの基本的な動きの習得 正しい姿勢で優雅な動きを習うことで足腰を中心に全身運動効果がある 参加対象:16歳以上男女 女性の動きを中心に実施	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施 回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		—	—		—			—	
							支出総合計②(①を含む。)		

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
31	「ZUMBA(ズンバ)」スタジオ実施 その他※はNO.1と同 ラテンを始め世界中のダンス音楽を取り入れたダンスエクササイズ ストレス発散解消、脂肪燃焼 参加対象:16歳以上男女 ダンス音楽が好きな方に好適	通年	1,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
32	「親子ヨガ」スタジオ実施 その他※は同上 親子で一緒にヨガを実施 保護者のストレス解消、子供とのスキンシップによる心身の発育促進 参加対象:乳幼児期とその保護者	通年	480		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		24回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
33	「パーソナルコンディショニング」トレーニングルーム実施 個々のレベル、状態に合わせたオーダーメイドのレッスン 目的に応じた効果 参加対象:3歳以上の希望者	通年	96		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
34	「ダイビング講習会」(プール講習)ダイビングプール実施 スキューバダイビングライセンス取得のための陸上での講習会とプ ール実習の実施 参加対象:8歳以上の希望者	通年	10		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
35	「子どもスポーツスクール 関連グッズ販売」 その他(収入)※は商品販売額 スポーツスクールに必要な物品の販売 対象:乳幼児から中学生くらいまで	通年			支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の 収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載 し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。	総合計	実施 回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		—	—		—			—	
		—	—		支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—			—	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
36	「水中ウォーキング(フリープログラム15分)」サブプール実施 水中での多様な歩行方法の体験 水の特性を利用した効果的な運動方法の習得 参加対象:16歳以上男女 高齢者、低体力者、病後回復中の方に好適	通年	2,540		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		254回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
37	「マスターズスイム自主トレーニング」サブプール実施 競技志向の利用者に自主トレーニング用のメニュー表を提供します。 体力増進、泳力アップ 参加対象:18歳(マスターズ競技参加可能年齢)以上	通年	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
38	「プケトレ(フリープログラム10分)」トレーニングルーム実施 簡単なストレッチやトレーニング用品を使ったトレーニングの紹介 自宅でする運動の習得、トレーニングルームの使い方の啓発 参加対象:中学生以上男女	通年	1,270		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		254回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
39	「コアヒーリング(フリープログラム15分)」トレーニングルーム実施 円柱形のポールを使用して前面側を上げるストレッチなどを実施 円柱型ポールの使い方習得、背中側緊張緩和や骨盤位置の修正 参加対象:中学生以上男女 受験生、デスクワークの多い方に好適	通年	360		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
40	「ラジオ体操第1(フリープログラム10分)」トレーニングルーム実施 ラジオ体操第一を実施し、運動のポイントをトレーナーが解説 誰もが知っている体操を健康づくりに生かす方法を習得 参加対象:中学生以上男女 運動経験の少ない方に好適	通年	360		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施 回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		—	—		—			—	
		総合計			支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—			—	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/ 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
41	「ラジオ体操第2(フリープログラム10分)」トレーニングルーム実施 ラジオ体操第二を実施し、運動のポイントをトレーナーが解説 誰もが知っている体操を健康づくりに生かす方法を習得 参加対象:中学生以上男女 運動経験の少ない方に好適	通年	360		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
42	「Laフィットキュア(フリープログラム15分)」トレーニングルーム実施 足裏やリンパの指圧、身体を揺らす、簡単なウォーキングなど 体液循環を改善し、身体を自然な状態にリセットする方法を習得 参加対象:中学生以上男女 高齢者や低体力者、冷え性の方に好適	通年	360		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		72回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
43	「バランスボール(フリープログラム15分)」トレーニングルーム実施 バランスボールを使ったコア(体幹部)エクササイズ バランスボールの使い方習得、体幹安定による姿勢や機能の改善 参加対象:中学生以上男女 運動経験少ない方や受験生などに好適	通年	1,270		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		254回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
44	「ビューティープロジェクト(フリープログラム)」 テーマ別で毎日違うメニューで実施 トレーニングルーム実施 テーマ別のトレーニング方法やトレーニングルームの使い方の習得 参加対象:中学生以上男女 各テーマに関心のある方	通年	1,270		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		254回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
45	「けん玉エクササイズ(フリープログラム15分)」 トレーニングルーム実施 けん玉を使って楽しみながら、足腰の筋力強化につながります。 参加対象:中学生以上のけん玉のできる人	通年	180		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。	総合計	実施回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
					-			-	
					支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					-			-	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
46	「ハッピーファミリーデー(プール フリープログラム)」 家族連れを対象に、プールでのレクリエーションやゲーム等に参加頂き、楽しく過ごしていただく企画。(施設利用料のみで参加可能) 月1回 不定期で実施 サブプールで台を入れて実施	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料		その他※
47	「短期キッズスクール(水泳、体育、ダンス)」 水泳:サブプール 体育、ダンス:スタジオで実施 幼稚園や学校の長期休暇時に短期間の教室を実施します。 参加対象:3歳から小中学生まで	春夏冬	270		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		9回			収入合計	参加料	入場料		その他※
48	「アウトドアスクール」その他※はプログラム実施委託費や保険等 サマーキャンプ、スノーキャンプ 集団生活を通じて、自然体験、社会体験、生活体験を楽しく学ぶ 参加対象:3歳から小中学生まで	春夏冬	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12回			収入合計	参加料	入場料		その他※
49	「双方向ライブセミナー」全館での実施 5G環境を活用したトップアスリートを育成指導者によるWEBライブセミナーの開催(年1回開催予定) 参加対象:アスリート及び指導者	秋	50		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			収入合計	参加料	入場料		その他※
50	「南側屋外階段利用 夏休みラジオ体操」 辰巳臨海公園と連携した事業として、屋外階段を利用したラジオ体操を実施。ライブ感のある演出を行う。(夏休み中に年1回開催) 参加対象:ラジオ体操のできる人どなたでも	夏	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			収入合計	参加料	入場料		その他※
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		実施回数	参加人数	繰入額①				収入総合計③	
				-				-	
		総合計			支出総合計②(①を含む。)				差引④(③-②)
				-				-	

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
51	「WEBライブプログラム」スタジオ実施 土日を中心に人気プログラムを実施(年間30日程度) 参加対象:16歳以上男女 土日休みのビジネスパーソン	土日	3,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		150回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
52	「再開業イベント」 本施設の再開業を記念し、イベントを実施する。無料での一般公開や水泳プログラムの体験、施設見学会などを行い、当施設の再開業を広く周知・アピールする。また、通年開催となる教室等の申込キャンペーンもあわせて実施し、利用促進を図る。	4月	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
53					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
54					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
55					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
総合計		実施回数	参加人数		繰入額①				収入総合計③
		2,931	43,792		支出総合計②(①を含む。)				差引④(③-②)

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

(4) 周辺連携事業

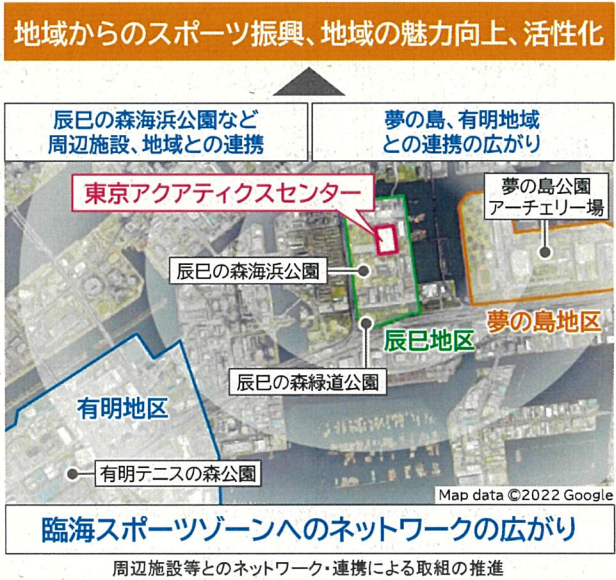
他の都立スポーツ施設とのネットワークや周辺施設等と連携し、地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化を図ります

- 「TOKYO スポーツレガシービジョン」などの施策を踏まえ、各種取組を展開します
- 周辺施設・地域をはじめ、臨海スポーツゾーンへの面的広がりを視野に連携を進めます
- 多様な取組を図り、にぎわいの創出、スポーツ振興及び地域の活性化等に繋がります

1 周辺連携事業の基本方針

臨海スポーツゾーンの基幹施設として、東京都の施策を踏まえて取組を展開

- ・ 「TOKYO スポーツレガシービジョン」、「新規恒久施設の施設運営計画」など、東京都の施策を踏まえて事業を展開します。
- ・ 本施設は、「臨海スポーツゾーン」の基幹施設の一つであるという認識のもと、他の都立スポーツ施設などを牽引し、**地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化**に向けて取り組めます。
- ・ 隣接する辰巳の森海浜公園と一体となった取組を積極的に進め、**にぎわいの創出、スポーツ振興**を図ります。地域に親しまれる施設となるよう、**教育機関や団体への協力、地域社会への貢献**にも取り組めます。
- ・ 公園等との連携とともに、夢の島地区や有明地区など、**臨海スポーツゾーンへの面的な広がりを視野に連携、ネットワークづくり**を進めていきます。
- ・ 当グループは、上記の考えをもとに、連携先との十分な協議を進めるとともに、「新規恒久施設の施設運営計画」の4つの視点を踏まえ、各種取組を展開していきます。



2 施策を踏まえた視点で事業に取組

視点① にぎわいの創出

- ・ 隣接する辰巳の森海浜公園をはじめとする周辺施設と連携したイベント等を開催することにより、**にぎわいの創出、スポーツ実施率の向上**など地域からのスポーツ振興を図ります。
- ・ 隣接する辰巳の森海浜公園と連携し、「**ニュースポーツ**」のイベントを開催します。ニュースポーツの名所としての認知度を高め、将来に渡る当該エリアの**にぎわいの創出**とともに、**働き盛り世代や女性などのスポーツ実施率の低い層への訴求**を図り、地域からのスポーツ振興を図っていきます。
- ・ 当グループは、(一社)東京都レクリエーション協会から**関心表明書**をいただいております、実施に当たっては協力いただく予定です。
- ・ 親子や働き盛り世代を主対象に**SNSを活用**し、辰巳や夢の島地区などの**認知度向上**も図る「**フォトラリー**」を実施します。
- ・ 「臨海スポーツゾーン」の等と連携し、東京2020大会会場であった有明コロシアムや本施設等を巡る「**ガイドツアー**」、と連携し、「**子供ヨット体験**」の開催など、**他の都立スポーツ施設とのネットワークを生かし、スポーツ振興**を図ります。
- ・ 構想段階の事業としては、デッキ部等を活用したミニコンサートや部活動のダンス発表会、樹木へのイルミネーションや小学校と連携したクリスマスツリー装飾・点灯式など、更なるにぎわい創出に向け、模索していきます。



ガイドツアーでの説明イメージ

事業者・団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
---------	-----------------------------

視点② 施設及び公園の相互利用促進

- ・施設の特性を生かした相互利用を促進することで、**更なるにぎわいの創出**を図ります。
- ・個人使用施設を開放している際は、公園利用者や周辺のランナー等がシャワーや更衣室を利用できる「ランニングステーション」機能を持たせ、**公園との相互利用や利便性の向上**を図り、**地域に親しまれるスポーツ拠点**を目指します。
- ・隣接する辰巳の森海浜公園や



ランニングステーションとしても利用できる更衣室
(東京体育館の例)

- ・などの他の都立スポーツ施設と連携し、「**周辺施設との相互情報発信**」を行います。
- ・デジタルサイネージなどでイベントや施設の魅力等を相互に情報発信し、各施設の既存利用者以外の方に魅力や情報を届けることで興味・関心を喚起し、**相互利用や新たな利用者の開拓に繋げます**。
- ・隣接公園と連携して、女性に人気の「**ヨガ**」の**イベントを共同開催**し、スポーツ実施率の向上に寄与します。そのほか、構想段階の事業としては、自主事業での「**ヨガ**」などのプログラムを、定期的な屋外開催や、本施設と公園を会場とした大規模イベントの開催など、地域からのスポーツ振興、更なる公園との相互利用の促進を模索していきます。

視点③ 利用しやすさのための改善

- ・本施設や隣接する辰巳の森海浜公園について、関係機関と連携を深めながら、**アクセスや利便性の向上**を図ります。
- ・と連携し、シェアサイクルの駐輪場を設置します。本施設へのアクセス向上のみならず、「**自転車活用推進重点地区**」である豊洲地区など、周辺地域との回遊性を高め、**本施設及び公園等周辺施設の利用者増、にぎわいの創出**に繋げます。
- ・隣接する辰巳の森海浜公園との連携した取組を進める基盤として、「**定期的な連絡会**」を毎月行います。利用スケジュールを共有し、利用者に必要な情報の伝達や管理運営の確認・協議を行うなど、**両施設の円滑な利用**を図ります。
- ・辰巳の森海浜公園と二者の連絡会を中心としながらも、面的な広がりを目指して拡大した連絡会についても働きかけていきます。夢の島地区などの周辺施設や公園、鉄道事業者などとイベント時の対応をはじめとした**情報共有により、利便性の向上、安全性の向上等**に取り組めます。

視点④ 公園機能の拡充

- ・本施設は辰巳の森海浜公園に隣接しており、**平常時や災害時の安全性を一体的に高めていく**ことは、利用者だけでなく辰巳地区、周辺地域の利益につながるものと考えます。
- ・日常的な夜間警備などで近隣公園と連携を図るとともに、**地元警察・消防等の協力を得ながら**、本施設と公園の「**合同防災訓練**」を行い、一体となって互いの**防災機能を高め、地域の安全を確保**します。
- ・災害の際には、本施設と公園で必要な情報を共有して対応するとともに、両施設の**デジタルサイネージを活用**し、例えば、一時滞在施設として本施設の開設状況や公共交通機関の状況など、**利用者等に必要な情報を発信**していきます。



公園と合同の防災訓練での防災用トイレ組立の様子
(駒沢総合運動場)

視点⑤ 地域への貢献

- ・本施設が末永く都民に親しまれ続けるためには、まずはその基盤となる**地元地域に愛される施設**でありたいと考えます。
- ・**地元の様々な機関と連携し、地域社会に貢献**していくことで、本施設の存在価値を高めていきます。
- ・地元の団体や教育機関と連携した「**作品展**」や「**インターシップの受入れ**」、施設のアウトリーチ活動として、地域清掃を兼ねた「**地域クリーンウォーキングのイベント**」などを行い、**地域への貢献、地域の魅力向上や活性化**につなげていきます。



地域団体の作品展の様子(東京武道館)

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	【ニューススポーツイベント】 ニューススポーツで有名な辰巳の森海浜公園と連携し、ニューススポーツの体験イベントを実施する。にぎわい創出とともに、誰もが気軽に始められる種目特性を生かし、地域からのスポーツ振興を図る。	第3 四半期	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【フォトラリー】 当施設を含めた東京2020大会会場等を巡り、撮影しながら点数を競うラリーを実施する。SNSへの投稿を推奨することで、運動機会の創出だけでなく、当エリアの社会的認知の拡大を図る。 ※収入その他欄：周辺企業・団体からの協賛金を想定	第4 四半期	50		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【ガイドツアー(東京2020大会施設等見学)】 と連携し、「臨海スポーツゾーン」の東京2020大会会場を巡るツアーを実施する。他の都立スポーツ施設とのネットワーク、大会レガシーの継承を図る。	第4 四半期	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【子供ヨット体験】 と連携し、ジュニア世代を対象としたヨット体験を実施する。ヨットを種目とする貴重な体験機会を提供することでスポーツ振興を図るとともに、他の都立スポーツ施設との強固なネットワークづくりを進めていく。	第2 四半期	24		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【ランニングステーション】 公園利用者や周辺地域のランナー・ウォーカーに対して、個人利用施設開放時に更衣室を利用いただけるようにし、公園と当施設が地域のスポーツ拠点として定着することを目指す。 (収支については管理運営費の一部として計上)	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		—	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。 		総合計	実施 回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			—	—	—			—	
			—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
			—	—	—			—	

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
6	【周辺施設との相互情報発信】 辰巳の森海浜公園や都立施設と連携し、デジタルサイネージでの放映、パンフレット設置やパネル展示等により、各施設の魅力や催物情報等を相互で発信する。各施設とのネットワークづくりとともに、既存利用者以外の方へ訴求し、相互利用や新たな利用者の拡大を図る。	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【ヨガイベント】 辰巳の森海浜公園と連携し、ヨガイベントを実施する。ヨガは年齢に関わらず始められる運動で特に女性に人気がある種目であり、スポーツ実施率の低い層への訴求、スポーツ実践のきっかけづくりを図る。	第3 四半期	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【シェアサイクルの運用】(再掲) と連携し、シェアサイクルのポートを新たに設け、本施設及び周辺施設へのアクセス向上、周辺地域一帯の回遊性を高め、相互利用の促進、地域の活性化の寄与する。(利用者に対するサービス提供事業の再掲のため、収支は本計画では未計上)	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【定期的な連絡会(連絡会を通じた周辺施設との連携)】 辰巳の森海浜公園と今後の行事や管理運営等を確認する連絡会を実施し、利用者に必要な情報を提供するなど、効果的な施設運営を図る。また、年数回は、夢の島地区などの周辺施設や鉄道事業者など、拡大した連絡会の実施も働きかけていく。	通年 12回程度	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【合同防災訓練等による安全性の向上】 辰巳の森海浜公園と連携し、合同で防災訓練等を実施する。地元の消防や警察等の協力、指導助言を得ながら、災害時における防災、減災への備えとして防災機能を高め、安全性の向上を図る。	第4 四半期	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			実施 回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					—	—	—	—	—
			—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—	—	—	—	—

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
11	【地元団体・教育機関等(小学校・特別支援学校等)の作品展】 地元の団体や教育機関等と連携し、絵画や書道などの作品展示を実施する。文化振興への寄与とともに、地元の団体などとの連携を深め、地域に根ざした施設となるよう取り組んでいく。	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
12	【職場体験・インターンの受入】 地元の教育機関等の職場体験・インターンシップなどを受け入れ、教育活動への積極的な協力を行う。本施設での業務体験等を通じて施設の理解とともに、本施設との連携、交流を進め、地域に親しまれる施設となるよう取り組んでいく。	随時	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
13	【地域クリーンウォーキング】 近隣公園を含めた周辺地域において、ウォーキングを兼ねた清掃活動を実施する。楽しみながら美化を図り、地域の交流を促進することで、地域の魅力向上・活性化に繋げていく。	年2回	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					0				
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
					0				
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					0				
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
					0				
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。	総合計	実施回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		20	1,304					支出総合計②(①を含む。)	
								差引④(③-②)	

(5) 利用者に対するサービス提供事業

施設の付加価値を生み出し、利用促進及び新たな利用者の獲得を目指します

- 実施方針のもと、多角的な視点を踏まえ魅力あるサービスを提供します
- 近隣地区からの交通アクセスの充実に繋がるサービスを提供し、利用者の獲得を図ります
- 新たなトレンドやニーズにも柔軟に対応し、満足度の向上を図ります
- エントランスの有効活用など、多様な施設活用により多くの人に親しまれる施設を目指します

1 実施方針

- ・ 本施設は、大規模大会等の開催だけでなく、個人利用や各種事業の提供など、あらゆる人々が健康増進に取り組むことができる施設でもあり、利用者の年齢層は幅広く、利用目的も多岐にわたります。
- ・ 本事業では、次の5つを柱にサービスを提供します。
 - ① 飲食物等の販売・提供、駐車場などの運営による**利便性の向上**
 - ② 施設の立地及び利用者ニーズを踏まえた**アクセシビリティの改善**
 - ③ 利用目的に合わせた割引制度等の導入による**満足度の向上**
 - ④ **最新のコンテンツ**を取り入れたサービスの提案
 - ⑤ 新たな施設活用の創出による**施設価値の向上**
- ・ このように、施設・利用者・利用目的などの多角的視点から、特性やトレンド・ニーズを踏まえたサービスを提供することにより、**施設の付加価値を創出し、誰もが利用しやすい・利用したい施設環境を整え、利用の促進及び新たな利用者の獲得を目指します。**



2 魅力あるサービスの提供

- ・ 本施設は、アクセスや近隣の商業施設の少なさに課題があると捉えています。利用者からも近隣地区からのアクセスや、水泳教室等プログラムに参加する子供の送迎の負担軽減、飲食物の販売、スポーツ用品の販売・レンタルなど様々な要望が想定されます。
- ・ これらに応えるサービス及び最新コンテンツの体験などの新たなニーズへ柔軟に対応するため、14 事業のサービスを提供し、**施設の利用促進及び新規利用者の獲得**につなげます。

項目	サービス内容
① 売店	・ 大会開催日を中心とした売店の出店
① 自動販売機	・ 軽食等を販売する自動販売機を導入 ・ ユニバーサルデザイン、災害支援対策機、キャッシュレス対応機の導入
① スポーツ用品の販売	・ スポーツ関連用品等の展示販売
① レンタル品の貸出	・ 手軽に施設を利用できるようレンタル品を貸出
① オリジナルグッズの販売	・ 来館記念となるグッズを販売
① 自転車駐輪場	・ 24 時間無料開放
①・③ バイク駐輪場	
①・③ 駐車場	・ 思いやりスペース (10 台) の常時確保 ・ 電気自動車急速充電器の整備 ・ 大会利用対象の貸切利用 (全面/一部)
② シャトルバス	・ 個人利用者向けに近隣地区を周回する無料送迎バスを運用
② シェアサイクル	・ 駐輪場にサイクルポートを設置し、「自転車活用推進重点地区」である豊洲等近隣地区からの利便性を向上
④ スマートミラーの貸出	・ セルフフィットネスができる場の提供
④ 充電器シェアリングサービス	・ スマートフォン用バッテリースタンドの設置
⑤ エントランスの貸出	・ パブリックビューイング会場としての貸出 ・ 地域住民のサークル活動や近隣幼稚園の遊技場等の場として貸出
⑤ 施設内における撮影	・ 雑誌・広告等の写真/動画撮影など、各種撮影の受入

サービスの一例

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【売店の運営(2階エントランスラウンジ)】 利便性及び満足度向上を目的に、大会開催日を中心に売店を出店する。コンビニ形式、カフェスタイル等、様々な形態を検討する。営業時間は開館時間内とし、代表団体Aの管理の下、外部事業者の出店により運営する。		支出	収入
2	【自動販売機の設置】 利便性及び満足度向上を目的に、自動販売機を設置する。コンビニ自販機等の導入により、飲料だけではなく充実した品目を取り揃えるほか、ユニバーサルデザインや災害支援対策機、キャッシュレス対応機を導入する。館内設置のため、利用時間は開館時間内とし、代表団体Aの管理の下、外部事業者の機器設置及び販売により運営する。		支出	収入
3	【スポーツ用品の販売】 利便性向上を目的に、水着やトレーニングウェア、ゴーグルなどのスポーツ関連用品等を展示販売する。イベント販売やオフシーズンバーゲンも企画し、利用者ニーズに応える。営業日・営業時間は、原則個人利用開放日に準ずる。運営は構成団体Cが行う。		支出	収入
4	【レンタル品の貸出】 利便性向上を目的に、忘れ物や手ぶらで来館した場合でも利用が可能となるよう、タオルやトレーニングウェア、シューズ、スイムキャップ、ゴーグルなどのレンタル品を提供する。営業日・営業時間は、原則個人利用開放日に準ずる。運営は構成団体Cが行う。		支出	収入
5	【オリジナルグッズ販売】 満足度向上及び本施設のPRを目的に、本施設の公式ロゴマークを付した品など、来館記念となるグッズを販売する。売店や自販機等で販売し、代表団体Aが運営する。		支出	収入
● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。			繰入額①	収入合計③
● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。			-	-
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)
● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			-	-

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
6	【自転車駐輪場の運営】 「自転車活用推進重点地区」である豊洲地区などからのアクセシビリティ向上を目的に、24時間利用可能な無料の駐輪場を運営する。運営は代表団体Aが行う。		支出	収入
7	【バイク駐輪場の運営】 アクセシビリティ向上を目的に、バイク駐輪場を運営する。 代表団体Aが運営し、集金等一部業務を外部に委託する。		支出	収入
8	【駐車場の運営】 アクセシビリティ向上を目的に、駐車場を運営する。 代表団体Aが運営し、集金等一部業務を外部に委託する。		支出	収入
9	【シャトルバスの運用】 アクセシビリティ向上と利用促進を目的に、本施設と周辺駅等との間で無料送迎バスを運行する。運行日は原則個人利用開放日とし、時刻表は開館時間やスタジオプログラム等を考慮し設定する。構成団体Cが運営し、一部業務を外部に委託する。		支出	収入
10	【シェアサイクルの運用】 「自転車活用推進重点地区」である豊洲地区などからのアクセシビリティ向上を目的に、駐輪場内にサイクルポートを設置する。料金はコミュニティサイクル利用料金のとおり、と連携し、代表団体Aが運営する。		支出	収入
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。 ● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。 			繰入額①	収入合計③
<ul style="list-style-type: none"> ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 			-	-
<ul style="list-style-type: none"> ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。 			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)
			-	-

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
11	【ミラー型モニターの貸出】 利便性及び満足度向上を目的に、スタジオにてオンラインでのパーソナルな指導を可能にするミラー型モニターの貸出を行う。個人利用者を対象とし、構成団体Cが運営する。		支出	収入
12	【充電器シェアリングサービス】 利便性及び満足度向上を目的に、スマートフォン用バッテリースタンドを設置する。最寄り駅(辰巳駅)などに導入済みのスタンドと同一とすることで、相互利用を可能にする。館内設置のため、利用時間は開館時間内とし、代表団体Aの管理の下、外部事業者提供のサービス利用により運営する。		支出	収入
13	【エントランスの貸出し】 多様な施設活用を目的に、地域住民のサークル活動や近隣幼稚園の遊技場、企業のサステナビリティ活動の場等として、3階エントランスなどを貸し出す。貸出は大会利用のない日の開館時間内とし、代表団体Aが運営する。		支出	収入
14	【施設内における撮影】 多様な施設活用及び本施設のPRを目的に、各種撮影を受け入れる。原則、開館時間内及び利用団体や利用者へ支障が出ない範囲での受入れとし、代表団体Aが運営する。		支出	収入
15			支出	収入
			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。

- 支出合計②、収入合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。

(1) 広報

デジタル広報を促進し、多面的な取組で“届く”広報活動を展開します

- WEB アクセシビリティの向上を図り、あらゆる人々に施設の魅力を積極的に発信します
- 身近な SNS ツールを効果的に活用し、興味を刺激する情報により施設を利用するキッカケを作ります
- 定期的に広報活動を分析・改善することで、情報の質の向上を図ります

1 実施方針

- ・効率的かつ効果的に情報を発信するため、従来の広報活動に加え、SNS やデジタルサイネージの活用など**広報のデジタル化を進め**若年層や働き盛り世代への情報発信を強化するとともに、これまで培ったノウハウやネットワークを最大限に生かし、多様な利用目的と幅広い年齢層の施設利用者をはじめ、より多くの人々に施設の魅力や事業内容等が**“届く” 広報活動を展開**します。

2 グループの発信力を高めるための広報活動

専用ホームページ等のアクセシビリティ向上

- ・本施設専用ホームページでは、トップページ上部にバリアフリー情報及び視覚サポート機能を集約し、**WEB アクセシビリティの向上**を図ります。
- ・また、英語の**自動翻訳システムの導入**により、新たな投稿が即時に翻訳されるため、外国人の方々に向けてリアルタイムな発信が可能です。
- ・あらゆる利用者に寄り添い、必要とする情報が容易に取得できるホームページを目指し、**丁寧な情報発信を継続**していきます。



改修後ホームページ

SNS の効果的な活用

- ・SNS では、大会や事業の案内、施設の利用状況はもちろんのこと、個人利用者向けにトレーニングのワンポイントアドバイスや、本施設にあるトレーニング機器を使い、筋トレ・健康維持・ボディメイク等目的別メニューの提案など、**施設を利用したいと感じる情報を発信**します。
- ・SNS での発信後は、解析ツールを用い、閲覧数や年代別の波及効果等について、情報の収集・分析を行い、投稿内容等の画一化・マンネリ化の解消やターゲット層に応じた訴求力を高め、より**効果的な広報活動を継続**して展開します。

情報ツールのデジタル化

- ・これまで紙媒体での提供が主である要覧や施設利用ガイド、リーフレット、代表団体Aの広報誌「スマイルスポーツ」等について**デジタル版を作成**し、ホームページや SNS 等で発信します。
- ・現在、ホームページでは、スポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」と連携し、本施設を 360 度画像で紹介しています。要覧等のデジタル版と併せた WEB 視察実現に向け、検討を進めます。

今後はこれ

に合わせ連携強化を図り、情報発信の相乗効果を高めます。

- ・館内にデジタルサイネージを設置し、観覧可能な大会情報、本施設の事業案内、個人使用施設のリアルタイム利用状況や周辺施設の情報等を発信し、**周辺施設を含めた利用促進**を図ります。

従来広報の強化及び無関心層へのアプローチ

- ・広報のデジタル化を進める一方で、デジタルツールに苦手意識のある**高齢者や、地域住民へ訴求**するため、周辺スポーツ施設や地域の回覧板等でのポスター・チラシ掲出や、地元小中学校へのチラシの個別配布など、周辺施設・自治会・学校等の協力を得ながら**従来の広報活動を強化**し、地域に密着した親しまれる施設を目指します。
- ・「**動く広告**」として無料シャトルバスを活用し、車体に付した QR コードから事業紹介などを行い、新規利用者の獲得を目指します。
- ・東京 2020 大会の競技会場を巡る「ガイドツアー」や周辺施設と連携した各種イベント等を通じて本施設や事業等を紹介し、スポーツや運動に興味のない人にも、まずは**施設や競技に関心を持ってもらうキッカケ**をつくり、来館や利用につなげていきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(2) 業務の品質管理

利用者ニーズを正しく捉え、効果的な対応及び継続的な業務改善により、サービス・品質水準を底上げする体制を構築します

- 多様な方法により、施設利用者だけでなく潜在的な利用者からの意見・要望等を収集します
- OODA ループ及び PDCA サイクル思考法により、施設内サービスの見直しを行います
- 改善策等の情報共有により当グループのサービスレベルと、18 施設全体の水準を向上させます

1 利用者ニーズや要望の把握

多種多様な意見収集による潜在的なニーズ把握

- ・ 多様な方法により、施設利用者だけでなく潜在的な利用者からの意見・要望を収集します。

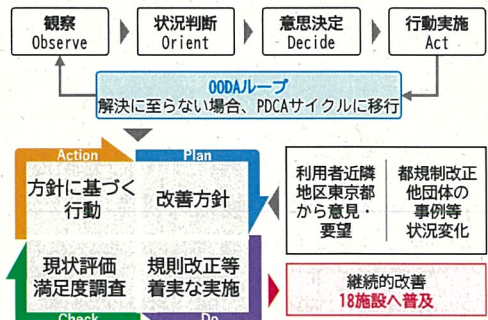
収集方法	頻度	対象	内容
利用団体等へのヒアリング	随時	利用団体	利用団体との打ち合わせ等で、大会・イベント主催者視点の意見・要望をヒアリングします
利用者懇談会及び周辺施設との意見交換会	1回/年	利用団体 周辺施設責任者	利用者懇談会や周辺施設連絡協議会等を通じ、利用団体や周辺施設等の意見を直接伺う機会を設けます
利用者満足度調査の実施	1回/年	利用者	運営の指標として利用者の満足度を調査するため、事業アンケートを実施します
スタッフによる声の収集	随時	利用者	利用者との日常的なコミュニケーションを通じ、利用者の「生の声」を収集します
ホームページ	随時	利用者	問合せページのほか、ホームページ改修後のアンケート機能を用いて、営業時間外も意見・要望を受け付けます
スポーツ情報プラットフォームサイト（仮）	適時	利用者他	大規模な Web アンケートの実施が可能であるため、目的に応じ活用し、広く意見・要望を収集します
ご意見 QR の掲示	随時	利用者	館内に QR コードを掲示し、WEB で手軽に意見・要望を伝えられるよう工夫します
ご意見箱の設置	随時	利用者	館内に常時設置し、意見・要望を収集します

多種多様な意見収集

2 意見等の反映・改善の仕組み

事案に応じた対応方法による改善

- ・ 現場は刻々と状況が変化することから、迅速な対応が求められることがあります。軽微な業務改善については、経験豊富な当グループの現場職員が、指示を待つことなく自らの経験と判断に基づき対応する「**OODA ループ**」の思考法により、**迅速かつ臨機応変に対応**します。
- ・ 一方、抜本的な業務改善を要する意見・要望等については、「**PDCA サイクル**」の思考法により、**組織として問題解決**にあたります。
- ・ OODA ループと PDCA サイクルによる相乗効果を高めるため、マニュアルの改訂を図るなど、全スタッフで情報共有し、改善を継続します。



OODA ループと PDCA サイクルによる相乗効果

情報の共有とサービスレベルの向上

- ・ 当グループは、各業務担当責任者が参加する**実務担当者会議**、構成団体の責任者から成る**コンソーシアム会議**、代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる**経営会議**など、様々な情報共有の場があります。各情報共有の場を最大限活用し、課題を定性、定量的に分析し、統一的な目的を持って改善するとともに、成功事例についても共有するなど、**当グループ全体でのサービスレベルを常に向上**させます。
- ・ また、当グループで得られた知見等については、東京都の実施する**パートナーシップ会議**などにおいて本施設以外の都立スポーツ施設と積極的な情報交換を行います。スポーツ施設共通の課題と対応策を見出し、共有することで**18 施設全体の水準を向上**させます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3〔スポーツ普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕

3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組

都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組へ積極的に参画し、大会のレガシーとして、都民にかけがえのない価値を提供します

- 都立スポーツ施設間の強固なネットワークづくりを進め、取組を推進します
- アーカイブ資産や用具等の施設間共有の推進、一体的な取組によるスポーツ振興を推進します
- 都立施設間の連携のほか、周辺施設・地域と連携し、多様な取組を推進します

・当グループの都立スポーツ施設における管理経験や運営ノウハウ、関係団体との繋がりを活用して、都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組への参画について、東京都スポーツ振興審議会にて示された、「全18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮」、「各施設の特性を活かし、多様な活用を推進」における各視点を軸に、以下のように取り組んでいきます。

1 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組への参画

「全18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮」に向けた取組

【発信力の強化の視点】

- ・既述の通り、代表団体Aはスポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」を運営しています。現在、「SPOPITA」を、都内のスポーツ情報を一元化した「新たな情報プラットフォームサイト」へと進化させ、更なる発信力の強化を図る予定です。
- ・本施設ホームページにおいて、現在、360度画像のバーチャルツアーで施設概要を紹介していますが、この機能も「SPOPITA」から派生したものです。
- ・本施設は令和5年度に再開業を迎えますが、「SPOPITA」を最大限に活用して、チーム・部活動等の利用や各種教室の参加など、**多くの利用に繋げていきます。**

スポーツフィールド東京の実現に向けて
18のスポーツ施設の連携の中心を政策連携団体である代表団体Aが担う



- ・当グループは、他の都立スポーツ施設に「SPOPITA」の有効性を紹介し、各施設での活用を推進することで、**各都立施設とのネットワーク、一体的なプロモーション、発信力の強化を推進します。**
- ・そのほか、本施設が位置する「臨海スポーツゾーン」における有明テニスの森公園テニス施設、若洲海浜公園ヨット訓練所など、他の都立スポーツ施設や周辺施設と連携し、デジタルサイネージやパネル展示などで**各施設のイベントやその施設の魅力等を、相互に情報発信**します。
- ・周辺施設が連携して、それぞれの施設における既存利用者以外の方に、各施設の魅力や情報を届けることで、興味・関心を喚起し、**新たな利用者の開拓、更なる施設利用に繋げます。**

【ニーズ対応力の強化の視点】

- ・東京2020大会の感動の記憶、大会レガシーを都内全域で継承していくため、本施設のアーカイブ資産を他の都立スポーツ施設等に貸出し、展示することを東京都の承認の上で実施し、**18施設間の連携・ネットワークの構築**を図ります。
- ・本施設の東京2020大会メモリアルギャラリーとアーカイブ資産を保有する他の都立スポーツ施設との連携を図ります。例えば、駒沢総合運動場のメモリアルギャラリーと連携し、1964年東京オリンピックと東京2020大会の「聖火トーチ」「ポスター」の比較展示などを**東京都に確認の上、実施**していきます。
- ・本施設は、辰巳からの水泳用具の移設等を含めて多様な水泳用具を保有します。当施設の水球のゴールやボール、他の都立スポーツ施設の競技備品やボッチャ等の障害者スポーツ用具などを、各都立スポーツ施設における実施可能な種目の拡大、スポーツの日等のイベントでの**パラスポーツ種目の充実**を図るため、東京都の承認を得た上で、**競技備品・用具の施設共有を実施**します。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

【 一体的な取組によるスポーツ振興の視点 】

- ・スポーツの日記念事業では、代表団体Aが管理する施設を中心に、各会場をYouTubeで同時中継するなど連動を図り、スポーツの日を都立スポーツ施設から盛り上げていきます。
- ・代表団体Aは現在、都民のスポーツ実施率をこれまで以上に向上させるため、「スポーツ気運継承事業」を運営しています。今秋より、対象のスポーツイベントに参加すると**デジタルポイント**がたまり、景品と交換できる**スタンプラリー**を実施します。
- ・この仕組みを18施設で有効活用するよう推進し、**都立施設の一体的な取組によるスポーツ振興に貢献**していきます。

「各施設の特性を活かし、多様な活用を推進」に向けた取組

【 スポーツでの更なる活用の視点 】

- ・より多くの競技大会を誘致・開催し、上質なスポーツ観戦機会を提供することで、スポーツへの興味・関心を喚起し、**競技の発展、一層のスポーツの振興に寄与**していきます。
- ・本施設周辺には、**の宿泊施設、**近隣駅に4つのビジネスホテルがあることから、**競技団体の合宿での利用等を提案し、更なる利用を働きかけ**ていきます。
- ・水中ウォーキング等のエクササイズ、AS・飛込・水球等の体験会や経験者向け教室、障害者の水泳教室、オリンピック等が指導する教室、ヨガやピラティス等のスタジオプログラムなど、スポーツでの活用を進め、**都民のスポーツや健康づくりを推進**します。

【 多様な活用による新たな体験提供の視点 】

- ・スポーツになじみの薄い方等への訴求を図るため、**楽しめる多様な体験機会の提供も重要**であると認識しています。スクーバダイビングやヨットなどの体験、スポーツの日記念事業等のイベントにおける遊具の活用（例、アクアチューブやキッズボート）など、**施設の特性を生かし、幅広いレジャー・レクリエーション、多様な楽しめる機会を提供**していきます。
- ・競技大会の空いている日程では、3階デッキ等を活用したロケ地利用、新作水着のファッションショーなど、ユニークベニュー、エンターテインメント分野での活用も模索していきます。

【 施設・地域との連携の視点 】

- ・隣接する辰巳の森海浜公園と連携し、誰もが気軽に楽しめる「ヨガ」「ニュースポーツ」のイベントの開催、地元消防・警察等の指導助言を得ながら「合同防災訓練」を実施します。
- ・地域組織である**と連携**し、シェアサイクルの駐輪場を設置し、本施設へのアクセスの向上のみならず、**周辺地域一帯の回遊性を高めます。**
- ・当施設と同様に「臨海スポーツゾーン」の都立スポーツ施設である、**等と連携し、東京2020大会会場であった有明コロシアムや本施設等を巡る「ガイドツアー」、と連携し、ジュニアを対象とした「ヨット体験」などを実施**します。
- ・これまでの関係団体との繋がり、面的な広がりを見視野に連携を進め、他の都立スポーツ施設、周辺施設及び地域との連携を深めながら、**地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化**に取り組みます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

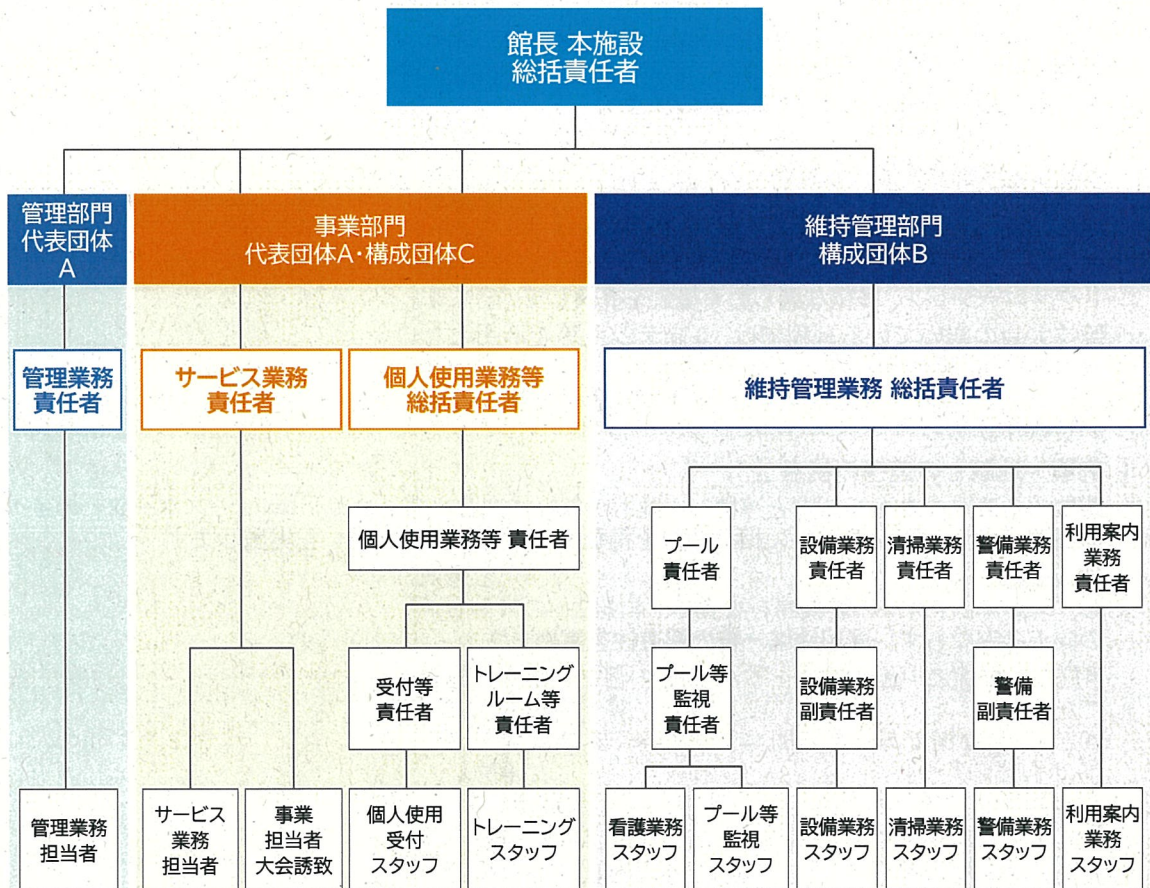
業務ごとに専門性の高い職員を配置し効果的・効率的に施設を運営します

- 総括責任者である館長をトップに、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します
- グループ各団体の特長（メリット）を生かし、経験と専門性を備えた人員を配置します
- 東京体育館や辰巳等の大規模スポーツ施設の指定管理で培ったノウハウやネットワークに加え、明確な役割分担と強固な連携により、効果的な運営を実施します

1 組織運営体制の基本的な考え方

多様化するニーズに対応できる強固な組織体制

- ・ 施設の総括責任者である館長をトップに、業務内容に応じ、必要な**経験・知識・技能を有する職員・スタッフ**を配置することで、**多様化するニーズに対応できる強固な組織体制**を整備します。
- ・ **業務ごとに責任者を配置**し、グループ内の連携体制、委託企業に対する管理体制等の統率を行うことで、**グループ内での役割分担を明確化**し、**確実かつ効率的に業務**を遂行します。
- ・ 大規模大会開催時や緊急・災害時には、代表団体Aが管理する複数の都立スポーツ施設やコンソーシアム構成団体の本社スタッフの応援も含めた**バックアップ体制を構築**し、柔軟に人員体制を整え、大会運営のサポートやサービス提供の継続に努めます。
- ・ 東京 2020 大会をはじめとする**大規模スポーツ大会の運営経験**やこれまで構築した**各スポーツ関連団体との信頼関係**を生かして、大規模大会の誘致や大会時の広報を行い、本施設で開催される大会・イベントをサポートします。



組織体制図

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

2 各部門の人員配置

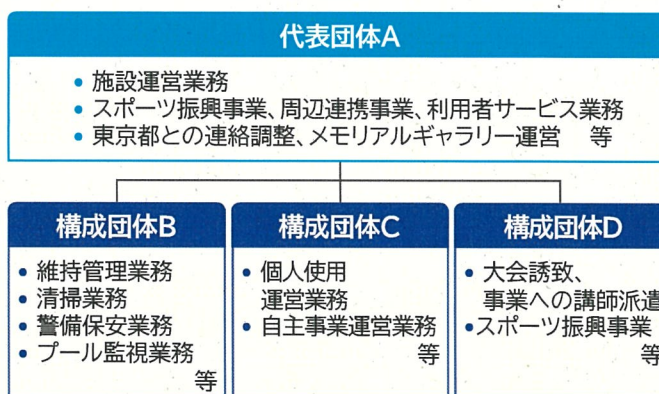
経験豊富な専門人材の配置による運営品質の向上

- 代表団体Aの職員は、複数の都立スポーツ施設の管理部門とサービス部門をジョブローテーションすることで、多くの団体と関わる機会を創出し、利用の調整や事業の実施を通して**利用団体・関係団体との高い信頼関係を構築**します。
- 豊富な接客経験により培った高いコミュニケーション力と公平・公正な施設運営により、都立スポーツ施設の指定管理者として満足度の高い施設運営を行います。
- スポーツ施設の管理運営実績に基づく利用者数予測を踏まえ、管理運営・安全確保に**必要な人数を配置**します。
- 本施設の「業務内容及び管理運営の基準」に基づき、**資格要件を満たしたスタッフを適切に配置**するとともに、資格試験受講料の補助等による上位資格の取得支援を行い、運営の品質を高めます。
- 利用者に分かりやすい情報発信ができるよう、代表団体Aの全職員にデジタルメディアの活用についての広報研修を実施します。さらに、代表団体Aの事務局に**広報担当**を配置し、グループの統一的な広報戦略を実施します。
- 代表団体Aでは**DX担当職員**を配置し、リモートワークの環境整備や諸手続のデジタル化を行ってきました。今後も組織的にデジタル技術の活用を推進していくことで、業務の効率化や利用者の利便性の向上を図ります。

3 グループ内の役割分担と連携

グループ内の明確な役割分担

- 当グループは、右図に示す各々の担当業務について全面的に責任を持ちます。
- 代表団体Aは、東京都との連絡調整及び構成団体内の連絡調整を行うとともに、施設運営全般を総括し、本施設の運営を通して、都民のスポーツ振興に寄与します。
- 構成団体Cはトレーニングルーム・プールなど個人使用施設の運営業務やフィットネスプログラムを実施し、体を動かすことの楽しさを都民に伝えていきます。
- 構成団体Bは施設の維持管理・清掃・警備業務を行い、利用者が安全・安心に利用できる施設づくりを行います。



グループ内の役割分担

職員・スタッフ間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制を確立

- 構成団体間で定期的に**実務担当者会議**や**コンソーシアム会議**を行い、職員・スタッフ間のコミュニケーションを促進します。
- 利用者や都民の多様化するニーズへの対応について、業務責任者主導のもと、職員・スタッフ間で検討を行い、管理運営状況についての共通認識を図ります。
- 情報交換をスムーズに行い、あらゆる状況に迅速に対応できる職場とするため、右図の6つの視点から、報告・連絡・相談を行うよう職員・スタッフへの教育を行います。

報告・連絡・相談の6つの視点

- ① 問題点を明確にする
- ② 緊急性を判断する
- ③ 直接「報告・連絡・相談」する
- ④ 要点を簡潔にまとめる
- ⑤ 相手の立場を尊重する
- ⑥ 問題や相談者をフォローする

情報交換をスムーズに行うための6つの視点

4 東京都への連絡体制

東京都への連絡・調整・報告体制の確立

- 管理業務責任者が東京都への連絡窓口業務を担当するほか、緊急時は、館長から**迅速に東京都へ報告**する体制とします。
- 大規模大会の開催等に当たっては、東京都と綿密に情報交換、意思疎通を図るとともに、関係団体等との連絡調整を実施することで、緊急事態にも対応可能な体制を整えます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

役職	担当業務内容	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1 週間の 勤務時間
			常勤	非常勤	委託	
館長						
管理業務責任者						
管理業務担当者						
サービス業務責任者						
サービス業務担当者						
事業担当者						
個人使用業務等 総括責任者						
個人使用業務等 責任者						
トレーニングルーム 等責任者						
受付等責任者						
個人使用受付従事者						
トレーニングルーム 従事者						
維持管理業務 総括責任者						

施設配置人員

施設配置人員	プール責任者						
	プール等監視責任者						
	設備業務責任者						
	設備業務副責任者						
	設備業務従事者						
施設配置人員	警備業務責任者						
	警備業務副責任者						
	警備業務従事者						
	警備業務従事者						
	利用案内業務責任者						
	利用案内業務従事者						
業務委託	プール等監視スタッフ						
	看護業務員						
	清掃業務責任者						
	清掃業務従事者						

●記入上の注意

- 1 職員一人ごとに記入
- 2 「役職」は、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職（館長、警備員等）を記入
- 3 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入
- 4 「雇用形態」は、該当に○を記入
 - ・「常勤」職員は、週40時間程度勤務し、貴団体が複数年にわたり雇用する職員とする
 - ・「その他」の場合は、具体的に雇用形態を記入
- 5 貴団体の本社等に本施設の管理にかかわる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入
その場合は、「備考」欄にその旨を記載し、「1週間の勤務時間」は、本施設にかかわる時間のみを想定し記入
- 6 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入

館長を中心とした明確な責任体制を構築します

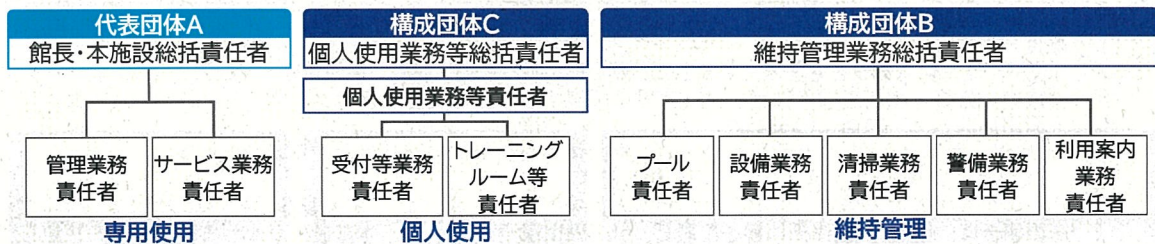
- 業務全般の総括責任者である館長をトップに、業務権限と責任の範囲を明確化します
- 各部門の責任者には、それぞれの分野における長年の経験や所定の資格を有する者を充て、適切な業務執行と危機管理を徹底します

1 責任者の役割

- ・業務全般を統括する責任者として、館長を配置します。
- ・館長のもと業務ごとにラインを明確化し、それぞれの総括責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行います。

	役職名	主管	主な業務内容
管理・事業部門	館長・本施設総括責任者	代表団体A	・本施設業務全般の責任者
	管理業務責任者		・管理運営業務の責任者 ・東京都、関係機関との連絡調整総括 ・グループ構成団体間の調整業務総括 ・管理業務担当者への業務指示、指揮監督
	サービス業務責任者		・施設及び付帯設備の使用承認の責任者 ・利用団体との連絡調整総括 ・スポーツ振興事業、自主事業及び周辺連携事業の企画及び運営の責任者 ・各業務担当者への業務指示、指揮監督
事業部門	個人使用業務等総括責任者 ※受付責任者兼務	構成団体C	・個人使用・自主事業等業務全体の総括責任者 ・グループ構成団体間の調整業務総括 ・受付での案内業務及び物品の販売等の責任者 ・受付案内業務担当者に対する人材育成及び業務指示、指揮監督 ・券売機・レジ等入退館システムの管理業務総括 ・代表団体Aとの連絡・相談窓口
	個人使用業務等責任者		・プール・トレーニングルーム・スタジオ等でのスクールや教室などの業務総括責任者 ・個人情報管理責任者（情報管理の実務運用責任者）
	トレーニングルーム等責任者		・トレーニングルーム等運営業務の総括 ・トレーニングルーム・スタジオ自主事業のスクール・教室の実施責任者兼務
	受付等責任者		・個人使用受付の責任者 ・プール自主事業の責任者兼務
維持管理部門	維持管理業務総括責任者	構成団体B	・維持管理業務全般の責任者 ・各種点検作業等の日程調整 ・各業務の履行状況確認 ・大規模大会等における音響（用具）担当者との連絡調整 ・グループ構成団体間の調整業務総括 ・代表団体Aとの連絡・相談窓口
	プール責任者		・プール運営業務全体の責任者 ・飛込用トレーニングルーム業務、維持管理業務との調整業務
	プール等監視責任者		・プールの日常運営と、水質管理等の責任者 ・プール運営業務担当者への業務指導等 ・プール運営業務担当者に対する人材育成
	設備業務責任者		・設備担当者への業務指示等 ・定期（法令・自主）点検の日程調整等 ・小破修繕の実施 ・省エネルギーの推進等
	清掃業務責任者		・清掃担当者への指導・監督業務 ・夜間清掃員の出勤者数の調整 ・重点清掃箇所等の確認 ・定期作業の日程調整 ・清掃作業時の立会い及び履行確認
	警備保安業務責任者		・警備担当者への業務指示 ・構成団体C 本社警備保安部との報告・相談窓口 ・教育訓練の日程調整
	利用案内業務責任者		・利用案内業務担当者への業務指示 ・サービス業務責任者及び個人利用等業務総括責任者との連絡調整

各業務の責任者と主な業務内容



意思決定体制

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保を行います

- 関係法令を遵守し、適切な勤務ローテーションを組み、業務品質を確保します
- 東京 2020 大会などの大規模大会に対応してきたノウハウを生かし、適正な人員配置を行います
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的な業務を遂行します

1 勤務体制、労働環境及び人員配置

適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・ 勤務シフト間で引継事項を共有し、スタッフの業務品質の確保と質の高いサービスを提供します。
- ・ 大規模イベント開催時等には、ノウハウを生かした規模・観客者数の予測に基づき、必要に応じて当グループを挙げての応援スタッフの投入により人員を確保し、**最適な人員配置**を行います。

働きやすい労働環境の整備

- ・ 関係法令等を遵守し、シフト勤務制による適正な労働時間の管理、有給休暇の付与、福利厚生 の充実、ストレスチェック、産業医による健康相談、健康診断などを実施することで、**適正な労働環境を確保**します。
- ・ 新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報の提供を行い、**若年層の雇用を促進**します。
- ・ 代表団体 A では、出産・育児休業、特別休暇・時短勤務等の制度を充実させ、**女性の活躍を推進**しており、女性の雇用率は常に 5 割以上となっています。**男女ともに**育児や介護に係る休暇を取得しやすい運用に努め、職員全員が働きやすい職場環境をより充実させます。
- ・ また、構成団体 B は「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定し、柔軟な働き方の環境整備や女性管理職と女性労働者との交流機会の設定など、グループ全体で女性活躍推進に取り組んでいます。

充実した教育研修を通じ安全・安心な環境と高品質なサービスを提供する職員・スタッフを育成します

- 目標管理制度の実施により職員・スタッフモチベーションと業務の質を向上します
- 人材育成方針に基づいた公共施設管理運営に必要な研修の計画的な実施と、資格取得支援制度により、職員・スタッフの資質・能力を向上します
- 毎年度、研修計画を策定し、英会話や障害者対応等に係る研修を導入することで、ダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図ります

1 人材育成の取組

目標管理制度の実施

- ・全職員を対象に、**目標管理制度を継続的に実施**します。
- ・責任者との個別面談を実施し、自己の目標の設定サポートと業務の質の向上をリンクさせることで、職員のモチベーションアップと、専門的な技術や能力の向上を図ります。
- ・自らの強みの分野を持ちつつ、管理部門とサービス部門の双方を経験させるなど、幅広い知識・能力を高める配置管理を実施します。
- ・**昇任制度**をさらに充実させ、職員のモチベーション向上と計画的な人材育成に繋がります。

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
基礎研修	新任研修	・職員・スタッフとしての基礎	1回/年	—
	個人情報保護研修	・個人情報保護体制 ・プライバシーマーク制度	2回/年	—
	コンプライアンス (法令遵守)	・法令及び規則等の確認 ・コンプライアンス教育の徹底	2回/年	—
	救命講習	・応急措置法、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の技能取得	2回/年	—
	危機管理対応研修 (避難誘導訓練)	・緊急時対応(防災・防犯)	2回/年	—
	接客研修	・接客教育、苦情・要望対応 ・クレーム対応の心構え・注意点	1回/年	—
	障害者対応研修	・障害者等対応、人種、多様性の理解等	1回/年	—
	英会話研修	・外国人対応の基礎	随時	—
	DX推進研修	・デジタルツールへの理解	随時	—
業務別研修	広報力向上研修	・ホームページやSNS等の広報ツールごとの特徴や活用事例	随時	—
	マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法	随時	各業務責任者
	オペレーション スキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時	管理・事業担当スタッフ
	体育施設管理資格研修	・体育施設管理に関する専門員養成	随時	管理・事業担当スタッフ
	専門知識研修 (プールプログラムスキル、 トレーニングスキル等)	・プールプログラムの基礎 ・トレーニングの基礎	随時	事業担当スタッフ
	指定管理者講習	・指定管理者としての心構え ・施設の設置目的達成のための検討	2回/年	各業務責任者
	顧客満足度(CS)	・マニュアルによる接客研修 ・CS向上に向けての取組検討 ・苦情処理方法の確認	2回/年	事業担当職員
	環境への配慮	・省エネルギーの徹底 ・ISOの展開について	2回/年	維持管理担当スタッフ
その他	外部研修への派遣	・資格取得または上級資格取得のための講座・研修への参加	適時	研修内容による

研修一覧表

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

きめ細かな維持管理により、施設・物品の長寿命化を図ります

- 日常業務を着実に実施し、施設や機器の些細な変化に迅速に対応します
- 保守計画及び中長期修繕計画により、建物の長寿命化と LCC の縮減を図ります
- 高品質な保全業務を確立し、安全・安心な施設環境を提供します
- 設備機器の的確な稼働と丁寧な清掃により、感染予防対策に取り組みます
- 正確なデータ管理と 6 つの視点に立つ確認で、適切に物品を管理します

1 実施方針

- ・本施設を「東京 2020 大会のレガシー」として良好な状態で維持し未来へ引き継ぐために、施設設備の日常及び定期的清掃・点検や運転監視等の適正な「維持管理」と「修繕」による**保全業務を着実に実施**します。
- ・日々の維持管理については、構成団体 B の管理のもと、作業内容や確認項目を細分化するなど丁寧に行うことで、些細な変化を見逃さないなど適切に業務を遂行し、快適な利用環境の提供と**不稼働時間の縮減**、施設の長寿命化を図ります。

施設保全

維持管理		修繕	
・清掃	・点検	・小修繕	・大規模修繕
・保安保守	・運転監視	・中修繕	

清掃 清潔さの保持及び劣化要素除去による腐食進行遅延
 点検 劣化・摩耗状態の把握及び不良箇所の早期発見

施設保全業務概要

2 維持管理体制

- ・本施設の附属設備及び物品の維持管理業務は、「管理運営の組織体制図（提案課題 4-1 参照）」のとおり、維持管理業務総括責任者のもと、業務ごとに責任者を配置し効率的に業務を遂行します。

3 保守計画及び各業務における取組

保守計画の作成

- ・当グループでは、一般的に建築物の寿命と言われる 60～65 年を見据え、年間保守計画を作成し確実に維持管理業務を履行するとともに、点検・修繕データ及び施設・設備の実態調査等を踏まえた中長期修繕計画を提案し、建物の長寿命化と**大規模修繕費の抑制**に貢献します。
- ・保守業務にあたっては、右図の 3 つの視点に立ち、設備員の確実な作業・点検を通じ、**ライフサイクルコスト (LCC) の縮減**を図ります。

発注者の視点に立った長寿命化

- ✓ 施設利便性の確保
- ✓ 施設機能の保全
- ✓ 省エネルギー・省コスト

LCC 縮減における 3 つの視点

適切かつ効率的な設備管理業務

① 関係法令・業務仕様書の遵守

- ・法令及び仕様書を踏まえた年間保守計画に基づき、日常・定期・法令点検を適切に実施し、各設備・機器の機能を十分に発揮させ良好な状態を保持するほか、空き時間帯を利用した自主点検により、求められている基準から**ワンステップ上の設備管理**を行います。

② 感染予防対策を徹底した施設環境の維持

- ・安全・安心な施設環境を維持するため、機械換気設備等の外気取り入れ量などを調整して必要換気量を十分に確保するほか、冷暖房設備により、厚生労働省が推奨する室温 18℃以上、相対湿度 40～70%を維持します。

③ 省エネルギー施策の推進

- ・エネルギー使用状況等を蓄積し、「エネルギーマネジメントシステムマニュアル」及び運用規定を踏まえ、**エネルギー管理士による指導**のもと、設置機器の効率を見極めたエネルギー使用に努めます。
- ・第三者機関へ**省エネルギー診断を依頼**し、その分析結果からより効果的な計画を立案し、施設運営へ迅速に反映します。
- ・太陽熱集熱機器による電力供給や地中熱利用設備を利用した冷温水の再生など、施設設備を有効に活用し、**環境負荷に配慮**した施設運営を行います。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

丁寧な清掃業務による施設環境の維持

①施設の環境美化及び感染予防対策の展開

- ・年間保守計画に基づき、清掃作業基準書に則した丁寧な清掃により、シームレスな施設環境を維持するとともに、手すりやドアノブ等コンタクトポイントの重点清掃など、**感染予防の視点に立った衛生管理**を展開します。
- ・清掃員だけでなく施設の全スタッフと連携し、大規模大会時のゴミ回収や嘔吐物の処理などの**突発的な事象にも迅速に対応**します。
- ・**建築物清掃管理評価資格者による品質評価を実施**し、最適な清掃方法と継続的な品質向上を図ります。改善が必要と判断した事例については、その助言や改善指示等を行います。

②環境配慮型薬剤の選定

- ・清掃に使用する洗剤や薬剤は中性洗剤（無りん系）とし、ワックス類は「製品安全データシート（MSDS）」の基準に即して選定し、**環境に配慮**します。
- ・洗浄剤、消毒剤、消臭剤は、盗難や誤使用のないように**適切に管理**します。また、害虫駆除の薬剤は極力人体への影響が少ないものを選定します。

- 殺菌清掃では、「ハイブロックスアクセル(高レベル除菌洗剤)」を使用し、インフルエンザ等の感染症からの感染を抑止します。洗浄及び除菌効果が1ステップで行え、残留成分がなく、使用後の不快感も人体に対する影響もありません。
- 使用洗剤は、「スペースショット(万能環境クリーナー)」を使用します。全ての素材に使用でき、河川や海への流出にも対応した洗剤です。

利用者の安全・安心を守る保安警備業務

①”おもてなしの心“を基本とした業務

- ・利用者が安心して施設を利用できるよう、不審者や迷惑行為等への厳格な対応だけでなく、本施設の機能・特性を十分に認識し規律と節度を保持しながら、**おもてなしの心をもって丁寧に対応**します。
- ・警備業法に定められた研修はもちろんのこと、個人情報保護研修や接遇マナー教育を定期的に行い、従事者のモチベーションやスキルの向上を図り、**安定した業務品質を確保**します。



教育研修を通じて質の高い警備業務を展開

②施設特性を熟知した配置体制

- ・不特定多数の方が利用される施設特性を踏まえ、都立スポーツ施設での業務経験が豊富な責任者及び従事者を配置し、確実に業務を実施します。

4 備品の管理

点検・記録による管理

- ・定期的な棚卸と6つの視点に立った**日常的な性能確認**を行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は速やかに**東京都に報告**します。
- ・当グループが設置する備品は、**台帳を整備してデータベース化**するとともに、定期的に状態を確認し、修理や処分の計画立案を行います。また、**シールの貼付等**により、備品を区別して管理します。

6つの視点

動作・音	怪我リスク	劣化・亀裂
正しく動作しているか、異音はないか	触れる部分に鋭利な箇所はないか	劣化や亀裂はないか
緩み	塗装・錆	汚れ・異物
接合部に緩みや欠陥はないか	著しい塗膜剥離や錆びの発生はないか	著しい汚れや落書き、異物等はないか

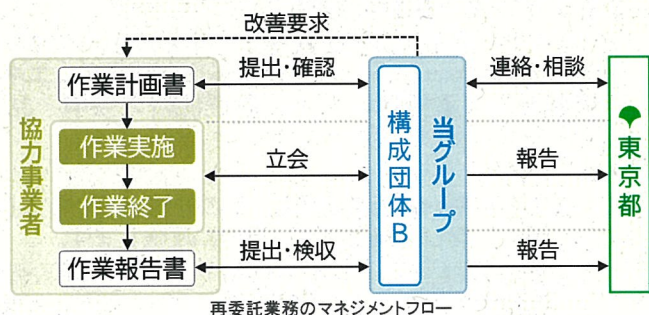
5 業務の再委託

再委託業務のマネジメント

- ・高度な技術が必要とされる維持管理業務は、**専門事業者の協力を得て対応し、厳格な管理指示のもと高い品質を確保**することにより、**安全・安心な施設環境の提供**に努めます。
- ・業務にあたっては、**事前に作業計画書の提出**を求めて業務内容を把握するとともに、**打ち合わせ**を通じ、**サービス品質や安全性、公共性を確保**します。
- ・作業中から都度の履行確認・指示を行い、作業終了・報告書の提出まで、適切に監督します。

【再委託業務予定】

- ・再委託業務の一覧及び金額等につきましては、様式6別紙2の委託費積算内訳をご参照ください。



事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

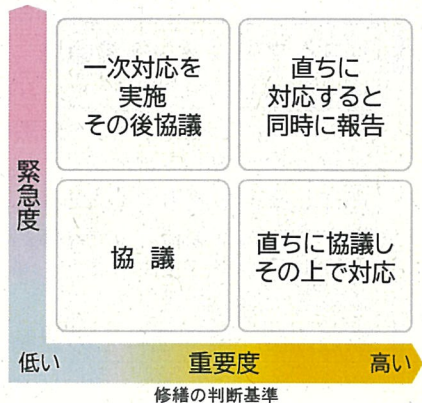
(2) 施設の修繕

維持管理と修繕の連携により、高水準の施設環境を維持します

- 安全パトロールを実施し、施設の安全性を確保します
- 日常の様々なデータから修繕や部品交換時期を整理し、中長期修繕計画を立案します
- 予防保全により修繕期間の長期化等を回避し、安定した施設運営に努めます
- 各種データを一元管理し、正確な情報を共有することで業務の効率化を図ります

1 実施方針

- ・東京2020大会のレガシーとなる本施設を、機能や特性を踏まえ良好な状態で維持し、誰もが**安全・安心・快適**に利用できる施設を提供します。
- ・先述の維持管理業務（提案課題5-1-(1)参照）と連携し、中長期修繕計画を立案し、**建物の長寿命化**に努めます。
- ・緊急度・重要度に応じた**判断基準**を定め、利用者からの要望事項や施設の破損等、対象となる事案ごとに対応方法を検討し、都との協議も踏まえながら**柔軟に対応**します。
- ・施設・設備の修繕は、緊急時を除き、休館日や予約の入っていない**空き時間帯**を利用します。作業に起因する音や振動等にも配慮して日程調整を行い、快適な利用環境を確保します。



2 修繕における業務体制

- ・本業務は、「管理運営の組織体制図（提案課題4-1参照）」のとおり、維持管理業務総括責任者のもと、設備業務担当者が行います。

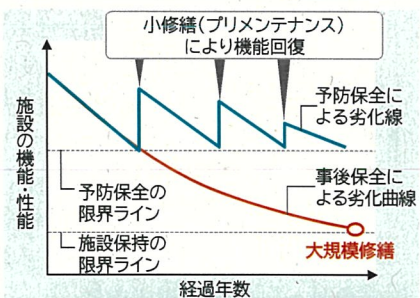
3 保全業務及び修繕計画

きめ細かな作業の実施

- ・漏水や物品の破損など、利用者に影響するものは迅速に対応します。特殊な交換部品等が必要な場合など、修繕に時間を要する際は、進行状況の掲示等で説明責任を果たします。
- ・設備員による**安全パトロール**を月1回実施します。①施設機能②保守・点検作業③施設利用者の3つに分類した「安全チェックシート」を用い、安全性の確保や不具合箇所の把握、応急措置を行うとともに、危険箇所についてはハザードマップに記載し**全スタッフで共有**します。

修繕計画の立案と大規模修繕の抑制

- ・維持管理業務における日常点検や定期点検の記録、各種警報・故障・不具合の記録を残し、有効なデータとします。
- ・収集したデータから、対象設備の機能・性能等を細部にわたり把握し、劣化状況については経年または自然環境など原因を調査して**故障出現の頻度を予想**するなど、必要な修繕及び部品交換等の時期を整理して日常の保全に立脚した**中長期修繕計画を立案**します。
- ・「維持管理」と「修繕」の堅実な保全業務により、施設・設備の異常を早期に発見し、突発的な不具合などの発生を未然に防止する**予防保全を展開**し、大規模修繕を抑制します。
- ・修繕期間の長期化や高額な費用、施設の使用制限などを回避し、**安定した施設運営・施設提供**に努めます。



- 効果
- ① 大規模修繕の回数減
 - ② 高い水準で施設機能を保持

予防保全による施設機能維持とその効果

4 メンテナンス情報の共有・活用

保守・点検データの一元管理

- ・保全業務における各種記録（日報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）や建物図面等を**一元管理**し、正確な情報を迅速かつ適切に共有して業務に反映します。
- ・集約した情報や中長期修繕計画などにより施設の機能及び特性を維持し、利用者に対する**安全衛生管理を徹底**します。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(1) 危機管理及び災害対応

あらゆるリスクに迅速かつ適切に対応できる体制を整備します

- 業務における潜在リスクの抽出・分析・評価を行い、リスクマネジメント体制を整備します
- 消防署等と連携した防災訓練を実施することで、大規模災害時に確実に機能する組織を作ります
- 周辺地域と連携し、帰宅困難者の一時滞在施設としての役割を確実に果たします
- 全スタッフに普通救命講習の受講を義務付け、定期的な研修を実施します

1 緊急事態に備えた危機管理体制の整備

リスクマネジメントの徹底

- ・施設運営に当たって、人為的な事件・事故、設備不良等による事故、暴風・豪雨・地震等の自然災害、火災、テロなどについて、**未然の防止や被害の最小化に向けたリスクマネジメントを実施**します。
- ・東京都が設置した防犯カメラについて、「東京都が設置する防犯カメラの運用に関する要綱」を遵守し適正に運用するとともに、必要に応じて独自にカメラを設置し、事故防止体制を強化します。
- ・スタッフ・警備員による挨拶等の積極的な声掛けと定時・臨時の巡回を通じ、不審者・不審物の早期発見に努めます。また、事故につながり得る危険な箇所の確認・整備等を行い、危険を排除し事故を未然に防ぎます。

周辺施設・関係団体との連携

- ・辰巳の森海浜公園と連携した緊急時の行動マニュアルの整備など、**広域的な危機管理体制の構築**を目指します。
- ・所轄消防署の指導のもと、定期的に全スタッフが参加する防災訓練を実施します。その際、災害発生時に東京都の災害対策本部との連絡手段となる「MCA無線機」や、施設滞在者が使用する「特設公衆電話」について、使用方法の確認及び設置訓練を実施し職員の習熟に努めるほか、実際の運用を想定したルール作り・案内掲示物等の準備を進めます。
- ・当グループは本施設について、令和2年4月に東京消防庁による「**優良防火対象物**」の認定を受けました。次期指定管理期間においても、防火安全対策に意欲的に取り組み、認定の継続を約束します。



応急救護機能の強化

- ・本施設に必要な数のAEDを設置し、設置場所の案内表示を明確にするなど緊急時に備えます。プールについては、AEDのほか、各種救命機器を常備することで、**応急救護機能を強化**します。
- ・適切な応急手当ができるよう、全職員が（公財）東京防災救急協会が実施する「普通救命講習」を受講し、AEDの使用方法等を習得するとともに、定期的に救命研修・訓練を実施します。さらに、個人利用施設各運営担当者及びプール監視員には、救急救命講習の受講とCPR（心配蘇生法）のトレーニング実施を義務付けます。

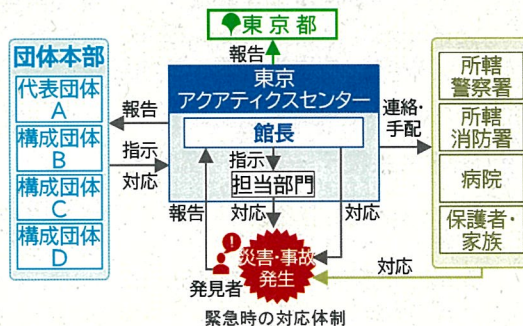
事故に備えた保険の加入

- ・「施設所有管理者賠償責任保険」（対人：1事故5億円・1名3億円、対物：1事故2億円）に加入し、万が一の事故などにより、施設の利用者等に損害を与えた場合に備えます。
- ・昇降機賠償責任保険等のオプション補償を付帯するなど、想定される様々な事故に備えます。

2 緊急時・災害発生時の対応

東京都地域防災計画に基づく災害時の対応

- ・本施設は「一時滞在施設」として指定されていることから、「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル（東京都総合防災部）」に基づき、適切に運用します。
- ・災害や事故発生時には、代表団体Aが策定している「災害対策要綱」及び「事故発生時報告等事務処理要綱」に基づき、館長に情報を集約し、東京都や関係機関への連絡・通報等を迅速に行います。

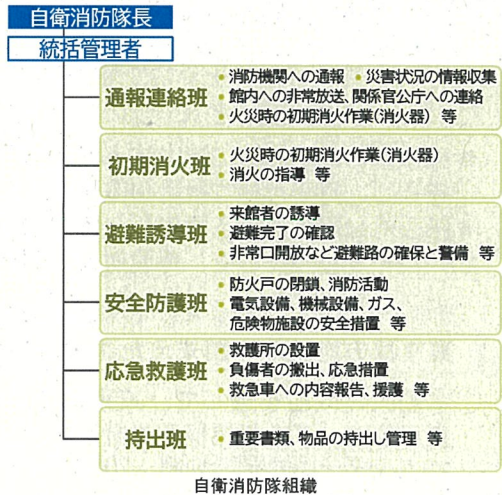


事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕 2 危機管理及び災害対応

- ・自衛消防技術認定資格を有する自衛消防隊を組織し初期対応及び応急対策を行うとともに、火災・地震・水害等の発生を想定した対応フローを定め、状況に応じた的確な対応により、利用者の安全確保に努めます。
- ・災害発生後、直ちに建物被害状況を把握し、施設内の危険区域の設定を行うことで、**二次災害を未然に防ぐ**とともに、現地対策本部や一時滞在施設としての**機能確保**に努めます。
- ・震災時、感染症クラスター発生時のほか大雪などの荒天時の事業継続力を強化するため、代表団体Aが作成予定のBCPに基づき、「職員参集計画」を策定し、近隣に在住する職員による参集体制を構築します。また「防災カード」を職員に携帯させるとともに、安否確認システムなどを活用し、伝達能力の維持も図ります。



(2) 目的外使用許可に関する業務

東京 2020 大会のレガシーである「TOKYO Data Highway」を最大限活用した施設利用を提案します

- 「5G 活用紹介ブース」を設け、デジタルを取り入れた施設利用を推進します
- 競技者へのスピーディーなフィードバックや臨場感のある自由視点映像の配信など、様々な事業展開を提案します
- 当グループが率先して活用することにより、充実した施設利用環境を提供します

1 5G の実用による多様な活用方法の紹介・提案

- ・東京 2020 大会のレガシーである「TOKYO Data Highway (5G)」を最大限活用するため、施設利用者に対し 5G の通信環境が整備されていることを周知するとともに、競技者・観客・個人利用者など様々な視点で、より充実した施設利用を実現する 5G の活用例を紹介・提案していきます。
- ・これらの利用については、エントランスなどに「5G 活用紹介ブース」を設け、大会等での活用があった際に活用事例として紹介するほか、ライブレッスンの様子や各種事業の配信映像をアーカイブ放映するなど、後述する活用例とともに多様な方法を紹介・提案し、**デジタルを取り入れた施設利用を推進**していきます。

事業展開の例

①フィードバック方法のアップデート

- ・大会などの団体利用では、各レース映像をクラウド上にアップロードし、選手・コーチがその映像を即時に見られることにより、過去のデータとの比較や仮想空間でのレースシミュレーションなど、これまでのフィードバックに比べ、**よりスピーディーな科学的サポート**が可能となります。これは、東京都が推進する「デジタルツイン」のスポーツ分野での活用という新たなアプローチにもつながります。

②配信方法のアップデート

- ・また、5G の高速大容量・超低遅延・多数同時接続の特徴を生かし、リアルタイム配信だけでなく、**自由視点による臨場感のある映像配信**も可能です。新しい日常での大会等開催におけるコンテンツの幅を広げることができます。

③当グループにおける活用例

- ・個人使用では、当グループからの発信を主として、**ライブレッスンをプログラムに取り入れるほか、スマートミラーの利用によるセルフフィットネスや、アスリートや指導者向けの双方向ライブセミナーの実施**など、5G 環境を活用した新たな体験機会を提供します。
- ・スポーツの日記念事業等でのライブ配信の実施やオリンピックメモリアルギャラリーでの VR 体験など、充実した施設利用の実現に向け、様々な活用方法を検討していきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(3) 地球環境への配慮

「スマートエネルギー都市」・「ゼロエミッション東京」の実現に寄与するため、公共施設としての率先した環境配慮に努めます

- 東京都の環境施策に協力するとともに、「HTT（減らす・創る・蓄める）」の取組を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します
- 積極的な環境対策を実施し、環境課題解決に向けた施設運営を行います
- スポーツ施設として、環境対策を通じ、パラスポーツの発展に寄与します

1 東京都の施策等を踏まえた環境配慮の取組

東京都の施策等を踏まえた環境配慮の取組

①本施設の取組を通じて、東京都の環境施策に協力

- ・東京都は「東京都環境基本計画」、「ゼロエミッション東京戦略」を策定し、緑の創出・保全や、エネルギー消費量の抑制、2050年CO₂排出実質ゼロの実現などに向けた取組を行っています。
- ・政策連携団体である代表団体Aを中心都市、当グループはこれまでも東京都の施策に貢献してきました。今後も指定管理者として、東京都の施策や東京都環境審議会の動向を踏まえ、積極的に環境対策に取り組み、**未来の東京を見据えたサステナブル・リカバリー**の推進に貢献します。

環境配慮・SDGsの具体的な取組

- ・太陽熱集熱機器による電力供給、地中熱利用設備を活用した冷温水の再生など、**東京都が推進する「HTT（減らす・創る・蓄める）」**の取組をはじめ、下記の環境対策の徹底を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

区分	対象名称	検討内容	SDGs 関連ゴール										
			3	6	7	11	12	13	14	15			
省エネ	ZEV 用充電設備の導入	・ZEV 普及に貢献するため、充電設備の導入を前向きに検討			●	●		○					
	エネルギーマネジメントによる無駄の排除	・集中監視システムで各種エネルギーデータを系統別に時間単位で記録 ・データを解析しエネルギー消費動向を把握 ・CO ₂ 排出量の見える化 ・施設使用状況に応じた照明・空調の停止		○	●	○	●	●					
	熱管理	・負荷の平準化（温度時間の効率）、ヒートパターンの改善・温度設定見直し			○	○		●					
	使用電力の再生可能エネルギー化	・「東京都グリーン購入ガイド」水準1の供給電力量の100%を再生可能エネルギー電力にすることを旨とする			●	○		○					
	省電力	・照明の間引き ・夜間電力による冷凍機の運用			●	○		●					
	節水	・節水型シャワーヘッドの導入 ・中水（プール溢れ水）の再利用（トイレ洗浄水・中庭散水）		●	○	○		○	●				
	ペーパーレス化	・両面印刷、印刷前のプレビュー確認等の徹底、会議資料の電子化によるコピー用紙使用量の低減				○		●	○		●		
	省エネキャンペーン	・定期的にキャンペーンを展開し、目標数値を設定			●	○	○	●					
廃棄物	排出量削減、リサイクル	・館内で回収したごみは集積所で再分別するなど、リサイクル率を向上 ・利用者に対し、館内掲示により分別への理解を促進				○	●	●	●	●			
	ワンウェイプラスチックの削減	・売店等での紙袋配布、エコバック推奨 ・事業参加者へのマイボトル持参依頼					●	○	○				
調達	グリーン調達の徹底	・グリーン購入法に基づく商品や同法に沿って環境配慮がされている適合商品の購入を推進				○	●	○					
緑化	緑化推進	・良好な緑地保全に努め、敷地内の緑化を推進							●		●		
薬剤	環境配慮型薬剤	・除草剤、樹木の消毒液や清掃業務で使用する洗剤等に関しては、環境に配慮した製品を使用	○					●	○				

環境対策の実施状況の例

●:関連大 ○:関連

- ・上記の取り組みのほか「ふくのわプロジェクト」に参画し、不要な衣類をリユースして焼却処分しないことによる **CO₂ 排出抑制**に取り組みます。リユース専門業者の買い取り等で得た収益金はパラスポーツ競技団体に寄付をし、**パラスポーツの発展に寄与**していきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(4) 個人情報の保護

厳格な個人情報保護マネジメント体制を整備・運用します

- プライバシーマークを取得している団体として、個人情報管理体制を自主的に確立します
- 採用時から退職後まで、個人情報に関する守秘義務の遵守を徹底します
- 情報漏えい等の緊急時には、代表団体Aを中心に迅速に対応し、二次被害を防止します
- 個人情報を含む重要情報保護のため、情報セキュリティ体制を構築します

1 個人情報保護のマネジメント体制の確立

本施設における個人情報の取扱いと管理体制

- ・ 本施設では、施設利用申込、団体登録申込及び事業参加申込などにおいて、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号等の個人情報を取扱います。
- ・ 代表団体A及び構成団体Bは、(一財)日本情報経済社会推進協会から**プライバシーマーク**を取得しており、特に代表団体Aは、「個人情報保護方針」、「個人情報保護に関する規程」及び「個人情報保護要綱」を整備し、厳格な個人情報の管理体制を自主的に確立します。
- ・ 構成団体Cは、全国に多数ある直営の店舗での管理運営経験から、独自の個人情報保護体系を構築しており、厳格な運用を行います。
- ・ 当グループ全体として、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例、規格等の改正に適切に対応するなど、**継続的な改善と適正な運用**を図ります。



2 個人情報保護を含む情報セキュリティ体制の構築及び守秘義務を徹底するための取組内容

情報セキュリティ体制構築の具体的な取組

守秘義務を徹底するための取組

- ・ 個人情報の適正な管理運用を図るため、**新任研修**や**全職員向けのeラーニング研修・標的型メール対応訓練**を毎年実施するほか、必要に応じて臨時研修を行います。
- ・ 「職員就業規則」に則り、採用時に誓約書を締結し、退職後も含めた守秘義務の遵守を徹底します。

緊急時の迅速な対応

- ・ 万が一、個人情報漏えい等の緊急事態が発生した場合、各規程等に従い適切かつ迅速に対応します。
- ・ 二次被害の防止のため、事実関係、発生原因及び対応策を遅滞なく公表するとともに、東京都及び関係機関に報告します。

3 情報公開について

- ・ 「情報公開条例」及び代表団体Aが定める「情報公開要綱」に基づき、適切に対応します。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(5) 感染拡大防止

東京都のガイドライン等を踏まえた取組を実施し、安心して利用できる施設となるよう対応します

- 東京都の措置や要請、ガイドラインを踏まえるとともに、プール施設の特性を考慮して、感染症対策に取り組みます
- スタッフも感染症対策に最大限に努め、都民サービスに支障が無いよう取り組みます

1 感染拡大防止の取組についての基本的な考え方

- ・ 感染症感染拡大防止に向けた東京都の措置や要請に即した対応とともに、「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」等を踏まえ、**チェックリスト等をまとめ、遵守事項の周知と徹底**を図ります。
- ・ 検温、体調確認、消毒等の基本的対策や三つの密の解消とともに、プール施設の特性を踏まえた取組を図ります。
- ・ スタッフについても、基本的な対策の徹底をはじめとして、**最大限に感染症対策**へ取り組みます。

感染拡大防止のポイント

- ✔ 東京都の措置・要請に応じた対応
- ✔ 遵守事項の周知と徹底
- ✔ プール施設の特性を踏まえた取組
- ✔ スタッフも感染防止の徹底に取組

安心して利用できる施設となるためのポイント

2 具体的な感染拡大防止の取組

プール施設の特性を踏まえ、安心して利用できる施設となる取組

① 専用使用での取組

- ・ **遵守事項を主催者等に周知し徹底**を図ります。大会等で主催者が行う感染症対策を事前に確認し、アドバイスをを行うなど、効果的な対応となるよう取り組みます。
- ・ 東京都から感染拡大防止に向けた措置や要請があった際は、**主催者への協力の呼びかけなど、最大限に対応**します。
- ・ ホームページに掲載している360度画像のバーチャルツアーを活用した主催者の施設事前確認、大会打合せをWEB会議での実施や感染症対策を十分に施して実施するなど、**感染症対策**に取り組みます。

専用使用

- ・ バーチャルツアーを活用した施設視察
- ・ 催物主催者とのコロナ対策打合せ
- ・ 観客席間引き等のPOP貸出
- ・ 「感染防止安全計画」等作成時のアドバイス等

個人使用（プール）

- ・ 前方泳者との間隔確保
- ・ レーン両端で滞留がない状態の確保
- ・ 塩素濃度モニタリングを1時間毎に実施
- ・ 監視員から利用者への声掛け等

個人使用（トレーニングルーム・スタジオ）

- ・ マシンの間隔・向きの整理、マシン等の消毒
- ・ 他者と間隔確保、感染拡大予防の内容を適宜放送
- ・ 指導員から利用者への声掛け等

共通事項

- ・ ガイドライン等に基づく施設設備の一部停止
- ・ 各所に消毒液の設置
- ・ 受付等での間隔保持目印、注意喚起POPの掲出
- ・ 更衣室等を密閉回避への扇風機等による換気
- ・ HPの見つけやすい所に施設利用の際のチェックリスト等の掲載・周知
- ・ 「新型コロナ見守りサービス」や「TOKYO ワクシヨン」等の周知・登録の推奨等

施設特性を踏まえた具体的な取組例

② 個人使用での取組

- ・ 遵守事項の周知と徹底を図るとともに、ストレスなくスムーズに利用できる環境を提供するために、即時検温可能な非接触型の検温器設置、名前や年齢等の自動保存が可能な**WEB 版体調管理チェックシートを導入**します。
- ・ プールでの前方泳者との間隔保持、レーン両端で滞留しないこと、塩素濃度モニタリングを1時間毎に実施するなど、**施設特性を踏まえた感染症対策**を実施します。

③ 施設共通の取組

- ・ 東京都のガイドライン等に基づき、冷水器や目洗い場等の施設設備の一部停止、消毒液の各所設置、受付等での間隔保持目印など、**感染症対策、注意喚起**を適切に実施します。
- ・ 「新型コロナ見守りサービス」の利用、「TOKYO ワクシヨン」の登録を利用者に奨励していきます。

④ スタッフ向けの取組

- ・ 全スタッフが、日々の検温や体調確認、マスク着用及び手指消毒、他職員等との距離確保等の基本的対策の徹底に加え、**時差通勤やテレワークを実施することで感染リスクを低減**していきます。
- ・ 万一の場合には、代表団体Aの**BCP**を活用し、都民サービスに支障のないようにしていきます。

感染者発生における対応

- ・ 利用者で感染者が発生した場合は、主催者と協力して対応を協議するとともに、体調管理チェックシートを用いて**当該感染者の行動履歴を追**いながら、消毒作業をし、必要に応じて同時間・同利用場所にいた利用者への周知など、**感染拡大の抑制**に努めます。
- ・ スタッフで感染者が発生した場合は、東京都へ速やかに状況報告をします。また、利用者で発症した場合同様に、行動履歴を追っての消毒や必要に応じて周知を行う等、適切に対応します。

事業者・団体

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

東京都施策を踏まえた魅力ある施設提供の実現とともに、経費抑制と収入増の取組により指定管理料の縮減に貢献します

- 参考価格内で最大のパフォーマンスを発揮し、高水準の施設・サービスを提供します
- コスト削減の一方で必要経費を適正に計上し、施設等の安全性を十分に確保します
- 実現性の高い収入計画と収益向上策により、指定管理料の縮減を図ります

1 収支計画にあたっての基本的な考え方

・本施設は、東京 2020 大会のレガシーを継承し、ハイレベルな大規模大会の実施や都民のスポーツ振興の場、臨海スポーツゾーンをはじめとする都立スポーツ施設との連携により、来場者 100 万人・大会開催 100 大会を達成し「スポーツフィールド東京」の実現に貢献するため、機を逃さず、着実にスポーツを根付かせていく役割を担っていると考えます。

・一方、社会情勢として新型コロナウイルス感染症による大規模大会の中止、行動規制の呼びかけだけでなく、海外生産品の出荷減少等に伴う原材料費の高騰の影響、世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰という状況に直面しており、施設運営を行うにあたり、**安定的な収益の確保及び経費の抑制は大変厳しい状況**にあります。

・しかしながら当グループは、提示された参考価格を踏まえ、最大のパフォーマンスを発揮するため、各支出項目を徹底的に見直し、業務の効率化や内製化など不断努力によるコスト削減とともに、現実的な収入計画・収入確保策の検討を重ね、**参考価格 520,817 千円に対し 520,817 千円と、参考価格と同額に抑えた提案額**としました。



実現性の高い収入計画

・収入計画の作成にあたっては、「来場者目標年間 100 万人」「大会開催目標年間 100 大会」を前提に、「提案課題 2」で提示している利用料金をもとに収入額を算出しています。

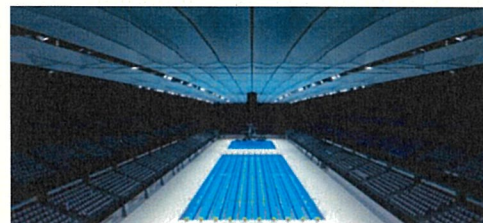
①専用使用

・現在多くの大会が開催されている東京辰巳国際水泳場は、本施設の開業に合わせ閉館となります。辰巳閉館後は本施設が辰巳に代わる施設となると認識しており、利用者側も同様と考えます。



東京アクアティクスセンター

②個人使用



メインアリーナ

・様々な利用者ニーズに応える料金を設定し、快適に利用できる施設を提供します。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題6〔収支計画〕

③その他

- ・利用者に対するサービス提供事業についても、無料シャトルバスの運用など利便性向上のみならず、オリジナルグッズの販売など新たな事業を計画し、収入確保を実現します。
- ・本施設や辰巳等の管理実績を踏まえながら、具体的な運用方法や実行性を精査することで、**実現可能な収入計画**を積算しています。



シャトルバスの運用例(辰巳)

支出計画におけるコスト削減と安全・安心・快適とのバランス

- ・支出計画の作成では、**事業効果の最大化と指定管理料の低減**を目指し、本施設ならではの規模や条件などを加味しながら、支出項目や金額、さらには、効率的な運営に向けた更なる工夫・改善策などを精緻に分析しています。

①燃料費高騰の対応

- ・世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰により、令和4年2月から現在までに、**電気料金における燃料調整費が**、**ガス料金の調整単位料金が** 上昇しています。令和4年2月から同年8月までの上昇幅を本施設の年間使用量に換算すると、**電気料金で**、**ガス料金で** の費用増に相当します。

②管理運営経費等の削減

2 支出計画について

必要な業務を確実に実施しながらコストを削減

①人件費

- ・年々、最低賃金は約3%ずつ上昇が続いており、過日、今年も31円上昇し1,072円となることが発表され、今後も上昇傾向が続くと見込まれます。

経費削減後においても法令遵守を徹底し、業務の負担軽減や長時間労働とならないよう、ライフ・ワーク・バランスのとれた働きやすい労働環境を整備し、働き方改革を進めます。

②消耗品費

- ・昨今の海外生産品の出荷減少等に伴い原材料費が高騰しており、調達物品に係る費用が増額傾向にあります。DXの推進による広報活動のデジタル化や利用者からの各種申請のペーパーレス化などにより、消耗費支出の低減を図ります。
- ・また、本施設の物品については、年1回の自己点検（棚卸し）や日々の動作確認の実施など、適正な管理により物品の状態を良好に保ち、長く使い続けることにより備品費等の支出削減に繋がります。

③委託費

- ・人件費や原材料費等の高騰の影響を受け、施設の維持管理業務における保守・法令点検等の委託費にも経費増の傾向が見られます。
- ・委託費の算出にあたっては、現指定管理期間の契約実績を踏まえ金額を見直しました。
- ・また、一部の日常点検については、設備業務スタッフが行うなど業務の内製化を図り、運営努力により支出削減に繋がります。

④その他経費

- ・租税公課の削減と突発的な事象に備えた経費を最低限まで圧縮するなど、見直しを図りました。

3 収入計画について

様々な方策により収入を確保

- ・指定管理料低減のため、収入計画に繰り入れる「自主事業」と「利用者に対するサービス提供事業」について、収入向上を目指します。

①自主事業

- ・スタジオプログラムで人気のあるヨガやピラティスなどはもちろん、プライベートレッスンやWEB配信によるレッスンなどバラエティに富んだプログラム提供、ファミリーデー等のイベント開催など、あらゆる利用者層にアプローチして利用者拡大及び収入確保に努めます。

②利用者サービス事業

(1)駐車場の運営

- ・団体利用対象の貸切利用について、料金や想定日数を見直しました。大会等で利用の際に全面または一部貸切で駐車場を提供することで、確実に収入を確保します。

(2)売店・自動販売機の設置

- ・本施設の周辺は飲食店が少ないため、飲食物を販売する売店や自動販売機を設置し、利用者の利便性向上を図りながら、管理手数料収入を確保します。

提案課題6〔収支計画〕

- ・売店は、多くの来館者に利用を促すため、コンビニ形式やカフェスタイルなど利用者ニーズに応えられる魅力的な形態を検討します。
- ・自動販売機は、飲料だけでなく軽食や栄養食、プロテインなども販売し、売店を補完するとともにあらゆる利用者ニーズに応えます。
- ・このように、利用者ニーズに応え増収を目指すとともに、本施設の来館者だけでなく隣接する公園利用者の利用も視野に、屋内外の遊休スペースに飲食エリアを設けるなど、売店・自動販売機の売上向上を図ります。



自動販売機の設置例

(3) オリジナルグッズの販売

- ・本施設は東京2020大会の競技会場であり、大規模大会が多数開催されるなど、スイマーの憧れの地です。全国から集まる参加者や観客などの記念やお土産となるよう、本施設のロゴマークを付したオリジナルグッズを販売します。
- ・構成団体Dのネットワークを生かしたアスリートとのコラボレーショングッズなど、購買意欲を高める様々なグッズの展開により、満足度向上とともに本施設のPRにつなげながら収益確保に努めます。

4 損失又は利益が発生した場合

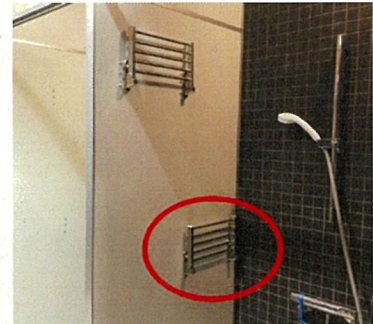
公の施設の指定管理者として責任を持った運営

① 損失が生じた場合

- ・グループ全体で赤字分を補填し、責任を持って指定管理期間の管理運営にあたります。

② 収益が見込まれる場合

- ・公益法人である代表団体Aが中心となり収益業務のスキームを担うことにより、計画を上回る収益が上がった場合でも予算全体の調整を図り、構成団体各社の売上にもそのまま繰り入れず、施設の修繕や備品の更新、障害者へのサービス向上など、利便性向上のための改善措置を講じ、**施設価値の向上及び利用者サービスに還元**します。
- ・令和3年度には、利用者から要望があったシャワールーム内の荷物棚について、低い位置に新たに棚を取り付ける工事を行っています。



シャワールーム荷物棚新規設置工事

③ その他

- ・自主事業及び利用者サービス事業の収入は全額繰り入れることで、指定管理料を縮減します。

(参考) 不確定要素について

① 体育施設利用料収入

- ・現在、都立スポーツ施設では、新型コロナウイルス感染症を理由に施設利用をキャンセルする場合、キャンセル料を徴収せず、全額返金する対応をとっています。
- ・本施設の類似施設である辰巳を例にすると、令和3年度の体育施設利用料金収入の実績は計画額の に留まっており、これを本施設に換算すると **の減収** となります。
- ・今回提案の体育施設利用料収入は、感染症まん延を考慮せず積算していますが、感染症拡大の状況が悪化した場合には、この減収部分が不確定要素となります。

② 光熱水費支出

- ・燃料費について、現在の上昇傾向が続いた場合、令和5年度は電気料金の燃料調整費はさらに 以上(年間換算 以上増)、ガス料金調整単位数は (年間換算 増)の上昇も予測されます。この場合、**合計額** **が毎年の負担増となる可能性**があります。
- ・光熱水費は本施設全体支出の を占める項目です。利用状況に応じて照明の消灯やこまめな照度調整を行うほか、適正な施設の維持管理を担保しつつ設備機器の稼働台数を制御するなど、細かな努力を積み重ねることで支出の圧縮に努めますが、令和5年度を含め令和6年度以降も高騰が継続するなど、不確定要素発出の際にはあらためて東京都と協議させていただきます。

事業者・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								
	臨時職員							7Mバイト、派遣職員、非常勤職員等	別紙1積算内訳①
	人件費計(A)								
管理運営費	光熱水費							電気・ガス・水道	別紙1積算内訳②
	消耗品費等							消耗品・備品・印刷製本等	別紙1積算内訳③
	役員費							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)							設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費								別紙1積算内訳⑥
	賃借料							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他							旅費交通費・広告宣伝費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	小計								
	間接費							管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
消費税									
管理運営費計(B)									
スポーツ振興事業費	事業費							ｽﾎｰｯ振興事業、ｽﾎｰｯの日記念事業に係る事業費	事業計画書 3-1-(1)(2)
	間接費							ｽﾎｰｯ振興事業、ｽﾎｰｯの日記念事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
	消費税								
ｽﾎｰｯ振興事業費計(C)									
支出合計(D=A+B+C)									

(2) 収入の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
管 運 営 費	体育施設利用料金							専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨
	その他							預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩
	管理運営費計(E)								
ス ポ ー ズ 振 興 費	参加料							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業に係る参加料	事業計画書 3-1-(1)(2)
	その他							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業に係る協賛金等	
	ｽｽﾞｰﾝ振興事業費計(F)								
	その他(G)							自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(3)(4)(5)
収入合計(H=E+F+G)									

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
都からの委託料(D-H)	520,817	520,817	520,817	520,817	520,817	2,604,085		

※(参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支(積算内訳は事業計画書3-1-(3)(4)(5))

単位：千円

項目	5年度			6年度			7年度			8年度			9年度		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引
自主事業															
周辺連携事業															
利用者に対するサービス提供事業															
合計															

提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--	--

② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気代						
ガス代						
水道代						
合計						

③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
消耗品費						
備品費						
印刷製本費						
合計						

④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電話代						
郵券代						
手数料						
データ通信費						
合計						

⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり						

⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
修繕費						
合計						

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
マシンリース料						
システム運営費						
コピー機賃借						
その他						
合計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
旅費交通費						
租税公課						
広告宣伝費						
その他						
合計						

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
競技会利用						
レーン貸等						
部分貸切						
会議室利用等						
自主事業等						
周辺連携事業						
個人利用等						
合計						

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

- 体育施設利用料金収入の積算内容を具体的に記述してください。

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
利用者サービス						
光熱水費						
合計						

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
1. 電気設備	受電設備法定点検		
	非常用発電機点検		
	発電機負荷試験		
	常用発電機点検		
	直流電源装置		
	照明制御設備		
	放送設備		
	I T V 設備		
	駐車場管制設備		
	中央監視制御設備		
	競技照明設備		
	大型映像装置		
	テレビ中継設備		
	警察・消防無線設備		
2. 空調設備	地中熱利用ヒートポンプチラー		
	ガス焚冷温水発生器		
	温水ヒーター		
	ポンプ類点検		
	EHP室内機		
	EHP室外機		
	フロン簡易点検		
	フロン定期点検		
3. 給排水設備	受水槽		
	貯湯槽清掃		
	間接給水槽		
	雑用水槽		
	冷却塔補給水槽		
	プール濾過機点検		
	プール還水槽清掃		
プール可動床・可動壁点検			
4. 消防設備	消防設備点検		
	防火設備点検		
	防災管理点検		
5. 建築設備	特殊建築物定期点検		
	建築設備定期点検		
	エレベーター		
	免震部通常点検		

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
6. 水質検査	上水水質検査		
	給湯水質検査		
	雑用水水質検査		
	設備用水水質検査		
	プール水水質検査		
	レジオネラ属菌検査		
	簡易専用水道検査		
	総トリハロメタン		
7. 空気環境測定	空気環境測定		
	煤煙濃度測定		
	ホルムアルデヒド測定		
8. 害虫駆除	ねずみ・害虫生息検査、駆除		
9. 清掃業務	日常清掃		
	定期清掃（床面・ガラス・排煙窓）		
	使用後清掃		
10. 植栽管理業務	植栽管理（施肥・剪定・除草）		
11. プール監視業務	プール監視		
12. 管理運営業務	集金業務及び両替金業務委託		
	入退場システム保守委託		
	研修費用		
	メモリアルギャラリー受付委託		
	メモリアルギャラリー機器保守委託		
	競技用計時装置保守点検		
	ライトアップシステム保守点検		
	ドライランド保守点検		
	トレーニングルーム保守点検		
システム関係費			
13. その他	廃棄物回収		
計			

※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。

※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。

※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。

※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。